

詳細 取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

多機能電話機

HI-F-TEL

このたびは、お買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

ご使用前に、本説明書をよくお読みいた
だき、正しくお使いください。

お読みになったあとも、いつでも見られる
場所に必ず保管してください。



「安全のために必ずお守りください」
P. 3~4をお読みいただき、正しく
お使いください。

ご使用前に

本説明書では、電話機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

●各事項は次の区分に分けて記載しています。

 警告	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の意味は次のようになっています。

	△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です)		補足説明です。電話機に関する内容が記載されています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は「分解禁止」です)		
 	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図、上の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」、下の場合は「必ず実施」です)		

- 本電話機はクラスA情報技術装置です。本電話機を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のMini Wnnを使用しています。
"Mini Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved.
- Excel、Excel2010、Excel2013は、米国Microsoft Corp.の登録商標です。

安全のために必ずお守りください

ご使用にあたり次の内容をよくお読みください。

■異常時の処置について

警告



万一、内部に水などが入った場合は、回線コードをモジュージャックからはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、内部に異物が入った場合は、回線コードをモジュージャックからはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線コードをモジュージャックからはずし、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線コードをモジュージャックからはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて

警告



電話機に水が入らないよう、またぬらさないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。



すきまなどから内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で電話機を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電話機裏面にコードを接続する場合、あやまってケーブルコードをMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がハンドセットにかかって火災・感電・故障の原因となります。



本装置にはアルミ電解コンデンサを使用しており、仕様温度の上限でご使用いただいた場合、設計寿命が7年となっております。7年を超えてのご使用は危険ですのでおやめください。

■取扱いについて

注意



電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。はずさないまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



回線コードなどを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



壁掛け式で使用する場合は、落下しないように注意してください。けがの原因となることがあります。



ハンドセットは指定品を使用してください。他のハンドセットを接続すると過大音が発生し、けがの原因となることがあります。



本製品を廃棄時は、販売店にご相談ください。

安全のために必ずお守りください（つづき）

■設置場所について

警告

-  直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
-  壁掛け式にする場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付けてください。けがの原因となることがあります。
-  振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■設置場所について

注意

-  テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。
-  製氷倉庫の中など、特に温度の下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。
-  接地部分にゴムを取り付けています。ゴムとの接触面がまれに変色することがありますのでご注意ください。

■お手入れについて

注意

-  静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。
-  アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。
-  汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。故障の原因となります。

付属品を確認する

各電話機(P.7)には、以下の付属品が同梱されていますので確認してください。
もし不足のものがありましたら販売店にお問い合わせください。

付属品	個数	TELSD	TELPF	TELPFI	TELHF	TELWHF	TELHC
 子機	1	-	-	-	-	-	○
 充電電池	1	-	-	-	-	-	○
 子機電池カバー	1	-	-	-	-	-	○
 示名紙	2	○	○	○	○	○	○
 6芯回線コード	1	-	-	○	-	-	-
 6芯-8芯変換ケーブル	1	-	-	○	-	-	-
 マイクラベル	1	-	○	○	○	○	-
 簡易取扱説明書	1	○	○	○	○	○	○

電話機の種類

交換機に接続してご利用いただける専用電話機です。

■ 標準電話機

フリーファンクションボタンがそれぞれ12個、24個、36個の標準電話機です。

〈HI-12F-TELSDA〉

〈HI-24F-TELSDA〉

〈HI-36F-TELSDA〉

〈HI-12F-TELSDBKA〉

〈HI-24F-TELSDBKA〉

〈HI-36F-TELSDBKA〉



■ 停電直通用電話機

停電時、交換機からの給電が停止した場合、自動的に直通電話(一般回線)に切り替わります。

フリーファンクションボタンが24個、36個のものがああります。

〈HI-24F-TELPFA〉

〈HI-36F-TELPFA〉

〈HI-24F-TELPFBKA〉

〈HI-36F-TELPFBKA〉



■ ハンズフリー付電話機(24ボタン)

〈HI-24F-TELHFA〉

〈HI-24F-TELHFBKA〉

〈HI-24F-TELWHFA〉

ハンドセットを置いたまま通話できます。また、ヘッドセットや録音装置も接続できます。



■ INSネット64 停電直通用電話機(24ボタン)

〈HI-24F-TELPFIA〉

〈HI-24F-TELPFIBKA〉

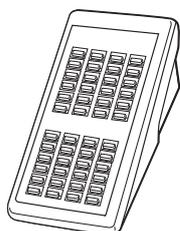
停電時、交換機からの給電が停止した場合、自動的に直通電話(INSネット64回線)に切り替わります。



■ ワンタッチ呼出装置(48ボタン)

〈HI-48DSSFA〉

相手先をワンタッチで呼び出せる装置です。これらのボタンは設定によって各種機能ボタンとして利用できます。電話機と一体で使用するものです。



■ ハンドルコードレス電話機(24ボタン)

〈HI-24F-TELHCA〉

ハンドセットがコードレスのため、移動しながら通話できます。

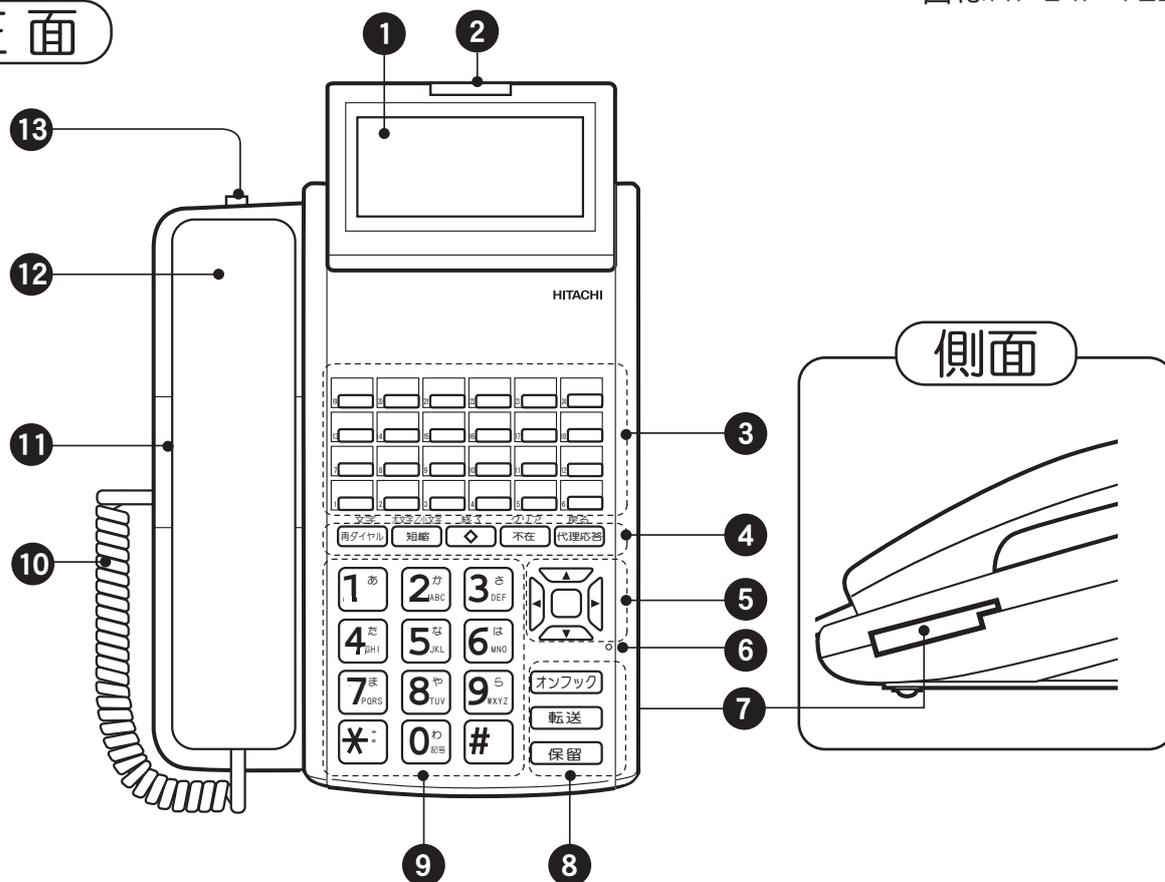


※本電話機については「ハンドルコードレス電話機 詳細取扱説明書」を参照してください。

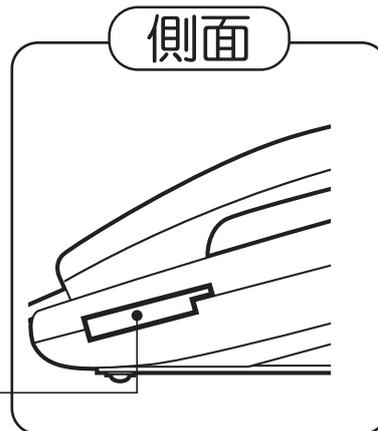
各部の名称と機能

☒はHI-24F-TELSD

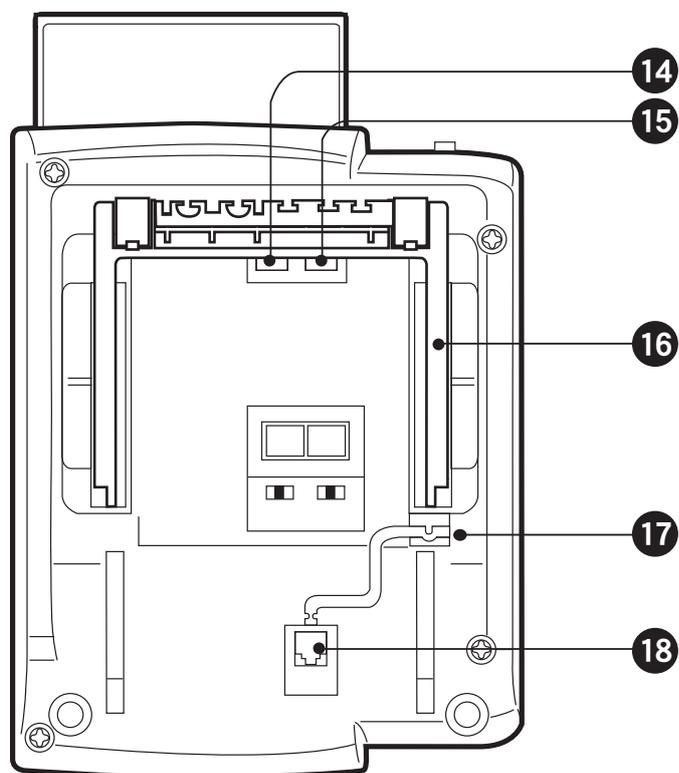
正面



側面



裏面



1 表示器

入力した電話番号や、かかってきた電話番号などを表示します。

2 着信ランプ

着信時に点滅します。

3 フリーファンクションボタン

外線を収容します。空きボタンは設定により特殊ボタンとして使用できます。

4 機能ボタン (5 個)

再ダイヤル／文字ボタン

直前にかけた相手に再度かけるときや、文字入力時に文字種を切り替えるときに使います。

短縮／大文字／小文字ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときや、文字入力時に大文字／小文字を切り替えるときに使います。

◇／終了ボタン

ダイヤルを間違えた際に捕捉している回線を一旦切るとき(販売店の設定により、本機能とは別機能にもなります)や、電話帳操作を終了するときに使います。

不在／クリアボタン

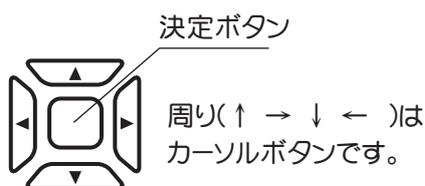
自席にかかってくる電話を行先の内線に転送するときや、電話帳操作時文字を消去するときに使います。

代理応答／戻るボタン

近くの電話機の着信に応答するときや、電話機能メニューの1つ上の階層に戻るときに使います。

5 十字ボタン

電話帳登録時などのメニューを呼び出すときや、各種音量調節するときに使います。



詳細は十字ボタンの機能(P.104)をご覧ください。

6 マイク

ハンズフリーで通話するときのマイクです。

・ただし、以下の電話機が対象です。

HI-「J」F-TELPF「J」
HI-24F-TELPF「J」
HI-24F-TELHF「J」
HI-24F-TELWHFA

7 SDカードスロット

SDメモ리카ード(市販品)の差し込み口です。このSDメモ리카ードを介して、電話帳データの書き出しや読み込みなどができます。

HI-24F-TELWHFAはSDカード非対応です。

8 機能ボタン (3 個)

オンフックボタン

ハンドセットを置いたままダイヤルするときなどに使います。

転送ボタン

通話中の電話を他の内線にまわすときなどに使います。

保留ボタン

通話中の相手を一時待たせるときなどに使います。

9 ~ **ダイヤルボタン**

電話番号や文字、記号を入力するときに使います。

10 カールコード

11 スピーカ

オンフックダイヤルを利用時、相手を呼び出す音などが聞こえます。

12 ハンドセット

相手と通話するときに使います。

13 ハンドセットフック

電話機が壁掛式の場合、通話中の相手を一時待たせる際にハンドセットを掛けておく所です。

14 MFT

ブランチ接続する場合に、一方の電話機の回線コードを接続します。

15 LINE

回線コードを接続します。

16 角度アダプタ

電話機の角度を変えるときに使います。

17 カールコード固定溝

18 HANDSET

カールコードを接続します。

目次

● ご使用の前に	2
● 安全のために必ずお守りください	3
● ご使用にあたって	5
● 付属品を確認する	6
● 電話機の種類	7
● 各部の名称と機能	8
● 目次	10

第1章

基本操作

13

外線)基本操作

● ハンドセットを上げてかける(オフフックダイヤル)	14
● ハンドセットを置いたままかける(オンフックダイヤル)	14
● システム短縮ダイヤルでかける(システム短縮ダイヤル)	14
● 可変短縮ダイヤルでかける(可変短縮ダイヤル)	14
● ワンタッチオートダイヤルでかける(ワンタッチオートダイヤル)	16
● 最後にかけた相手に再度かける(ラストナンバーリダイヤル)	16
● 電話を受ける(外線応答)	16
① 回線対応ごとのボタンで受ける(ストレートライン応答)	16
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける(自テナントバーチャルライン応答)	16
③ 他テナントの着信をボタンで受ける(他テナントバーチャルライン応答)	16
● 通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする(一般保留)	17
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	17
① 近くの人に転送する(保留転送)	17
② 遠くの人に用件を伝えした後転送する(自動転送)	17

内線)基本操作

● ハンドセットを上げてかける(オフフックダイヤル)	18
● ハンドセットを置いたままかける(オンフックダイヤル)	18
● ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル)	18
● 相手を音声で呼び出す(音声呼出し)	18
● 電話を受ける(内線応答)	19
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	19

第2章

便利な機能

21

外線)便利な機能

● 外線発信した電話番号を一時記憶させる(セーブダイヤル)	22
● NCC(新電電各社)回線を利用してかける(NCC発信)	23
① LCR機能を利用する(国内LCR発信)	23
② 任意のNCC回線を選択する(NCC発信)	23
③ 国際LCR機能を利用する(国際LCR発信)	23
● 通話中にプッシュ(PB)信号を出す(PB信号送出)	23

内線)便利な機能

● 相手が話中のため別の内線にかける(リセットコール)	24
● 相手が話中のためそのまま通話終了を持つ(オフフックキャンプオン)	24
● 相手が話し終わったら自動的に呼び出す(オンフックキャンプオン)	24
● グループ内の電話着信を自席の電話で受ける(代理応答)	25
● 相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示)	25
● 連絡を待っている相手に簡単な操作でかける(留守中着信自動呼出し)	25
● 不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる(不在メッセージ)	26

外線・内線)便利な機能

● 短縮ダイヤルの登録内容を確認してかける(短縮ダイヤル検索発信)	27
① 短縮ダイヤルのコード番号を確認してかける(番号検索発信)	27
② 短縮ダイヤルの登録名称を確認してかける(名称検索発信)	27
● 不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する(可変不在転送)	29
● 通話保留時その電話機からしか戻れないようにする(自己保留)	29
● 一時電話がかかってくるのを拒否する(着信拒否)	30
● 通話を個別に保留する(共通保留)	30

第3章

付加機能

31

● 通話中に割込んできた電話に応答する(通話中着信表示)	32
● 3人で話す(三者通話)	32
① 外線1人と内線2人で通話する(1外線三者通話)	32
② 外線2人と内線1人で通話する(2外線三者通話)	32
③ 内線3人で通話する(内線三者通話)	33
● DSS(ワンタッチ呼出装置)を使う(DSS)	33
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	34

第4章

画面からの 機能設定

35

● 設定項目について	36
● 操作画面について	36
● 電話帳に登録する(電話帳登録)	37
● 電話帳を検索して電話をかける(電話帳検索)	39
● 電話帳を編集する(電話帳編集)	41
● 履歴を使って電話をかける(履歴発信)	42
● 履歴を保存する(履歴保存)	43
● 履歴から電話帳に登録する(発信履歴電話帳登録)	44
● 電話帳や履歴を消去する(電話帳/履歴消去)	45
● 短縮ダイヤルを電話帳に登録する(短縮ダイヤル電話帳登録)	46
● グループ設定を変更する(グループ設定変更)	47
● 着信音を設定する(着信音設定)	48
● 着信音を鳴らさない(着信音の停止)	49
● ボタン操作音を出さない(ボタン操作音の停止)	49
● 音量の初期値を設定する(音量の初期化)	50
● 画面コントラストを調節する(画面コントラスト調節)	50
● 省電力モードにする(省電力設定)	51
● ヘッドセットを使う(ヘッドセット接続設定)	53
● 電話機を初期化する(電話機初期化)	53
● ハンドセットの条件を変える(ハンドセット環境設定)	54
● 電話機をロックする(電話機ロック)	55
● アラームをセットする(アラーム設定)	56

第5章

電話帳データ

59

● 電話帳データの取り扱いについての概要	60
● 本電話機の電話帳をSDカードに書き出す	62
● 本電話機の電話帳と電話機設定条件のデータをSDカードに書き出す	63
● SDカードのデータを本電話機に読み込む	64
● 携帯電話の電話帳データのファイル形式を本電話機用のファイル形式に変換する	65
● ファイル形式を変換したデータを本電話機に読み込む	66
● 電話帳データをパソコンで作成する	67
● 電話帳データをパソコンで編集する	68

第6章

各種登録

71

● 登録項目について	72
● 操作画面について	72
● 個人短縮ダイヤルを登録する	73
● 個人短縮ダイヤルを編集する	74
● グループ短縮ダイヤルを登録する	75
● グループ短縮ダイヤルを編集する	76
● システム短縮ダイヤルを確認する	77
● 支店番号システム短縮ダイヤルを確認する	77
● 機能ボタンを登録する	78
● 内線名称を登録する	81
● Myナンバーを登録する	82

第7章

特定電話機 からの登録 83

● 登録項目について	84
● 操作画面について	84
● システム短縮ダイヤルを登録する	85
● システム短縮ダイヤルを編集する	86
● 支店番号システム短縮ダイヤルを登録する	87
● 支店番号システム短縮ダイヤルを編集する	87
● 日付を設定する	88
● 時刻を設定する	88
● 内線名称を登録する	89
● 席の入替を登録する	89
● 発信停止を登録する	90
● 発信停止を解除する	90
● 発信停止の登録内線を確認する	90
● 折返発信番号を設定する	91
● 折返発信番号を確認する	91

第8章

その他の電話機 93

ハンズフリー付電話機

● 外線にかける(外線発信)	94
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	94
● 内線にかける(内線発信)	95
● 内線からの電話を受ける(内線応答)	95
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	96
● 通話を録音する(通話録音)	97
● スピーカ付アンプを使う(スピーカ付アンプ)	97

停電直通用電話機

● 外線にかける(外線発信)	98
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	98

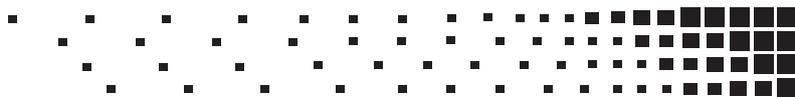
INS ネット64停電直通用電話機

● 外線にかける(外線発信)	99
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	99

第9章

付録 101

● 文字入力	102
● 各ボタンの文字割り当て	103
● 十字ボタンの機能	104
● 機能メニューの表示	105
● 機能メニュー一覧	106
● こんなメッセージが出たら	112
● 故障かな?と思ったら	113
● 電話機の角度を変える	114
● 画面の角度を変える	114
● タイムメッセージ	115
● 電話機のマルチ接続	115
● 主な仕様	115



第 1 章

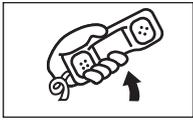
基本操作

本章は、基本的な電話機の使い方についての説明です。

外線 基本操作

ハンドセットを上げてかける

オフフックダイヤル

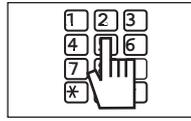


1. ハンドセットを上げる。



2. 空いている外線ボタンを押す。

・外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルボタンを押す。

ハンドセットを置いたままかける

オフフックダイヤル



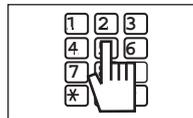
1. オンフックボタンを押す。

・オンフックランプが赤点灯します。

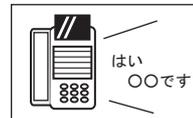


2. 空いている外線ボタンを押す。

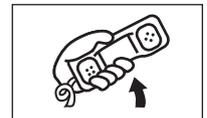
・外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルする。



4. スピーカで相手の応答を確認する。

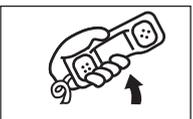


5. ハンドセットを上げる。

システム短縮ダイヤルでかける

システム短縮ダイヤル

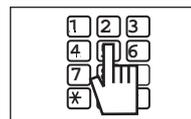
全内線が共通で使える短縮ダイヤルです。



1. ハンドセットを上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



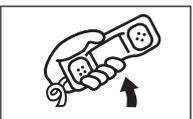
3. 短縮番号を押す。

- あらかじめシステム短縮ダイヤルに相手先を登録してください。(登録P.85)
- 操作3. の短縮番号は、取り付け時、販売店により設定されます。(発信操作P.15)

可変短縮ダイヤルでかける

可変短縮ダイヤル

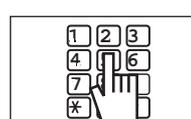
システム短縮ダイヤルとは別枠で、可変短縮ダイヤルがあります。これには、個人用とグループ用があります。



1. ハンドセットを上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



3. 短縮番号を押す。

- あらかじめ可変短縮ダイヤルに相手先を登録してください。(登録P.73、75)
- 操作3. の短縮番号は、取り付け時、販売店により設定されるか、お客様ご自身で登録することができます。この場合は第6章「各種登録」を参照してください。

システム短縮／可変短縮ダイヤルの発信操作

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で使用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中だけで使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

本内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。
2. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数(×××)が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。
どちらか選択になっています。
2. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
3. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数(××)が変わります。

	短縮ダイヤル	
	システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル
		グループ用
発信操作	① 短縮+ <u>×××</u> ② 短縮+ * + <u>×××</u> ③ 短縮+ # + <u>×××</u>	① 短縮+ <u>××</u> ② 短縮+ * + <u>××</u> ③ 短縮+ # + <u>××</u>
下線の部分が短縮番号です。登録のとき、*、#も一緒に入力してください。		
短縮番号	●短縮番号の桁数は、登録相手数の最大数によって変わります。 (例) ■10件のとき :0(1件目)～9(10件目) ■100件のとき :00(1件目)～99(100件目) ■1,000件のとき :000(1件目)～999(1,000件目) ■2,000件のとき :0000(1件目)～1999(2,000件目) ■10,000件のとき :0000(1件目)～9999(10,000件目) ※ システム短縮ダイヤルは、最大10,000件です。 (交換機がMX900IPの場合:最大2,000件) ※ 可変短縮ダイヤルは、最大100件です。	

ワンタッチオートダイヤルでかける

ワンタッチオートダイヤル



1. ハンドセットを上げる。
2. ワンタッチボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンを[ワンタッチオートダイヤル]ボタンとして使用します。
- あらかじめ[ワンタッチ]ボタンに外線相手を登録してください。(登録P.78)

最後にかけた相手に再度かける

ラストナンバーダイヤル



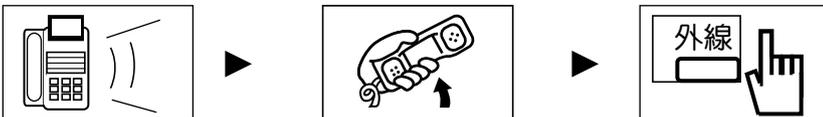
1. ハンドセットを上げる。
2. 再ダイヤルボタンを押す。

- 「セーブダイヤル(P. 22)」を有効にすると、本機能は使用できなくなります。
- 本機能でかけることができる相手先(①外線のみ ②外線・専用線 ③外線・専用線・内線)は取り付け時に設定されます。販売店に確認してください。

電話を受ける

外線応答

① 回線対応ごとのボタンで受ける (ストレートライン応答)



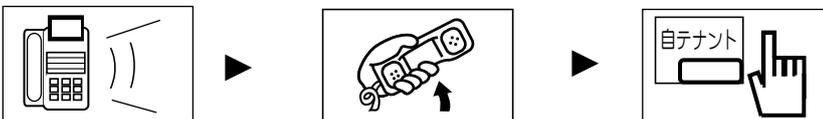
着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

1. ハンドセットを上げる。
2. 赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。

・外線ランプが緑点灯になります。

- 着信時、外線ランプが緑の速い点滅のときは、ハンドセットを上げると即応答になります。

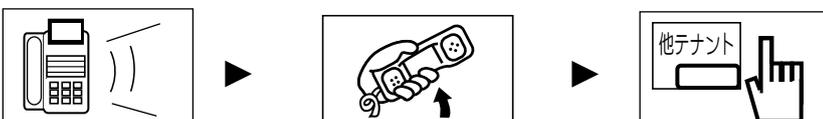
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける (自テナントバーチャルライン応答)



着信音が鳴り、自テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. ハンドセットを上げる。
2. 赤の速い点滅をしている自テナントの応答ボタンを押す。

③ 他テナントの着信をボタンで受ける (他テナントバーチャルライン応答)



着信音が鳴り、他テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. ハンドセットを上げる。
2. 赤の速い点滅をしている他テナントの応答ボタンを押す。

通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする

一般保留

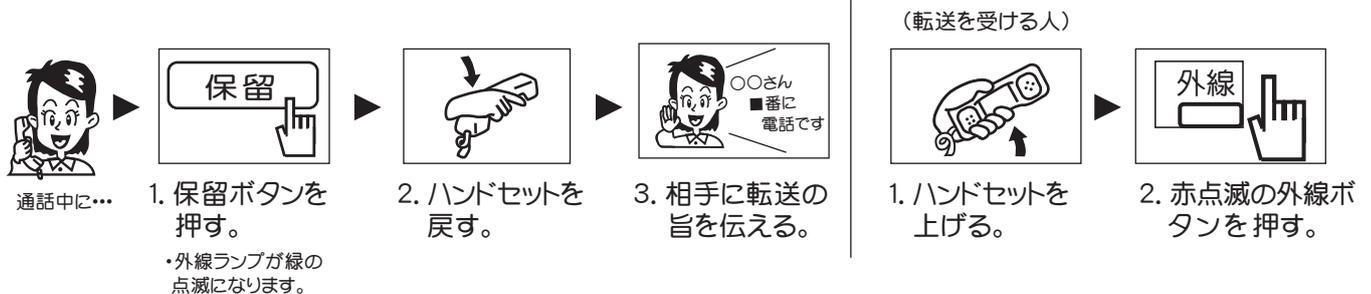


- 本方法で保留すると、保留した電話機以外の電話機からでも保留を解除できます。
- 保留中は、相手にメロディが流れます。

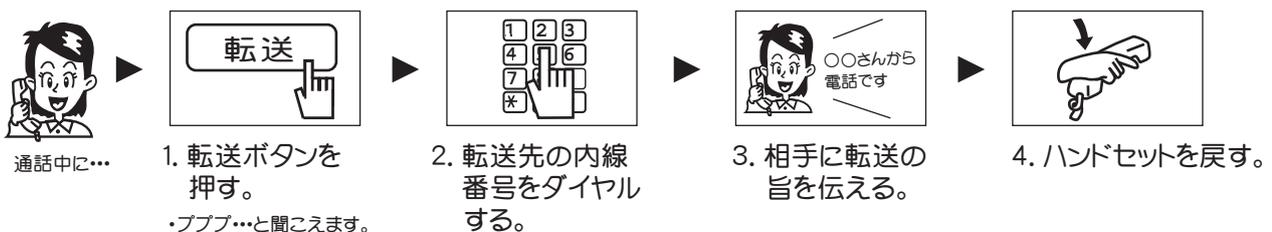
通話中の相手を他の内線に転送する

転送

① 近くの人に転送する(保留転送)



② 遠くの人に用件を伝えた後転送する(自動転送)

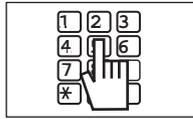
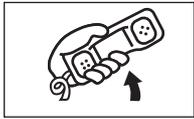


- 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

内線 基本操作

ハンドセットを上げてかける

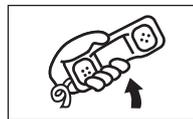
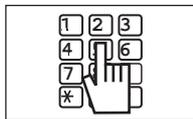
オフフックダイヤル



1. ハンドセットを上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。

ハンドセットを置いたままかける

オフフックダイヤル

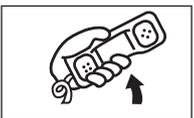


1. オフフックボタンを押す。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. スピーカで相手の応答を確認する。
4. ハンドセットを上げる。

・オフフックランプが赤点灯します。

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル



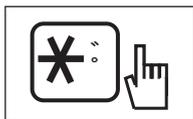
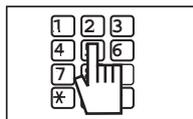
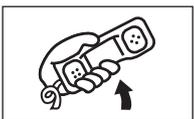
1. ハンドセットを上げる。
2. 内線ワンタッチボタンを押す。

- 空いている外線ボタンを[内線ワンタッチダイヤル]ボタンとして使用します。
- あらかじめ内線相手先を登録してください。(登録P.78)

相手を音声で呼び出す

音声呼出し

相手電話機のスピーカから話しかけることができます。



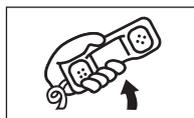
1. ハンドセットを上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. 呼び出し音が聞こえているときに*を押す。
4. 相手を呼び出す。

・冒頭音(ブーツ)が聞こえます。

- 操作3. で[*]ボタンを押す毎に、音声呼び出しと信号音呼び出しとに、交互に替わります。
- 本機能を利用できるのは、相手の電話機が多機能電話機の場合だけです。

電話を受ける

内線応答



・着信音が鳴り、オンフックランプが速い点滅になります。

1. ハンドセットを上げる。

通話中の相手を他の内線に転送する

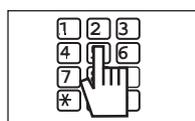
転送



通話中に...



1. 転送ボタンを押す。
・ブブブ...と聞こえます。



2. 転送先の内線番号をダイヤルする。



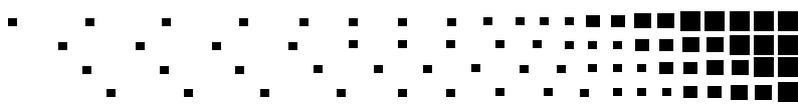
3. 相手に転送の旨を伝える。



4. ハンドセットを戻す。

● 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、「転送」ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

MEMO



第2章

便利な機能

本章は、電話機を更に使いこなすための機能についての説明です。

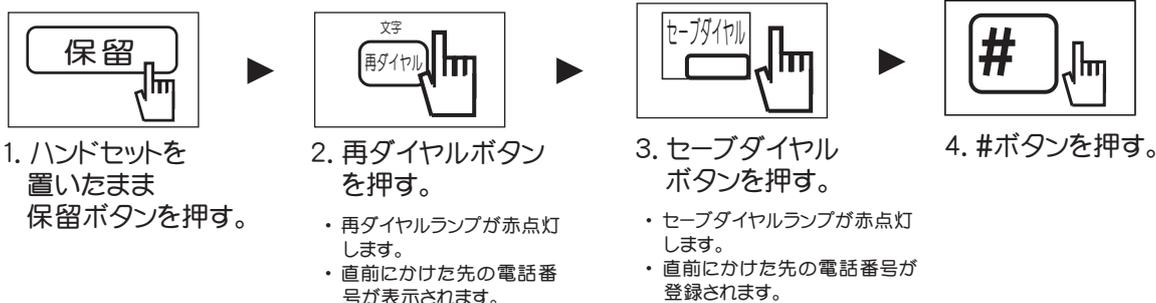
外線 便利な機能

外線発信した電話番号を一時記憶させる

セーブダイヤル

外線にかけたとき、再度その相手にかける可能性がある場合には、次の操作をすると、ダイヤルした番号を一時記憶させておくことができます。何度でも発信できるため一時的なワンタッチボタンとして便利です。

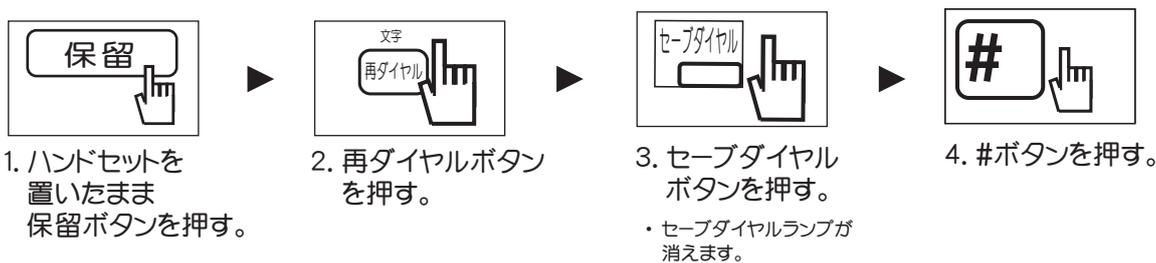
登録



発信



解除



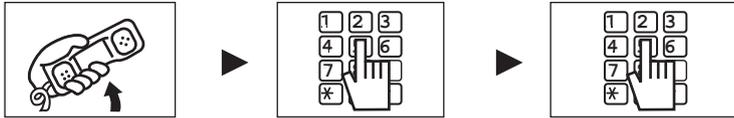
- セーブダイヤルボタンの登録は、取り付け時に販売店によって設定されるか、お客様がご自身でも登録することができます。この場合は、第6章「各種登録」を参照してください。

NCC (新電電各社) 回線を利用してかける

NCC発信

① LCR機能を利用する(国内LCR発信)

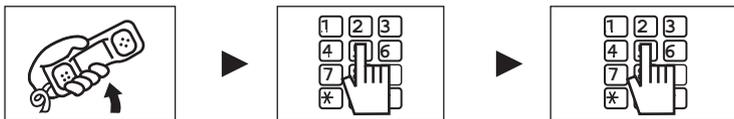
市外に電話をかけるとき、あらかじめ交換機に設定された、最も安い回線を自動的に選択してダイヤルします。



1. ハンドセットを上げる。
2. 国内LCR発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

② 任意のNCC回線を選択する(NCC発信)

任意のNCC回線を選択するとき、NCCアクセスをダイヤルする代わりに、各社の発信特番をダイヤルするだけでNCCアクセス番号が送出されます。



1. ハンドセットを上げる。
2. NCC各社の発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

③ 国際LCR機能を利用する(国際LCR発信)

海外に電話をかけるとき、あらかじめ交換機に設定された、安い方の回線を自動的に選択してダイヤルを送出します。

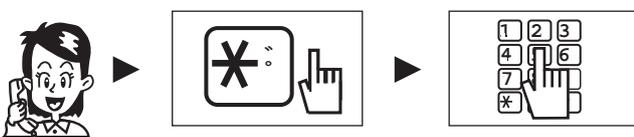


1. ハンドセットを上げる。
2. 国際LCR発信特番をダイヤルする。
3. 国番号をダイヤルする。
4. 相手番号をダイヤルする。

通話中にプッシュ(PB)信号を出す

PB信号送出

ダイヤル回線を利用している場合でも、銀行の残高照会など、プッシュ(PB)信号を必要とするサービスを利用することができます。



通話中に...

1. *ボタンを押す。
・ダイヤルパルスからプッシュ信号に替わります。
2. ダイヤルする。
・プッシュ信号でダイヤルが送出されます。

内線 便利な機能

相手が話中のため別の内線にかける

リセットコール

かけた先の内線が話し中または応答がないとき、別の末尾番号1桁をダイヤルすると、末尾番号の違う内線呼び出せます。一旦電話を切って再度かけ直す手間が省けます。



相手が話し中
または
応答がない...



1. 末尾1桁をダイヤルする。

〈例〉 内線310が話中 → 2をダイヤル → 内線312を呼び出します。

相手が話中のためそのまま通話終了を待つ

オフフックキャンブオン

かけた先の内線が話し中のとき、そのまま待っていると相手がハンドセットを戻した時点で自動的に呼び出しを開始します。



話中音が
聞こえている...



1. 登録音が聞こえる。



2. そのまま待つ。



3. 相手がハンドセットを戻すと呼び出し音に変わる。



4. 相手が応答したら通話する。

- オフフックキャンブオン機能は、取り付け時に設定されます。(販売店設定)

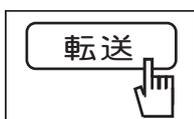
相手が話し終わったら自動的に呼び出す

オフフックキャンブオン

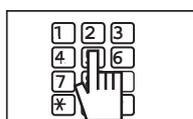
かけた先の内線が話し中のとき、この登録をしておくで相手が話し終わり次第呼び出します。



話中音が
聞こえている...



1. 転送ボタンを押す。



2. 待合せ特番を押す。



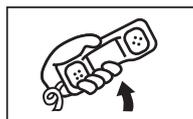
3. 登録音が聞こえる。



4. ハンドセットを戻す。



5. 相手が話し終わると呼び返し音がします。



6. ハンドセットを上げる。

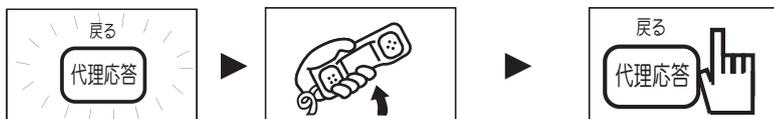
・呼び出し音が聞こえます。
相手の応答を待ってください。

- オフフックキャンブオン機能は、取り付け時に設定されます。(販売店設定)
- ハンドセットを戻さないことで、オフフックキャンブオンと同じ機能を利用できます。

グループ内の電話着信を自席の電話で受ける

代理応答

代理応答グループ内にかかってきた電話は、自席の電話機で応答することができます。



代理応答ランプが速い点滅になる。 1. ハンドセットを上げる。 2. 代理応答ボタンを押す。

- 代理応答グループは取り付け時に設定されます。(販売店設定)

相手が席に戻ったら相手から電話をもらう

留守中着信表示

<該当:留守中着信表示サービスが有効に設定されている場合>

内線に電話をかけた際に応答がないとき、次の操作をしておくで相手の電話機にこちらの内線番号を表示させておくことができます。相手が席に戻ったら、相手から電話をかけてもらうことができます。

セット



呼び出し中に..



1. 転送ボタンを押す。



2. 登録音が聞こえる。 3. ハンドセットを戻す。



相手の電話機【表示例】

着信あり	15 13:00
400	
15日(火)	15:00 450
着信音量	■■■■□□□

・転送ランプが遅い点滅になります。



- 留守中着信表示サービスの有効/無効は、取り付け時に設定されます。(販売店設定)

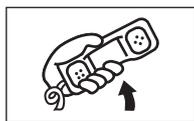
連絡を待っている相手に簡単な操作でかける

留守中着信自動呼出し

「着信あり」と表示されている場合は、内線相手が電話を待っているときです。このとき簡単な操作でその相手に電話をかけることができます。

【表示例】

着信あり	15 13:00
400	
15日(火)	15:00 450
着信音量	■■■■□□□



1. ハンドセットを上げる。



2. 転送ボタンを押す。

・転送ランプが遅い点滅になり、相手の内線番号が表示されます。

- 留守中着信の受け付けは最大5件です。
- 2件以上受け付けているとき、本操作でダイヤルされるのは、留守中着信表示の内線番号です。
- 2件以上受け付けているとき、ハンドセットを置いたまま[転送]ボタンを押すと、2件目の内線番号に切り替わります。
- 受け付けている内線番号表示を消すときは、ハンドセットを置いたまま[不在]ボタンを押してください。

内線 便利な機能(つづき)

不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる

不在メッセージ

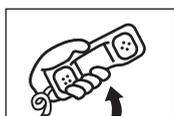
席を外すときや出張などの際に次の操作をしておくと、この間に電話をかけてきた相手電話機の表示器にメッセージで知らせることができます。

登録



1. ハンドセットを置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。

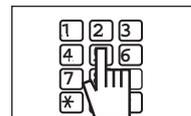


2. ハンドセットを上げる。

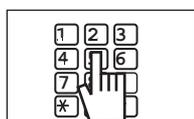


3. ◇ボタンを押す。

・◇ランプが赤点灯します。



4. 不在メッセージ番号(1~9, 0)を押す。



5. 続けて下表の時・分・日付などを入力する。

・入力内容のチェック機能はありません。



6. 登録音が聞こえたらハンドセットを戻す。

・不在ランプは点灯したままです。

└●操作4. の入力

└●操作5. の入力

不在メッセージ番号	表示内容
1	┌ <u>時</u> ┐:┌ <u>分</u> ┐ まで 不在
2	┌ <u>時</u> ┐:┌ <u>分</u> ┐ に 戻ります
3	┌ <u>日付</u> ┐ 日 まで 休み
4	┌ <u>日付</u> ┐ 日 まで 出張
5	┌ <u>日付</u> ┐ 日 に 出社
6	┌ <u>内線番号</u> ┐ で 会議中
7	┌ <u>時</u> ┐:┌ <u>分</u> ┐ まで 休憩中
8	┌ <u>時</u> ┐:┌ <u>分</u> ┐ まで 食事中
9	┌ <u>時</u> ┐:┌ <u>分</u> ┐ まで 外出中
0	帰宅しました

*上記の表示内容は初期設定での表示となります。
販売店の設定により表示内容の変更が可能です。

解除



1. ハンドセットを置いたまま不在ボタンを押す。

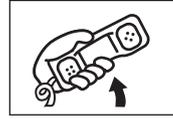
・不在ランプが消えます。

短縮ダイヤルの登録内容を確認してかける

短縮ダイヤル検索発信

短縮ダイヤルに登録されている内容(短縮番号または名称)を、確認してから電話をかけることができます。

① 短縮ダイヤルのコード番号を確認してかける(番号検索発信)



1. ハンドセットを置いたまま短縮ボタンを押す。

2. 確認する短縮番号を押す。
(例) 001

3. ハンドセットを上げる。

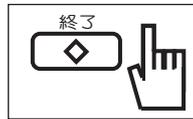


・方路検索画面になります。



・短縮番号に対応した電話番号が表示されます。

② 短縮ダイヤルの登録名称を確認してかける(名称検索発信)



1. ハンドセットを置いたまま短縮ボタンを押す。

2. ◇ボタンを押す。

3. 文字入力をする。☞文字入力(P.28)
(例) ヒタチ

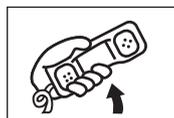
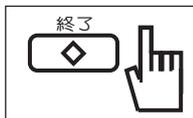


・方路検索画面になります。

・文字検索画面になります。



・検索文字数は最大4文字です。



4. 文字入力が終わったら◇ボタンを押す。

5. ハンドセットを上げる。



・名称、電話番号、短縮番号が表示されます。

● 操作2. で[短縮]ボタンを押すと方路検索に変わります。

短縮ダイヤル名称検索での文字入力

各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力してください。
なお、文字は半角で入力されます。

- 同じ文字を連続させるときは、[#]ボタンを押してください。
- 文字を消去するときは、[*]ボタンを押してください。
- 操作をキャンセルする場合は、[不在]ボタンを押してください。
- ハンドセットを上げると、それまで表示していた名称は消えます。

ご注意

本文字入力の内容は、短縮ダイヤルの登録内容を検索する場合だけのものです。(各ボタンの文字割り当て(P.103)とは別のものです)

ボタン	文字種
1 ^あ	→ アイウエオ 1
2 ^か _{ABC}	→ カキクケコ ABC 2
3 ^さ _{DEF}	→ サシスセソ DEF 3
4 ^た _{GHI}	→ タチツテト GHI 4
5 ^な _{JKL}	→ ナニヌネノ JKL 5
6 ^は _{MNO}	→ ハヒフヘホ MNO 6
7 ^ま _{PQRS}	→ マミムメモ PQRS 7
8 ^や _{TUV}	→ ヤユヨ TUV 8
9 ^ら _{WXYZ}	→ ラリルレロ WXYZ 9
0 ^わ _{記号}	→ フワン * * 0

NOTE

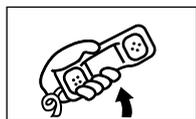
1. 本機能は、取り付け時に設定されます。設定されているかどうかは、販売店に確認してください。
2. 「文字検索」を利用できるのは下記の条件の場合です。
 - [◇]ボタンがフッキング機能になっていること。
 - 短縮ダイヤル情報に「読み仮名」が登録されていること。
3. 本機能を利用中は、話中状態になります。

不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する

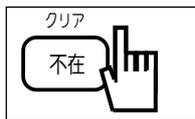
可変不在転送

他の場所で打合わせなどをするときに、本操作をしておくと、自席にかかってくる電話は自動的に登録先の内線に転送されます。

登録

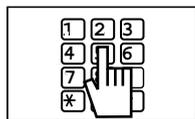


1. ハンドセットを上げる。



2. 不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。



3. 行先の内線番号をダイヤルする。



4. 登録音を確認する。

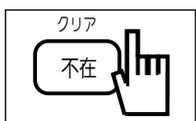


5. ハンドセットを戻す。

・不在ランプは点灯したままです。

● 操作4. の後、そのまま待っていると登録先の相手呼び出します。

解除



1. ハンドセットを置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

通話保留時その電話機からしか戻れないようにする

自己保留

自分が保留した通話を、他の人が間違えて取らないようにしておくことができます。

登録



通話中に..



1. 自己保留ボタンを押す。

・自己保留ランプが緑点灯になります。



2. ハンドセットを外しておく。

... この間は保留中 ...

解除



3. 自己保留ボタンを押す。

・自己保留ランプが消えます。

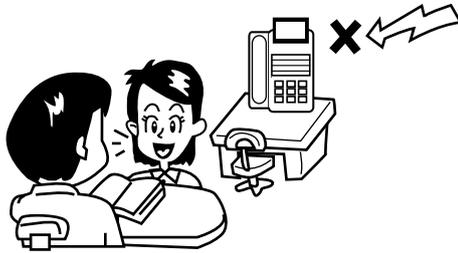
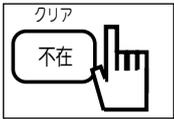
- 外線が収容されていない空きボタンを、[自己保留]ボタンとして使用します。(登録P.78)
- 本方法で保留すると、保留した電話機からのみ保留を解除できます。
- 保留中は相手にメロディが流れます。
- 操作2. でハンドセットを戻してしまうと呼び返し音が鳴ります。このときは、ハンドセットを上げて、もう一度保留操作をしてください。

一時電話がかかってこないようにする

着信拒否

電話を一時受けたくないとき、着信拒否を登録しておく、その間は着信を拒否することができます。

登録



1. ハンドセットを置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。

- 着信拒否を登録中に電話をかけてきた相手には、下記の音が聞こえます。

着信の種類	相手が聞こえる音
内線着信	話中音またはリオーダ音
外線転送着信	
個別着信	呼び出し音
DI(ダイヤルイン)着信	呼び出し音または話中音
DIL(ダイレクトインライン)着信	呼び出し音
DID(ダイレクトインダイヤル)着信	呼び出し音または話中音

解除



1. ハンドセットを置いたまま不在ボタンを押す。

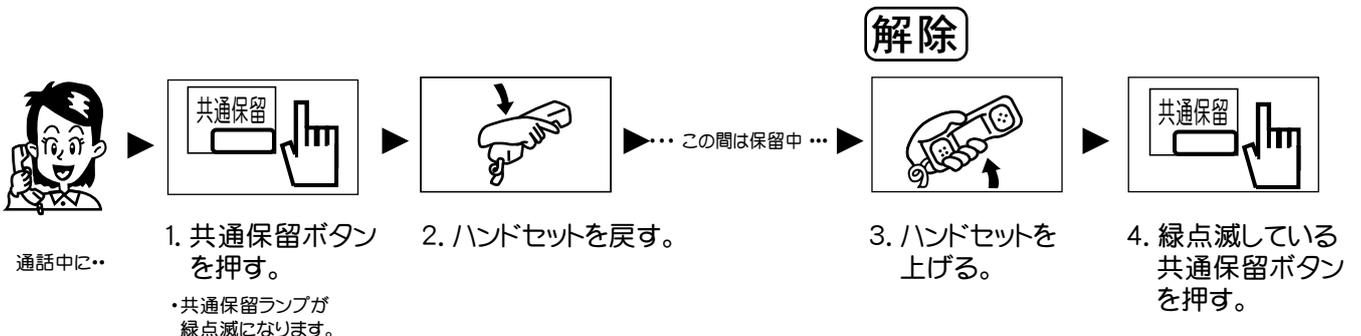
・不在ランプが消えます。

通話を個別に保留する

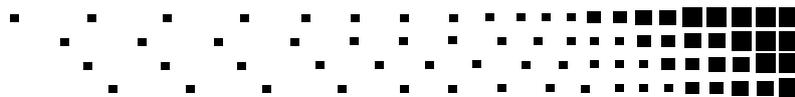
共通保留

<該当:[共通保留]ボタンが設定されている場合>

通話を個別に保留できるため、複数の通話が保留されていても間違えずに目的の相手に戻ることができます。



- 外線が収容されていない空きボタンを、[共通保留]ボタンとして使用します。(販売店設定)



第3章

付加機能

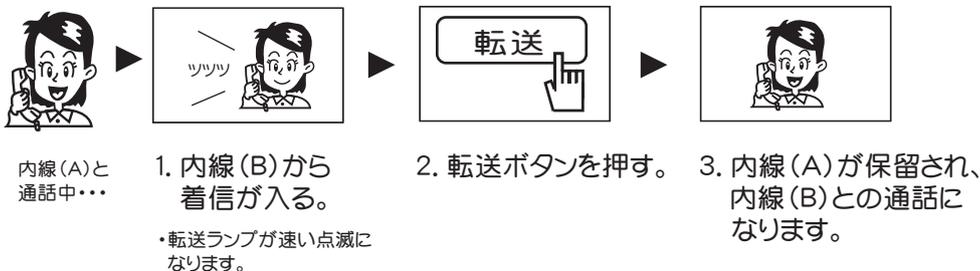
本章は、電話機の付加機能についての説明です。
交換機の構成によっては、提供されない付加機能
があります。販売店に確認してください。

付加機能

通話中に割込んできた電話に応答する

通話中着信表示

内線(A)と通話中に、内線(B)から電話がかかってくると特殊な着信音が聞こえます。このとき通話中の相手に待ってもらい、かかってきた電話に応答することができます。



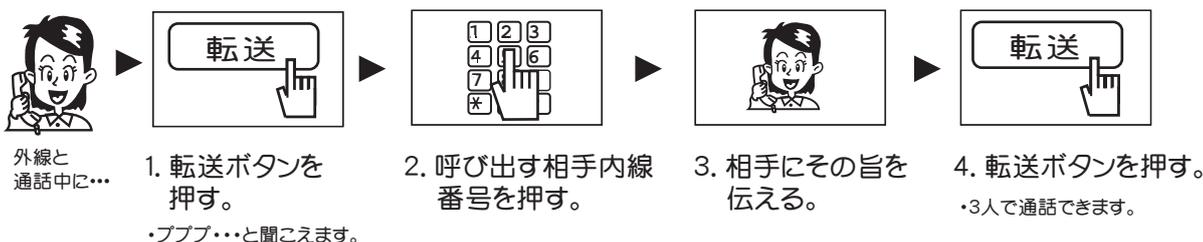
- 操作3. の後で、[転送]ボタンを押すと、内線(B)が保留されて内線(A)との通話になります。
[転送]ボタンを押すごとに通話相手が変わります。

3人で話す

三者通話

① 外線1人と内線2人で通話する(1外線三者通話)

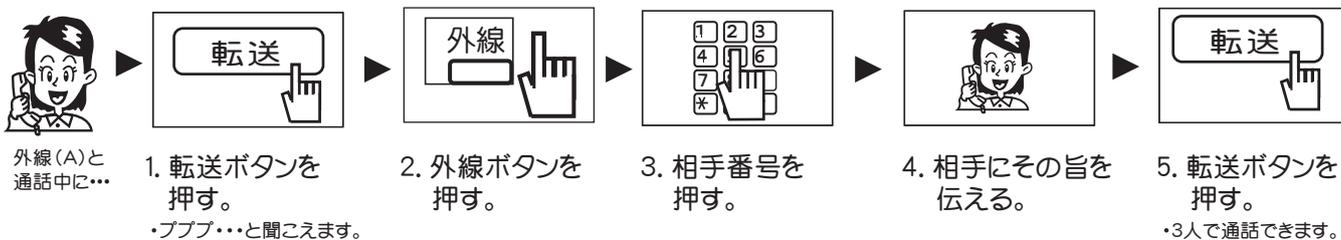
外線と通話中に、内線相手呼び出して3人で通話することができます。



- 相手の応答がないときは[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、[転送]ボタンを押すごとに「外線との2者」→「3者」→「内線との2者」→「3者」に変わります。
- 三者通話を始めた人がハンドセットを戻すと、あとの2人での通話になります。

② 外線2人と内線1人で通話する(2外線三者通話)

外線(A)と通話中に、もう1人の外線(B)を呼び出して3人で通話することができます。



- 相手の応答がないときは[キャンセル]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- [キャンセル]ボタンは、外線が収容されていない空きボタンに登録します。(登録 P. 78)
- 操作5. の後、[転送]ボタンを押すごとに「外線(A)との2者」→「3者」→「外線(B)との2者」→「3者」に変わります。

③ 内線3人で通話する(内線三者通話)

内線(A)と通話中に、もう1人の内線(B)を呼び出して3人で通話することができます。

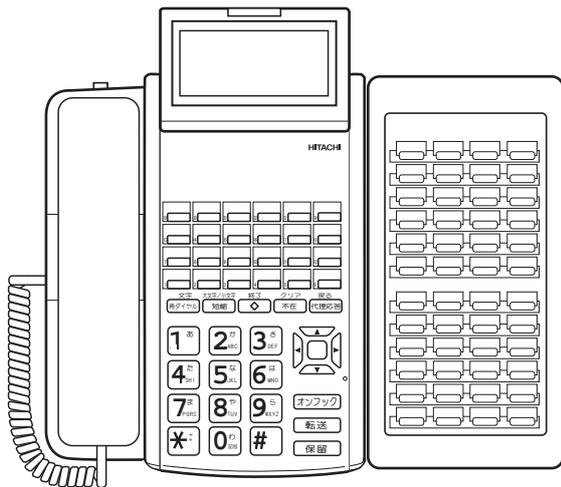


- 相手の応答がないときは[転送]ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、[転送]ボタンを押すごとに「内線(A)との2者」→「3者」→「内線(B)との2者」→「3者」に変わります。
- 三者通話を始めた人がハンドセットを戻すと、あとの2人での通話になります。

DSS(ワンタッチ呼出装置)を使う

DSS

本機器のボタン(48個)は、外線ボタン、オートダイヤルボタン、内線ワンタッチボタンとして利用することができます。



▲
DSS(ワンタッチ呼出装置)

外線ボタン

- ボタンの設定は取付時に販売店が行います。

オートダイヤルボタン

- 空きボタンには任意に相手番号を登録できます。(登録P.78)

内線ワンタッチボタン

- 空きボタンには任意に内線番号を登録できます。(登録P.78)

ヘッドセットで通話する

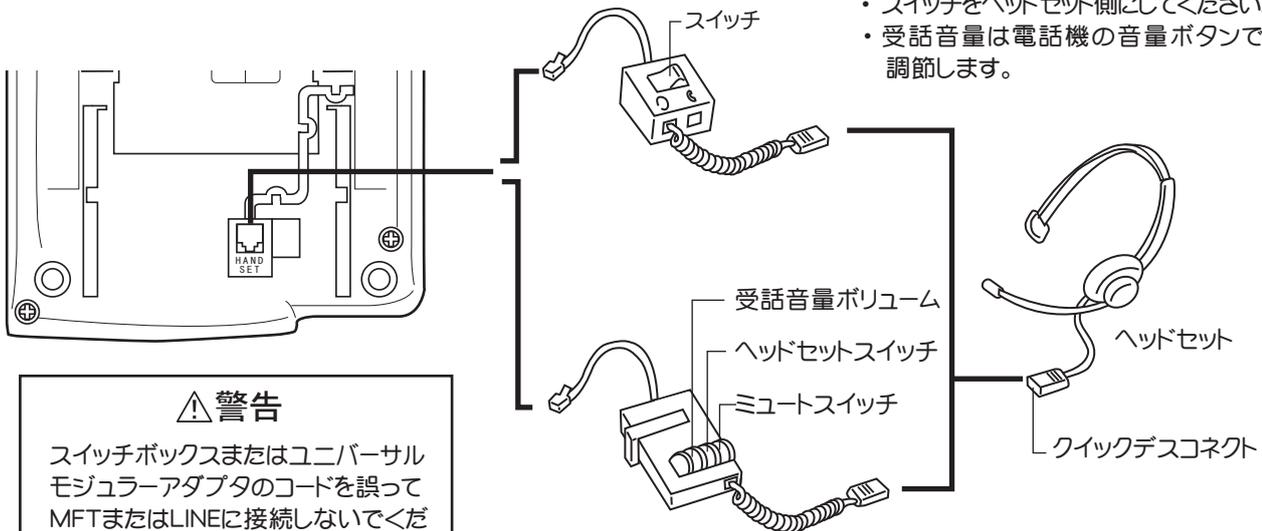
ヘッドセット通話

ハンドセットの代わりにヘッドセットを使って通話することができます。

 ヘッドセットを接続するには電話機の設定が必要です。
販売店にご用命ください。

スイッチボックス【スイッチボックス使用の場合】

- ・スイッチをヘッドセット側にしてください。
- ・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。



⚠警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。

ユニバーサルモジュラーアダプタ

【ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合】

- ・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話する。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

電話を受ける

■ 外線からの電話に应答する



着信音が鳴る。



1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話する。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

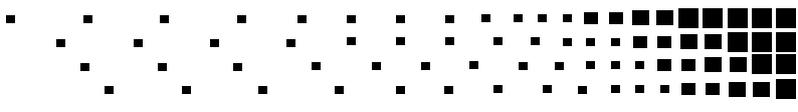
■ 内線からの電話に应答する



着信音が鳴る。



1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。



第4章

画面からの 機能設定

本章は、各種機能を電話機の画面から設定する説明です。

- 本章の内容の操作は、全てハンドセットを置いたままで操作します。
- 本章の内容を操作中に、電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。各種データが保護できず、情報の一部または全てが消失したり、電話機が故障する場合があります。
- 電話機設定内容や電話帳データは、誤操作や故障により保護できない場合がありますので、定期的にバックアップしてください。(P.59)
- 電話機を修理する場合は、電話機設定内容や電話帳データは保護されません。お客様への返却時は工場出荷(初期)状態になります。

画面からの機能設定

設定項目について

電話機の画面から下記の項目を設定できます。

システム関係

項目	入力モード	内容
1 電話帳登録 (P.37)	画面入力	電話帳に相手番号を登録します。
2 電話帳検索 (P.39)		電話帳に登録してある相手に発信します。
3 電話帳編集 (P.41)		登録してある電話帳を編集します。
4 履歴発信 (P.42)		発信／着信履歴に残っている相手先に発信します。
5 履歴保存 (P.43)		発信／着信履歴として保存する条件を設定します。
6 発着信履歴電話帳登録 (P.44)		発信／着信履歴に残っている相手先を電話帳に登録します。
7 電話帳／履歴消去 (P.45)		電話帳や発信／着信履歴を消去します。
8 短縮ダイヤル電話帳登録 (P.46)		システム短縮ダイヤルに登録してある相手を電話帳に登録します。
9 グループ設定変更 (P.47)		グループ名や着信音などを設定します。

その他

項目	入力モード	内容
10 着信音設定 (P.48)	画面入力	電話がかかってきたときの音色(トーン)を選択します。
11 着信音の停止 (P.49)		電話がかかってきたときの音を停止できるようにします。
12 ボタン操作音の停止 (P.49)		ボタンを押したときに出る音を停止します。
13 音量の初期化 (P.50)		電話機電源をOFF/ONしても音量の設定を記憶します。
14 画面コントラスト調節 (P.50)		画面のコントラストを調節します。
15 省電力設定 (P.51)		電話機の画面バックライトと各種ボタンランプの節電ができます。
16 ヘッドセット接続設定 (P.53)		ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用するときに設定します。
17 電話機初期化 (P.53)		電話機の設定内容を工場出荷時に戻します。
18 ハンドセット環境設定 (P.54)		ハンドセットに関する内容を設定します。
19 電話機ロック (P.55)		自分の電話機を他の人から操作できないようにロックします。
20 アラーム設定 (P.56)	指定した時刻にアラーム音を鳴らします。	

操作画面について

上記の項目を設定するときは、次の操作でメニュー画面を開いてから操作します。

① 待機画面

内線番号 3000
05月16日(月) 13:22

着信音量 ■■■□□□

待機画面で **決定** を押す。

② トップメニュー画面

1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム



・電話機をロックしてある場合は、パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力してください。

・メニュー画面を起動中は、着信は受け付けません。また、発信側には話中として通知されます。
・メニュー画面を起動中、電話機操作しないまま約1分経過すると待機画面に戻ります。この場合編集集中の内容は破棄される場合があります。

電話帳に登録する

電話帳登録

よくかける相手先をあらかじめ電話帳に登録しておくとう便利です。
登録する内容は以下のとおりです。

■登録内容と表示内容



必須項目(名前、電話番号1)は必ず入力してください。
入力がないと登録されません。

項目	登録内容	表示内容
メモリ番号	001~500	自動入力
名前	全角10文字(半角20文字)	必須入力
読み仮名	半角のみ 10文字	-
電話番号1の特番	5桁	-
電話番号1	32桁	必須入力
電話番号2の特番	5桁	-
電話番号2	32桁	-
電話番号3の特番	5桁	-
電話番号3	32桁	-
グループ	グループ01~20	名前可変
着信音	指定なし トーン01~12	-
着信ランプ色	指定なし 7色 連続点灯	-

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 00311223344
3 00398765432

001
日立太郎
ヒタチタロウ
グループ02
トーン05
赤色

NOTE

- 電話帳への登録は最大500件(メモリ番号:001~500)です。空いているメモリ番号へ自動的に登録されます。
- 1件の電話帳に電話番号を3番号まで登録できます。なお、3番号登録しても電話帳の件数は減りません。
- 電話帳をグループに分けて管理できます。グループには「会社」「部」などの名前をつけることができます。電話帳を登録する前にグループ名を登録(P.47)しておくとう便利です。
- 名前と電話番号の入力だけでも登録できます。ただし、検索条件が減ることになります。
- 電話帳に設定した名前を表示するのは、外線着信時に発信者番号を受信した場合だけです。内線または専用線着信時には電話帳の名前は表示しません。
- 電話帳に同じ電話番号が複数登録されていて、その電話番号から着信があると、先に登録された方のデータが優先表示されます。

【トップメニュー画面】

- | |
|-----------|
| 1 電話帳 |
| 2 履歴 |
| 3 電話機設定 1 |
| 4 電話機設定 2 |
| 5 ロック |
| 6 アラーム |

「1 電話帳」を選択→
決定を押す。
- | |
|-----------|
| 1 検索 |
| 2 登録 |
| 3 グループ |
| 4 電話帳読み込み |
| 5 電話帳書き出し |

「2 登録」を選択→
決定を押す。
- | |
|---------------|
| 1 名前(必須) |
| 2 読み仮名 |
| 3 電話番号1の特番 |
| 4 電話番号1(必須) |
| 5 確認/登録 |
| ← (1 / 2) → |

「1 名前(必須)」を選択→
決定を押す。

画面からの機能設定(つづき)

④ 名前？
日立太郎
漢全

名前を入力→
決定を押す。
文字入力(P.102)

⑤ 読み仮名？
ヒタチタロウ
カナ半

読み仮名を編集→
決定を押す。

⑥ 電話番号1の特番？
0

電話番号の特番を入力→
決定を押す。

- 電話番号1の特番を入力します。
- 特番は外線等にかける際に電話番号の前に付ける番号です。電話番号とは分けて入力してください。
- 特番は管理者にお問い合わせください。

⑦ 電話番号1
0312345678

電話番号を入力→
決定を押す。

⑧ 1 グループ登録へ
2 電話番号2の特番
3 電話番号2の特番
4 電話番号3の特番
5 電話番号3

電話番号1件だけの登録時は「1グループ登録へ」を選択→決定を押す。

- 1件の電話帳に3番号まで電話番号を登録できます。複数登録する場合は「2」～「5」を選択してください。

【グループ選択1ページ目】

⑨ 1 グループ01
2 グループ02
3 グループ03
4 グループ04
5 グループ05
← (1 / 4) →

保存先のグループを選択→決定を押す。

- グループ数は20です。
- グループ名称を変更していると変更した名称が表示されます。

【着信音選択1ページ目】

⑩ 1 指定なし
2 トーン01
3 トーン02
4 トーン03
5 トーン04
← (1 / 3) →

着信音を選択→
決定を押す。

- 「1 指定なし」にすると着信音は交換機指定の着信音、着信音設定で登録されたグループ着信音や着信形態で鳴ります。

• 電話帳に設定した着信音が鳴るのは、外線着信時に発信者番号を受信した場合だけです。内線または専用線着信時には電話帳に登録した着信音は鳴りません。

• 着信音および着信メロディを選択する場合は、販売店によりサウンド設定変更が必要です。

【着信ランプ色選択1ページ目】

⑪ 1 指定なし
2 赤色
3 緑色
4 青色
5 黄色
← (1 / 2) →

着信ランプ色を選択→
決定を押す。

- 電話帳に登録する外線番号については、個別に着信ランプ色を選択できます。
- 「1 指定なし」にすると、着信ランプ色はグループ着信音や着信形態で点滅します。

【電話帳1ページ目】

⑫ 001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2
3

内容を確認→
決定を押す。

- これで電話帳に登録されました。
- 所属グループ/着信音/着信ランプ色を確認するときは ▽ を押してください。
- 各電話番号の19桁目以上を確認するときは ▶ を押してください。

決定を押さないで操作を終了すると、入力した内容は登録されずに消去されます。

電話帳を検索して電話をかける

電話帳検索

電話帳に登録されている相手先を探すときは、次の方法で検索してください。

①

1	電話帳
2	履歴設定 1
3	電話機設定 2
4	メニュー
5	グループ
6	アラーム

「1 電話帳」を選択→
決定を押す。

②

1	検索
2	登録
3	グループ
4	電話帳読み込み
5	電話帳書き出し

「1 検索」を選択→
決定を押す。

【検索メニュー】

③

1	名前検索
2	メモ番号検索
3	グループ番号検索
4	電話番号検索
5	読み仮名検索

＜名前検索の場合＞
「1 名前検索」を選択→
決定を押す。

☞ 名前検索以外の場合はここからP.40へ進んでください。

④

名前 ?
日立
漢全

名前を入力→
決定を押す。
☞ 文字入力(P. 102)

・未入力で $\blacktriangle/\blacktriangledown$ を押すと、全電話帳をシフトJISコード順に並べて表示します。

【検索結果】

⑤

1	日立営業所
2	日立花子
3	日立工場
4	日立事務所
5	日立太郎

電話帳を選択→
決定を押す。

← (1 / 2) →

- ・ハンドセットを上げるか、(オンフック) を押すと、カーソルで選択している電話帳の電話番号 1 に発信します。
- ・ダイヤルボタンを押すと、対応する電話帳を開きます。
- ・検索結果をシフトJISコード順に並べて表示します。

【電話帳1ページ目】

⑥

001
日立太郎
ヒタタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

決定を押す。

- ・電話番号(特番含む)を18桁まで表示します。全桁を確認する場合は手順を進めてください。
- ・ハンドセットを上げるか、(オンフック) を押すと、電話帳の電話番号 1 に発信します。
- ・ダイヤル「1」～「3」を押すと、対応する電話番号 1～3 で発信します。(オンフック発信)
- ・ \blacktriangle や \blacktriangleright を押すと、検索条件を満たした他の電話帳に切り替わります。

【電話帳メニュー】

⑦

1	発信番号選択
2	変更
3	削除
4	全削除
5	グループ削除

「1 発信番号選択」を選択→
決定を押す。

⑧

1	00312345678
2	003112233445566778
3	00398765432

発信先を選択→
決定を押す。

- ・電話番号(特番含む)を最大37桁で表示します。
- ・ハンドセットを上げるか、(オンフック) を押すと、カーソルで選択している電話番号に発信します。

画面からの機能設定(つづき)

メモリ番号検索

【検索メニュー】

③

1	名前検索
2	メモリ番号検索
3	グループ番号検索
4	電話番号検索
5	読み仮名検索

「2 メモリ番号検索」を選択→
決定を押す。

④

メモリ番号 ?

001

メモリ番号を入力→
決定を押す。

・未入力で▼を押すと、全電話帳をメモリ番号順に並べて表示します。

【電話帳1ページ目】

⑤

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

グループ検索

【検索メニュー】

③

1	名前検索
2	メモリ番号検索
3	グループ番号検索
4	電話番号検索
5	読み仮名検索

「3 グループ検索」を選択→
決定を押す。

④

【グループ選択1ページ目】

1	グループ	0	1
2	グループ	0	2
3	グループ	0	3
4	グループ	0	4
5	グループ	0	5

← (1 / 4) →

保存先のグループを選択→
決定を押す。

【検索結果】

⑤

1	日立太郎
2	日立花子
3	日立事務所
4	日立工場
5	日立営業所

電話帳を選択→
決定を押す。

・検索結果をメモリ番号順に並べて表示します。

【電話帳1ページ目】

⑥

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

電話番号検索

【検索メニュー】

③

1	名前検索
2	メモリ番号検索
3	グループ番号検索
4	電話番号検索
5	読み仮名検索

「4 電話番号検索」を選択→
決定を押す。

④

電話番号 ?

0398

電話番号を入力→
決定を押す。

・未入力で▼を押すと、全電話帳を電話番号順に並べて表示します。

【検索結果】

⑤

1	日立太郎
2	日立花子
3	日立事務所
4	日立工場
5	日立営業所

電話帳を選択→
決定を押す。

・検索結果を電話番号順に並べて表示します。

【電話帳1ページ目】

⑥

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

読み仮名検索

【検索メニュー】

③

1	名前検索
2	メモリ番号検索
3	グループ番号検索
4	電話番号検索
5	読み仮名検索

「5 読み仮名検索」を選択→
決定を押す。

④

読み仮名 ?

ヒタチ

か半

読み仮名を入力→
決定を押す。

・未入力で▼を押すと、全電話帳を読み仮名順に並べて表示します。

【検索結果】

⑤

1	日立営業所
2	日立工場
3	日立事務所
4	日立太郎
5	日立花子

電話帳を選択→
決定を押す。

・検索結果を読み仮名順に並べて表示します。

【電話帳1ページ目】

⑥

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

電話帳を編集する

電話帳に登録されている内容を編集することができます。

☞ 電話帳検索(P.39)で「電話帳1ページ目」の画面を開いてください。

【電話帳1ページ目】

①

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

決定を押す。

【電話帳メニュー】

②

1 発信番号選択
2 変更
3 消去
4 全消去
5 グループ消去

「2 変更」を選択→
決定を押す。

【電話帳登録メニュー1ページ目】

③

1 名前(必須)
2 読み仮名
3 電話番号1の特番
4 電話番号1(必須)
5 確認/登録
← (1 / 2) →

◀ ▶ で画面が切り替わります。↑ ↓ 変更する項目を選択→

【電話帳登録メニュー2ページ目】

1 電話番号2/3へ
2 グループ番号
3 着信音色
4 着信ランプ色
5 確認/登録
← (2 / 2) →

決定を押す。

【電話帳1ページ目】

④

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

内容を確認→
決定を押す。

・これで内容が更新されました。

これらに関して編集できます

■名前

名前?
日立太郎
漢全

■読み仮名

読み仮名?
ヒタチタロウ
カナ半

■電話番号1~3の特番

電話番号1の特番?
0

■電話番号1~3

電話番号1?
0312345678

■グループ

1 グループ01
2 グループ02
3 グループ03
4 グループ04
5 グループ05
← (1 / 4) →

■着信音色

1 指定なし
2 トーン01
3 トーン02
4 トーン03
5 トーン04
← (1 / 3) →

■着信ランプ色

1 指定なし
2 赤色
3 緑色
4 青色
5 黄色
← (1 / 2) →

履歴を使って電話をかける

履歴発信

一度かけた先の電話番号を発信履歴に、かけてきた相手の電話番号を着信履歴に記憶します。それぞれ最新の分から最大30件まで記憶しています。これらを選択して電話をかけることができます。

発信履歴

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

 「2 履歴」を選択→
 を押す。

- ②

1	発信履歴
2	着信履歴

 「1 発信履歴」を選択→
 を押す。

- ③

【発信履歴】	
発信履歴	N0.01
04月28日(火)	15:44
日立太郎	
00312345678	

 ▲/▼ で、かける先の履歴を選択→
 を押す。
 - ハンドセットを上げるか、 を押すと、表示している履歴先に発信します。

- ④

1	発信
2	電話帳登録
3	1件消去
4	全消去

 「1 発信」を選択→
 を押す。
 - オンフック状態で発信されます。

着信履歴

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

 「2 履歴」を選択→
 を押す。

- ②

1	発信履歴
2	着信履歴

 「2 着信履歴」を選択→
 を押す。

- ③

【着信履歴】	
着信履歴	N0.01
04月28日(火)	15:44
日立太郎	
00312345678	
不在着信	

 ▲/▼ で、かける先の履歴を選択→
 を押す。
 - ハンドセットを上げるか、 を押すと、表示している履歴先に発信します。
 - 着信に回答しなかった場合は、画面下段に「不在着信」と表示されます。ただし、ボタン着信など、着信形態によっては着信履歴に残らない場合もあります。

- ④

1	発信
2	電話帳登録
3	1件消去
4	全消去

 「1 発信」を選択→
 を押す。
 - オンフック状態で発信されます。

NOTE

1. 交換機から履歴情報を受信した場合、電話機側で履歴を保存します。対象は外線発信履歴、専用線発信履歴、内線発信履歴、着信通話履歴、不在着信履歴です。ただし、メニュー「3 電話機設定 1」→「3 履歴保存条件」にて、各発信履歴について「2 保存しない」を選択しているときは、交換機からの履歴情報を受信しても保存しません。また、「1 保存する」を設定していても回線条件によって発信者番号が取得できない場合や、交換機側の設定によって履歴情報が電話機に転送されない場合は保存されません。
2. 発信履歴(外線発信履歴、専用線発信履歴、内線発信履歴)の保存条件で、「1 保存する」を設定している項目は、交換機からの履歴情報によらず電話機側で保存します。なお、途中放棄なども履歴として保存されます。
3. 交換機の電源がOFFに、また電話機の回線コードの抜き差しによって電源がOFFになった場合は、最後に発信/着信した履歴は保存されません。
4. [外線]ボタン操作で発信した際には、発信履歴に特番が残りません。
5. 通話中にダイヤル操作でPB信号を送出した場合、ダイヤルした内容が発信履歴に残る場合があります。

履歴を保存する

履歴保存

発信／着信履歴を保存するか否かを設定することができます。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロータム
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→
決定を押す。

②

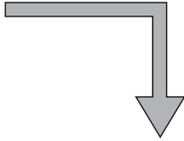
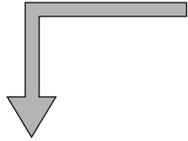
1	サウンド設定
2	履歴保存条件
3	履歴保存条件
4	履歴保存条件

「3 履歴保存条件」を選択→
決定を押す。

③

1	発信履歴
2	着信履歴

どちらか選択→
決定を押す。



発信履歴

着信履歴

【発信履歴保存条件】

【着信履歴保存条件】

④

1	外線発信履歴
2	専用線発信履歴
3	内線発信履歴

いずれか選択→
決定を押す。

④

1	着信通話履歴
2	不在着信履歴

どちらか選択→
決定を押す。

- ・「1 外線発信履歴」…外線に発信したとき
- ・「2 専用線発信履歴」…専用線に発信したとき
- ・「3 内線発信履歴」…内線に発信したとき

- ・「1 着信通話履歴」… 着信に回答して通話したとき
- ・「2 不在着信履歴」… 着信に回答できなかったとき

⑤

外線発信履歴
1 保存する
2 保存しない

どちらか選択→
決定を押す。

⑤

着信通話履歴
1 保存する
2 保存しない

どちらか選択→
決定を押す。

画面からの機能設定(つづき)

履歴から電話帳に登録する

発着信履歴電話帳登録

発着信履歴に保存されている相手先番号を電話帳に登録することができます。
 なお、発着信履歴から既登録の電話帳データの変更はできません。

☞履歴発信(P.42)で発着信履歴画面を開いてください。

①

発信履歴	NO.01	登録したい履歴を表示させて→
04月28日(火)	15:44	<input type="button" value="決定"/> を押す。
00312345678		

②

1 発信	[2 電話帳登録]を選択→
2 電話帳登録	
3 1件消去	
4 全消去	

を押す。

③

1 名前(必須)	[1 名前(必須)]を選択→
2 読み仮名	
3 電話番号1の特番	
4 電話番号1(必須)	
5 確認/登録	

← (1 / 2) →

を押す。

・履歴の電話番号は「電話番号1」に登録されます。

④

名前?	名前を入力→
日立太郎	<input type="button" value="決定"/> を押す。
漢全	☞文字入力(P.102)

⑤

読み仮名?
ヒタチタロウ
カナ半

・名前入力に使用したカナが表示されます。

読み仮名を入力して を押す。

⑥

電話番号1の特番?
0

< 以下の操作は電話帳登録(P.38)と同じです。 >

読み仮名を入力して を押す。

- ・必須条件が満たされるため電話帳に登録できます。
- ・設定していない項目は以下の内容で登録されます。
 グループ:グループ01
 着信音:指定なし
 着信ランプ色:指定なし

⑥

1 名前(必須)	[5 確認/登録]を選択→
2 読み仮名	
3 電話番号1の特番	
4 電話番号1(必須)	
5 確認/登録	

← (1 / 2) →

を押す。

⑦

010	内容を確認→
日立太郎	
ヒタチタロウ	
1 00312345678	
2	<input type="button" value="決定"/> を押す。
3	

電話帳や履歴を消去する

電話帳／履歴消去

電話帳に登録されている内容や履歴を消去することができます。

電話帳の消去

- 電話帳検索(P.39)から「電話帳1ページ目」を開いてください。

【電話帳1ページ目】

①

001 日立太郎 ヒタチタロウ 1 00312345678 2 003112233445566778 3 00398765432	消去する電話帳を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
---	---

【電話帳メニュー】

②

1 発信番号選択 2 変更 3 消去 4 全消去 5 グループ消去	消去方法を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
---	--

- ・「3消去」：選んだ電話帳を1件消去します。
- ・「4全消去」：全電話帳を消去します。
- ・「5グループ消去」：選んだ電話帳を含んでいるグループ内の全電話帳を消去します。

【消去確認】

③

日立太郎 を消去しますか？ 1 いいえ 2 はい	「2 はい」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
-----------------------------------	--

- ・消去した電話帳は復元できません。

④

消去中

- ・消去に時間がかかる場合があります。
- ・消去されると本画面が消えます。



消去中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

履歴の消去

- 履歴発信(P.42)から「発信履歴」／「着信履歴」を開いてください。

【発信履歴】

①

発信履歴 04月28日(火) 日立太郎 00312345678	NO.01 15:44	▲/▼ で消去する 履歴を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
--	----------------	---

【履歴メニュー】

②

1 発信履歴登録 2 電話帳登録 3 1件消去 4 全消去	消去方法を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
--	--

- ・「3 1件消去」：選んだ履歴を1件消去します。
- ・「4 全消去」：全履歴を消去します。

【消去確認】

③

履歴を消去しますか？ 1 いいえ 2 はい	「2 はい」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
-----------------------------	--

- ・消去した履歴は復元できません。

④

消去中

- ・消去に時間がかかる場合があります。
- ・消去されると本画面が消えます。



消去中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

画面からの機能設定(つづき)

短縮ダイヤルを電話帳に登録する

短縮ダイヤル電話帳登録

システム短縮ダイヤルに登録されている相手先を、電話帳に登録することができます。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	プログラム
6	アラーム

「1 電話帳」を選択→
決定を押す。

②

1	検索
2	登録
3	グループ
4	電話帳読み込み
5	電話帳書き出し

「4 電話帳読み込み」を選択→決定を押す。

③

1	短縮ダイヤル
2	SDカード
3	携帯電話の電話帳

「1 短縮ダイヤル」を選択→決定を押す。

④

1	グループ 0 1	
2	グループ 0 2	
3	グループ 0 3	
4	グループ 0 4	
5	グループ 0 5	
←	(1 / 4)	→

保存先のグループを選択→決定を押す。

- ・グループ数は20です。
- ・グループ名称を変更している場合、変更した名称が表示されます。

⑤

短縮番号？
50

短縮番号を入力→
決定を押す。

- ・短縮番号は最大5桁です。
- ・登録されている短縮番号は管理者に問い合わせてください。

【短縮ダイヤル情報表示】

⑥

短縮番号 :	50
グループ :	01
発信特番 :	0
03111134	
日立花子	
ヒタチハナコ	

内容を確認→
決定を押す。

- ・読み仮名や電話番号を変更するときは、「電話帳」から開いて編集してください。(電話帳編集(P. 41))
- ・名称が登録されていない短縮ダイヤルはメモリ番号が名前に仮登録されます。

グループ設定を変更する

グループ設定変更

電話帳に区分するグループ名およびグループ毎の、着信音色や着信ランプ色を変更することができます。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロータリー
6	アラーム

「1 電話帳」を選択→
決定を押す。

②

1	検索
2	登録
3	グループ
4	電話帳読み込み
5	電話帳書き出し

「3 グループ」を選択→決定を押す。

【グループ選択1ページ目】

③

1	グループ 0 1
2	グループ 0 2
3	グループ 0 3
4	グループ 0 4
5	グループ 0 5

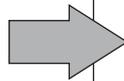
変更するグループを選択→決定を押す。

- ・グループ数は20です。
- ・グループ名称を変更している場合、変更した名称が表示されます。

④

1	名称変更
2	着信音色
3	着信ランプ色

変更する項目を選択→決定を押す。



名前

名前 ?
グループ 0 1
漢全

名前を入力→決定を押す。

- ・全角9文字(半角18文字)までを推奨します。グループ選択の際は、全角10文字目が表示されないためです。ただし電話帳には表示されます。

着信音色

【着信音選択1ページ目】

1	指定なし
2	トーン 0 1
3	トーン 0 2
4	トーン 0 3
5	トーン 0 4

着信音を選択→決定を押す。

- ・グループ内の電話帳に登録する外線番号について、個別に着信音を選択することができます。
- ・「1 指定なし」にすると、着信音は着信形態で鳴ります。
- ・着信音および着信メロディを選択する場合は、販売店によりサウンド設定変更が必要です。

着信ランプ色

【着信ランプ色選択1ページ目】

1	指定なし
2	赤色
3	緑色
4	青色
5	黄色

着信ランプ色を選択→決定を押す。

- ・グループ内の電話帳に登録する外線番号について、個別に着信ランプ色を選択することができます。
- ・「1 指定なし」にすると着信ランプ色は着信形態で点滅します。

画面からの機能設定(つづき)

着信音を設定する

着信音設定

お好みの着信音を選択することができます。

着信メロディも利用することができます。
なお、販売店による設定が必要です。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	プログラム
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→
決定を押す。

②

1	サウンド設定
2	LCD設定
3	履歴保存条件
4	拡張機能

「1 サウンド設定」を選択→
決定を押す。

③

1	着信音設定
2	音量設定
3	音タレ
4	レベリング

「1 着信音設定」を選択→
決定を押す。

④

1	着信種別毎音色
2	ボタン毎音色

どちらか選択→
決定を押す。

着信種別毎音色

⑤

1	内線着信音
2	外線着信音
3	専用線着信音
4	特留着信音
5	保留着信音

いずれか選択→
決定を押す。

- ・「1 内線着信音」……内線からの着信
- ・「2 外線着信音」……外線からの着信
- ・「3 専用線着信音」……専用線からの着信
- ・他項目の詳細は販売店の設定により異なりますので、販売店にお問い合わせください。

【着信音選択1ページ目】

⑥ ※

1	本体制御
2	トーン 0 1
3	トーン 0 2
4	トーン 0 3

いずれか選択→
決定を押す。

【登録内容確認】

⑦

1	内線着信音
2	トーン 0 2

内容を確認→
決定を押す。
(例) トーン02

ボタン着信毎音色

⑤

1	フリーファンクションボタン
2	を押してください

設定するフリーファンクションボタンを押す。

【着信音選択1ページ目】

⑥ ※

1	本体制御
2	トーン 0 1
3	トーン 0 2
4	トーン 0 3

いずれか選択→
決定を押す。

【登録内容確認】

⑦

1	フリーファンクションボタン
2	トーン 0 3

内容を確認→
決定を押す。

 ボタンが鳴らない設定(システムで停止設定している)の場合、本設定は無効になります。

※ 着信音および着信メロディを選択する場合は、販売店によりサウンド設定変更が必要です。

着信音を鳴らさない

着信音の停止

着信音が鳴らないように設定することができます。

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロータム
6	アラーム

 「3 電話機設定 1」を選択→ **決定** を押す。
- ②

1	サウンド設定
2	履歴保存条件
3	履歴拡張機能
4	拡張機能

 「1 サウンド設定」を選択→ **決定** を押す。
- ③

1	着信音設定
2	音量設定
3	ボタンのタッチ音
4	レベル設定

 「2 音量設定」を選択→ **決定** を押す。
- ④

1	着信音量初期値
2	通話音量初期値
3	スピーカ音量初期値
4	最小着信音

 「4 最小着信音」を選択→ **決定** を押す。
- ⑤

最小着信音	
1	最小
2	消音

 どちらか選択→ **決定** を押す。

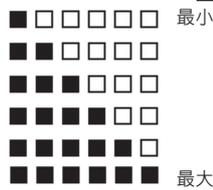
- ・「1 最小」… 着信音量が最小でも着信音が鳴ります。
- ・「2 消音」… 着信音量で着信音が鳴らない設定が選べます。

着信音量について

- 待機状態で または を押すと着信音量の表示が変化します。

内線番号 200
04月 27日 (水) 15:00

着信音量 ■□□□□□



- 操作⑤で、「最小着信音」を「消音」に設定すると下記の「消音」設定が選べます。

内線番号 200
04月 27日 (水) 15:00

着信音量 □□□□□□

ボタン操作音を出さない

ボタン操作音の停止

ボタンを押したときのボタンタッチ音が鳴らないように設定することができます。

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロータム
6	アラーム

 「3 電話機設定 1」を選択→ **決定** を押す。
 - ②

1	サウンド設定
2	履歴保存条件
3	履歴拡張機能
4	拡張機能

 「1 サウンド設定」を選択→ **決定** を押す。
 - ③

1	着信音設定
2	音量設定
3	ボタンのタッチ音
4	レベル設定

 「3 ボタンタッチ音」を選択→ **決定** を押す。
 - ④

ボタンタッチ音	
1	無し
2	有り

 どちらか選択→ **決定** を押す。
- ・「1 無し」…音を鳴らさない。
 - ・「2 有り」…音を鳴らす。

画面からの機能設定(つづき)

音量の初期値を設定する

音量の初期化

電話機を再起動すると、それまでの音量設定が変わります。これを変わらないように、あらかじめ設定しておけます。

①

1	電話帳
2	履歴機設定 1
3	電話機設定 2
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→決定を押す。

②

1	サウンド設定
2	LCD設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能

「1 サウンド設定」を選択→決定を押す。

③

1	着信音設定
2	音量設定
3	音量設定
4	音量設定

「2 音量設定」を選択→決定を押す。

④

1	着信音量初期値
2	通話音量初期値
3	スピーカ音量初期値
4	最小着信音

1~3のいずれかを選択→決定を押す。

- ・「1 着信音量」：着信時の音量
- ・「2 通話音量」：ハンドセット受話の音量
- ・「3 スピーカ音量」：スピーカ受話時の音量

⑤ 各音量を任意に設定してください。

着信音量初期値	
1	小さく
2	大きく
3	初期値

決定を押す。

■■■■□□□□

- ・工場出荷時設定：3段目(6段階)
- ・初期値とする場合は、③を押してください。

通話音量初期値	
1	小さく
2	大きく
3	初期値

決定を押す。

■□□□

- ・工場出荷時設定：1段目(4段階)
- ・初期値とする場合は、③を押してください。

スピーカ音量初期値	
1	小さく
2	大きく
3	初期値

決定を押す。

■■■■□□□□

- ・工場出荷時設定：3段目(6段階)
- ・初期値とする場合は、③を押してください。

画面コントラストを調節する

画面コントラスト調節

画面の文字の濃淡を調節することができます。

①

1	電話帳
2	履歴機設定 1
3	電話機設定 2
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→決定を押す。

②

1	サウンド設定
2	LCD設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能

「2 LCD設定」を選択→決定を押す。

③

1	コントラスト
2	バックライト 明度
3	バックライト 点灯時間
4	バックライト 着信時
5	バックライト 操作時

「1 コントラスト」を選択→決定を押す。

④

コントラスト	
1	淡く
2	濃く
3	初期値

決定を押す。

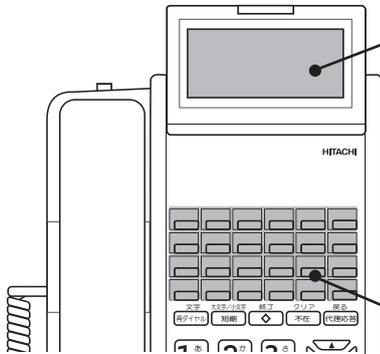
■■■■■■■■■■□□□□□□□□□□

- ・工場出荷時設定：10段目(20段階)
- ・▼で淡く、▲で濃くなります。
- ・初期値とする場合は、③を押してください。

省電力モードにする

省電力設定

待機状態で一定時間経過すると、画面のバックライトが消えるようにしたり、フリーファンクションボタンのランプが点灯しないようにすることができます。



バックライト制御

●「バックライト明度」

電話機を操作しているときのLCDの明るさを2段階から選択できます。約10秒間、電話機を操作しないとバックライトの明度が落ちます。

●「バックライト点灯時間」

設定した点灯時間を経過すると、バックライトが消灯します。

省電力モード制御

●「省電力モード設定」／「省電力移行時間」

一定時間、電話機を操作しないと[フリーファンクション]ボタンのランプが消えます。

バックライト制御の設定

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロータム
6	アラーム

 「3 電話機設定 1」を選択→
 を押す。

- ②

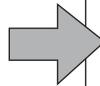
1	サウンド設定
2	LCD設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能

 「2 LCD設定」を選択→
 を押す。

- ③

1	コントラスト
2	バックライト 明度
3	バックライト 点灯時間
4	バックライト 着信時 有無
5	バックライト 操作時 有無

 2～5のいずれかを選択→



■バックライト明度

バックライト 明度 省電力 1 標準 2 省電力	どちらか選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
-----------------------------------	---

■バックライト点灯時間

バックライト 点灯時間 1 1分 1 1分 2 3分 3 10分 4 消灯なし	いずれか選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
--	---

■バックライト着信時 有無

バックライト 着信時 有無 点灯 1 点灯 2 消灯	どちらか選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
-------------------------------------	---

■バックライト操作時 有無

バックライト 操作時 有無 点灯 1 点灯 2 消灯	どちらか選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
-------------------------------------	---

画面からの機能設定(つづき)

省電力モード制御の設定

①

1	電	話	帳
2	覆	機	設
3	電	機	定
4	電	機	定
5	電	機	定
6	電	機	定

「3 電話機設定1」を選択→
決定を押す。

②

1	サ	ウ	ン	ド	設	定
2	リ	ン	ド	設	定	条
3	履	歴	保	存	条	件
4	拡	張	機	能		

「4 拡張機能」を選択→
決定を押す。

③

1	へ	ツ	ド	セ	ト	付	加
2	省	電	力	移	行	時	間
3	省	電	力	移	行	時	間
4	省	電	力	移	行	時	間
5	省	電	力	移	行	時	間
6	省	電	力	移	行	時	間

2または3を選択→
決定を押す。

■省電力モード設定

省電力モード設定

無効
1 無効
2 有効

どちらか選択→
決定を押す。

■省電力移行時間

省電力移行時間

3 0分
1 1分
2 3分
3 10分
4 30分

いずれか選択→
決定を押す。

NOTE

- 省電力モードは、多機能電話機の使用していない[フリーファンクション]ボタンのランプ表示を停止することにより、消費電力を低減する機能です。[フリーファンクション]ボタンのランプ表示が必要である場合は、省電力モードを「1 無効」にしてください。
(ただし、交換機側で[フリーファンクション]ボタンの着信音を有効に設定している場合はこの限りではありません。例えば、着信音が鳴る外線やキー着信を受けると、多機能電話機は自動で通常状態に復帰します)
- 省電力モードに設定してあって、更にトーン鳴動条件の設定(交換機側の設定)で、「鳴動なし」に設定してあると、キー着信があっても省電力状態となります。
- バックライト制御、省電力モード制御を有効設定にしても、下記の場合は設定が解除されます。
(点灯状態を確認するときも下記の操作をしてください)
 - ハンドセットを上げ下げしたとき。
 - いずれかのボタンを押したとき。
 - 着信音が鳴ったとき。

なお、画面のバックライトは再点灯条件をLCD設定で変更できます。
- 省電力モードから直接[フリーファンクション]ボタンに登録されている外線に回答する場合は、ハンドセットを上げるか、盤面ボタンを押してから回答操作をしてください。

ヘッドセットを使う

ヘッドセット接続設定

ハンドセットの代わりにヘッドセットを使う場合は、本設定をしてください。



本設定を変えるときは、管理者等に連絡をしてください。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	電ラ
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→ **決定** を押す。

②

1	サウンド設定
2	履歴保存条件
3	履歴
4	拡張機能

「4 拡張機能」を選択→ **決定** を押す。

③

1	ヘッドセット付加
2	省電力モード設定
3	省電力移行記録
4	パスワード
5	SDカード
6	初期化

「1 ヘッドセット付加」を選択→ **決定** を押す。

④

ヘッドセット付加	
無し	無し
1	無し
2	有り

どちらか選択→ **決定** を押す。

- ・「1 無し」…ハンドセットで通話します。
- ・「2 有り」…ヘッドセットで通話します。

電話機を初期化する

電話機初期化

電話機の設定条件を初期化(工場出荷時の状態)することができます。



- ・本操作で、P.36の設定項目がすべて初期化されます。初期化するとそれ以前の状態に戻すことはできません。
- ・電話帳と履歴も消去されます。
- ・初期化中は電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。電話機が故障する場合があります。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	電ラ
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→ **決定** を押す。

②

1	サウンド設定
2	履歴保存条件
3	履歴
4	拡張機能

「4 拡張機能」を選択→ **決定** を押す。

③

1	ヘッドセット付加
2	省電力モード設定
3	省電力移行記録
4	パスワード
5	SDカード
6	初期化

「6 初期化」を選択→ **決定** を押す。

④

初期化しますか？	
1	いいえ
2	はい

どちらか選択→ **決定** を押す。

⑤

初期化中

待機表示になるまでお待ちください。

- ・初期化に時間がかかる場合があります。

※ ⑤の画面は、④で「2 はい」を選択した場合に表示されます。
④で「1 いいえ」を選択した場合は③の画面に戻ります。

ハンドセットの条件を変える

ハンドセット環境設定

ハンドセットの各種レベルを変更することができます。



本設定を変更するときは販売店に連絡してください。
また、変更して通話に違和感を感じた場合は、設定を元に戻してください。

- ①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロー
6	アラーム

 「3 電話機設定 1」を選択→
を押す。

- ②

1	サウンド設定
2	LC設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能

 「1 サウンド設定」を選択→
を押す。

- ③

1	着信音設定
2	音量設定
3	ボタンタッチ音
4	レベル設定

 「4 レベル設定」を選択→
を押す。

- ④

1	送話レベル
2	側音
3	フロアレベル抑圧

 いずれか選択→
を押す。



■ 1 送話レベル

通話相手への音声レベルを変更します。

送話レベル	
1	小さく
2	大きく
3	初期値
■■■	

を押す。

- 工場出荷時設定:3段目(3段階)
- 初期値とする場合は、**(3)**を押してください。

■ 2 側音

ハンドセットから聞こえる自身の音量を調節します。

側音レベル	
1	小さく
2	大きく
3	初期値
■■■■■■□□□□	

を押す。

- 工場出荷時設定:6段目(10段階)
- 初期値とする場合は、**(3)**を押してください。

■ 3 フロアレベル抑圧

通話以外の音が気になるときに設定してください。

フロアレベル抑圧	
無効	
1	無効
2	有効

 どちらか選択→
を押す。

電話機をロックする

電話機ロック

自分の電話機の設定内容を、他の人から操作できないように、電話機をロックすることができます。

●始めにパスワードを登録してください。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「3 電話機設定 1」を選択→ **決定** を押す。

②

1	サウンド設定
2	LCD設定条件
3	履歴保存条件
4	拡張機能

「4 拡張機能」を選択→ **決定** を押す。

③

1	ヘッドセット付加設定
2	省電力モード時間
3	省電力移行時間
4	パスワード登録
5	SDカード
6	初期化

「4 パスワード登録」を選択→ **決定** を押す。

④

パスワード？

現在のパスワードを入力→ **決定** を押す。

- パスワードの初期値は「0000」です。
- ロックする場合は本パスワードを必ず変更してください。(4~8桁)
- パスワードは忘れないよう記録しておいてください。万一忘れた場合には管理者にお問い合わせください。

⑤

新パスワード入力？

新しいパスワードを入力→ **決定** を押す。

⑥

新パスワード再入力？

新しいパスワードを確認のため再度入力→ **決定** を押す。

ロックする / ロックを解除する

 ロックされていると待機画面から、「電話機メニュー」、「電話帳検索」、「発信履歴」を開く際にパスワード入力が必要になります。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「5 ロック」を選択→ **決定** を押す。

②

ロック解除中です
1 解除する
2 ロックする

どちらか選択→ **決定** を押す。

- 「1 解除する」: 電話機のロックを解除します。
- 「2 ロックする」: 電話機をロックします。

画面からの機能設定(つづき)

アラームをセットする

アラーム設定

予定の時刻にアラームを鳴らすことができます。また毎週決まった曜日と時刻にセットすることもできます。更に、アラームが鳴ったときに簡単なメッセージを表示させることもできます。

①

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「6 アラーム」を選択→
決定を押す。

②

1	アラーム 1 (未登録)
2	アラーム 2 (未登録)
3	アラーム 3 (未登録)

いずれか選択→
決定を押す。

・アラームは3つまで登録できます。

- 日時を指定しておく、その時刻にアラームが鳴ります。

日時指定



③

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「1 時刻指定」を選択→
決定を押す。

④

1	日時指定
2	曜日指定

「1 日時指定」を選択→
決定を押す。

⑤

日時指定
03月 20日 19時00分

日時とアラーム時間を入力→
決定を押す。

・表示時刻は現在の時刻です。

⑥

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「5 登録」を選択→
決定を押す。

- 曜日を指定すると、その日、その時刻に毎週アラームが鳴ります。

曜日指定



③

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「1 時刻指定」を選択→
決定を押す。

④

1	日時指定
2	曜日指定

「2 曜日指定」を選択→
決定を押す。

⑤

曜日指定
19時00分
日月火水木金土
0 0 0 0 0 0 0
0 = 無効 1 = 有効

アラーム時間と曜日を入力→
決定を押す。

・表示時刻は現在の時刻です。

・曜日指定は、曜日にカーソルを移動して「1」を押します。解除は「0」を押します。

⑥

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「5 登録」を選択→
決定を押す。



- あらかじめ簡単なメッセージを登録しておくこと、アラームが鳴ったときにそれを表示します。

警報メッセージ



③

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「2 警報メッセージ」を選択 → 「決定」を押す。

④

警報メッセージ	
漢全	

メッセージを入力 → 「決定」を押す。
☞ 文字入力(P.102)

⑤

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「5 登録」を選択 → 「決定」を押す。

アラーム登録後、待機状態に戻ってください。



- アラームが鳴ると着信ランプが点滅します。このときのランプの色を指定できます。

警報色



③

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「3 警報色」を選択 → 「決定」を押す。

④

赤色	色
1 赤色	色
2 緑色	色
3 青色	色
4 黄色	色

いずれか選択 → 「決定」を押す。

⑤

1	時刻指定
2	警報メッセージ
3	警報色
4	解除
5	登録

「5 登録」を選択 → 「決定」を押す。

NOTE

1. アラームをセットすると表示が変わります。

内線番号	100
04月27日(水)	15:30
着信音量	■■■■□□□

セット前

15:30



セット後

15*30

・アラームをセットすると、時分の間の「:」が「*」に変わります。

2. アラームを取り消すときは **[*]** を押してください。セット前の表示になります。
3. 警報メッセージを登録してあると、アラームが鳴り、最下段にその旨を表示します。

内線番号	100
04月27日(水)	15*30
アラーム	17:30

全体会議の時間

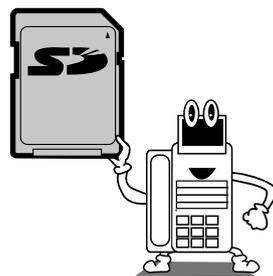
警報メッセージ(例)

MEMO

第5章

電話帳データ

本章は、SDメモ리카ードを介した電話帳データの読み込みや、書き出しなどについての説明です。
(説明では、SDメモ리카ードを「SDカード」と記載しています)



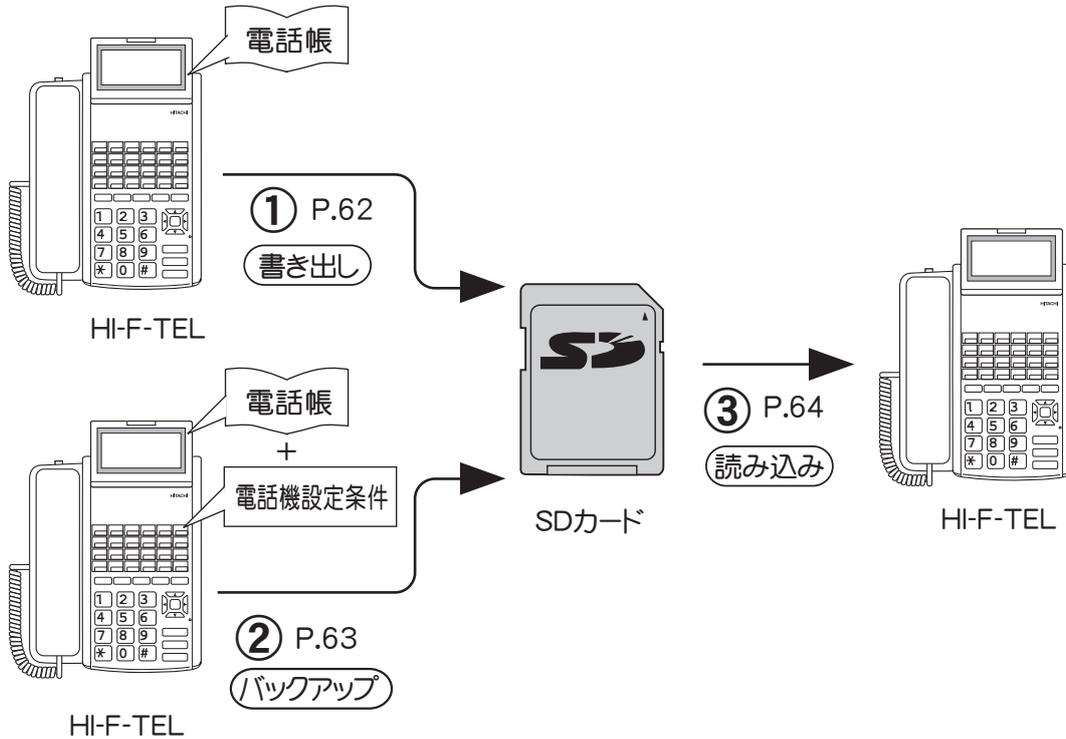
- SDカードは付属品に含まれておりません。市販のものをお使いください。
(推奨品については販売店にお問い合わせください)
- 本電話機は、SDHC/SDXCメモ리카ードには対応しておりません。
- HI-24F-TELWHFAは、SDカード非対応です。

電話帳データの取り扱い

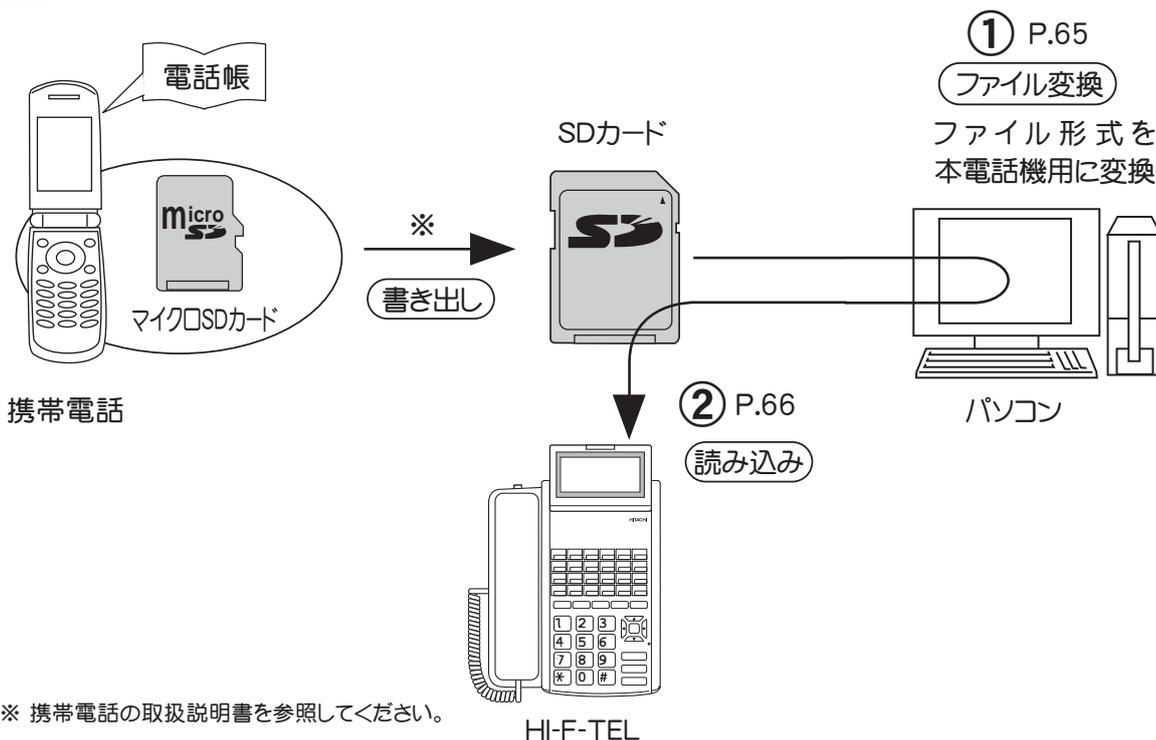
電話帳データの取り扱いについての概要

本電話機はSDカードを介して、下記のように電話帳などのデータの書き出し、読み込み等ができます。
HI-24F-TELWHFAはSDカード非対応です。

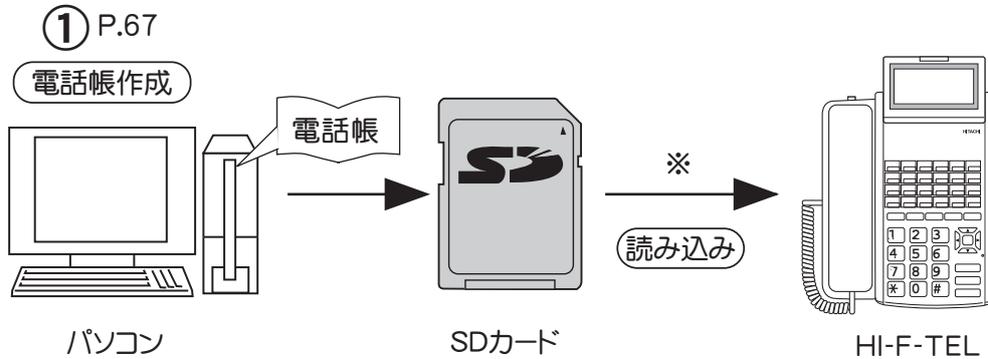
1 本電話機の電話帳データ、または電話帳データと電話機設定条件を他の電話機へ移す



2 携帯電話の電話帳データを本電話機へ移す

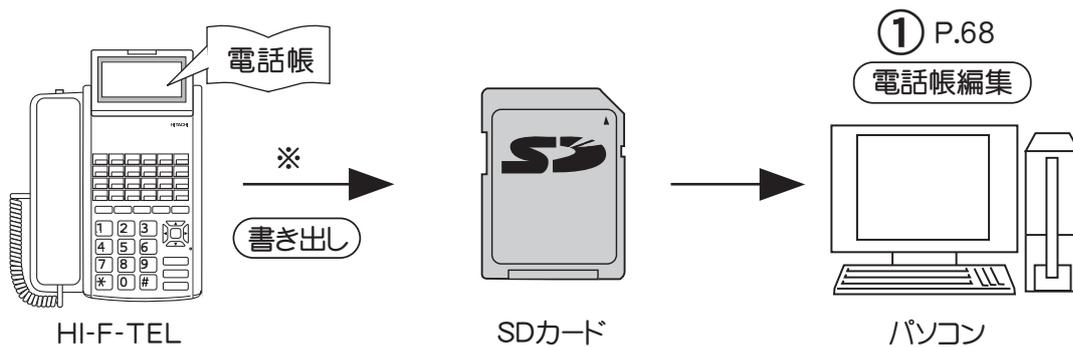


3 電話帳データを作成する



※ 1-③ の操作と同じです。

4 本電話機の電話帳データを編集する



※ 1-① の操作と同じです。

ご注意 "書き出し中"と"読み込み中"は、SDカードおよび電話機に接続されているケーブルを抜かないでください。SDカードの破壊、電話機故障の原因となります。

SDカードにアクセスして次のようなメッセージが表示された場合、その意味は次のとおりです。

メッセージ	意味
挿入されていません	•SDカードが正しく挿入されていません。
書き出し禁止です	•SDカードがロック(上書き禁止)状態になっています。
空きがありません	•SDカードの空き容量がありません。
ファイルがありません	•指定した「電話帳格納NO」のフォルダ内に電話帳のファイルがありません。 •指定した「電話帳格納NO」のフォルダの有無を確認してください。
使用できません	•一部の交換機の組合せによってSDカードが使用できません。

電話帳データの取り扱い(つづき)

本電話機の電話帳をSDカードに書き出す

① SDカードを本電話機に差し込む。

② 内線番号 20 待機画面のときに
03月20日(木) 19:00 を押す。

着信音量 ■■■□□□

③

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「1 電話帳」を選択→
を押す。

④

1	検索
2	登録
3	グループ
4	電話帳読み込み
5	電話帳書き出し

「5 電話帳書き出し」を
選択→を押す。

⑤

1	SDカード
---	-------

「1 SDカード」を選択→
を押す。

⑥ 電話帳格納NO?

■

電話帳の格納NO(4桁)を
入力→を押す。

⑦ 書き出しますか?

1	いいえ
2	はい

「2 はい」を選択→
を押す。

⑧

書き出し中

SDカードに書き出しが
始まります。

⑨

書き出し完了

書き出しが完了すると
約10秒後に待機画面に
なります。

⑩ SDカードを抜取る。

NOTE

1. 操作⑥で入力した番号のフォルダに、電話帳のデータが格納されます。
2. 新たに格納しようとした際に電話帳の同じ格納NOを指定すると、内容は上書きされます。

本電話機の電話帳と電話機設定条件のデータをSDカードに書き出す

このバックアップデータを他の電話機 (HI-E-TEL/HI-F-TEL) に書き込めば、同じ設定の電話機にすることが出来ます。

① SDカードを本電話機に差し込む。

②

内線番号	20	待機画面のときに
03月20日(木)	19:00	<input type="button" value="決定"/> を押す。
着信音量	■■■□□□	

③

1	電話帳	「3 電話機設定1」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2	履歴	
3	電話機設定 1	
4	電話機設定 2	
5	プログラム	
6	ア	

④

1	サウンド設定	「4 拡張機能」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2	LCD設定	
3	履歴保存条件	
4	拡張機能	

⑤

1	ヘッドセット付加	「5 SDカード」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2	省電力モード	
3	省電力移行	
4	パスワート	
5	SDカード	
6	初期化	

⑥

1	読み込み	「2 書き出し」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2	書き出し	

⑦

1	電話帳	「3 全バックアップ」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2	電話機設定	
3	全バックアップ	

⑧

電話帳格納NO?	データを格納するNO(4桁)を 入力→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
■	

⑨

書き出しますか?	「2 はい」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
1 いいえ	
2 はい	

⑩

書き出し中	SDカードに書き出しが 始まります。
-------	-----------------------

⑪

書き出し完了	書き出しが完了すると 約10秒後に待機画面に なります。
--------	------------------------------------

⑫ SDカードを抜き取る。

NOTE

- 書き出したデータを確認するには、SDカードをパソコンのカードスロットに差し込み、SDカードのファイルを開いてください。電話帳データはファイル名「TELBOOK.csv」に、電話機設定条件はファイル名「BACKUP.csv」に、それぞれ別に保存されます。

電話帳データの取り扱い(つづき)

SDカードのデータを本電話機に読み込む

① SDカードを本電話機に差し込む。

② 内線番号 20 待機画面のときに
03月20日(木) 19:00 決定を押す。
着信音量 ■■■□□□

③ 1 電話帳 「1 電話帳」を選択→
2 履歴 決定を押す。
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

④ 1 検索 「4 電話帳読み込み」を
2 登録 プ 選択→ 決定を押す。
3 グループ
4 電話帳読み込み
5 電話帳書き出し

⑤ 1 短縮ダイヤル 「2 SDカード」を選択→
2 SDカード 決定を押す。
3 携帯電話の電話帳

⑥ 電話帳格納NO? 読み込む電話帳の格納
NO(4桁)を入力→
決定を押す。

・P. 62の操作⑥、またはP. 63の操作⑧で
入力した番号を入力してください。

⑦ 読み込みますか? 「2 はい」を選択→
1 いいえ 決定を押す。
2 はい

⑧ 読み込み中 SDカードのデータの読み込みが始まります。

⑨ 読み込み完了 読み込みが完了すると約10秒後に待機画面になります。
読込件数 : 件
未登録件数 : 件

⑩ SDカードを抜き取る。

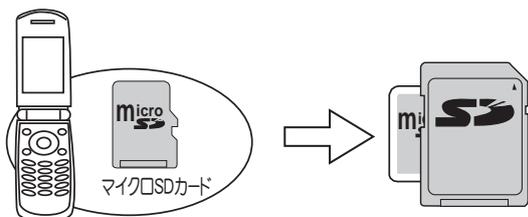
NOTE

1. データを読み込むと、本電話機内の電話帳はすべて消去されます。
2. 操作⑨の「未登録件数」とは、電話帳に読み込むことができなかった件数です。
 - ・必須の名称、電話番号1が入力されていない等が該当しますので、電話帳のファイル内容を確認してください。
 - ・本電話機からSDカードに書き出した電話帳を編集して、そのファイルを読み込んだ場合、実際に登録する名称数が500件より少ないと、メモリ番号数(500件)と登録名称数が不一致となり、メモリ番号数と登録名称数の差分が未登録件数と表示されます。
 - ・これ以外の場合でも、メモリ番号数と登録名称数が不一致の場合、メモリ番号数と登録名称数の差分が未登録件数と表示されます。

携帯電話の電話帳データのファイル形式を 本電話機用のファイル形式に変換する

携帯電話の電話帳データを本電話機に取り込む場合は、まず本操作で本電話機用のファイル形式にしておきます。そしてこの後、P.66の操作で本電話機に読み込みを行います。

- ① 携帯電話の電話帳データを、パソコンで編集できるように外部メモリ(SDカード等)に移す。

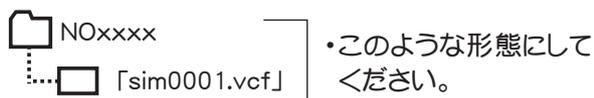


・詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照してください。

- ② パソコンを起動させて下記のフォルダを作成する。
・フォルダ名: 「NOxxxx」(xは任意の4桁数字)

- ③ 操作①で、データを保存した外部メモリ(SDカード等)をパソコンのカードスロットに差し込む。

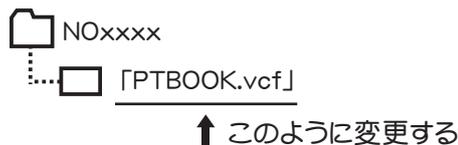
- ④ 操作②で作成したフォルダに、外部メモリ内の「sim0001.vcf」※ファイルのコピーする。



※ sim0001は例です。拡張子が「.vcf」のファイルを選択してください。

・格納場所は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

- ⑤ コピーした「sim0001.vcf」ファイル名を、「PTBOOK.vcf」に変更する。



- ⑥ この「NOxxxx」フォルダ内の「PTBOOK.vcf」ファイルを

SDカードにコピーする。

- ⑦ SDカードをパソコンから抜き取る。

NOTE

1. 本機能を利用できるのは、携帯電話の電話帳データを外部メモリ(SDカード等)にコピーできる携帯電話に限ります。
2. 電話帳データの拡張子は「.vcf」に限ります。
3. 拡張子「.vcf」のファイルは携帯電話の機種により保存形式が異なります。そのため電話帳を正確に読み込みできないときがあります。この場合は、読み仮名や名前に電話番号が仮入力されます。
4. 本電話機で表示できない文字は「 」(スペース)表示になります。
5. 携帯電話の電話帳に画像ファイルがある場合は、読み込めないときがあります。

電話帳データの取り扱い(つづき)

ファイル形式を変換したデータを本電話機に読み込む

P.65の操作で本電話機用のファイル形式に変換したデータを、本電話機に読み込みます。

- ① P.65でファイル形式を変換したSDカードを本電話機に差し込む。

②

内線番号	20	待機画面のときに
03月20日(木)	19:00	<input type="button" value="決定"/> を押す。
着信音量	■■■□□□	

③

1 電話帳	「1 電話帳」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2 履歴	
3 電話機設定 1	
4 電話機設定 2	
5 ロック	
6 アラーム	

④

1 検索	「4 電話帳読み込み」を 選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2 登録	
3 グループ	
4 電話帳読み込み	
5 電話帳書き出し	

⑤

1 短縮ダイヤル	「3 携帯電話の電話帳」を 選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
2 SDカード	
3 携帯電話の電話帳	

⑥

電話帳格納NO?	読み込む電話帳の格納 NO(4桁)を入力→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
■	

・P.65の操作②で作成したフォルダ名の番号を入力してください。

⑦

電話帳特番?	局線発信特番を入力→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
■	

⑧

読み込みますか?	「2 はい」を選択→ <input type="button" value="決定"/> を押す。
1 いいえ	
2 はい	

⑨

読み込み中	SDカードのデータの読み込みが始まります。
-------	-----------------------

⑩

読み込み完了	読み込みが完了すると 約10秒後に待機画面に なります。
読込件数 : 件	
未登録件数 : 件	

- ⑪ SDカードを抜き取る。

NOTE

- データを読み込むと、本電話機内の電話帳はすべて消去されます。
- 操作⑩の「未登録件数」とは、電話帳に読み込むことができなかった件数です。必須の名称、電話番号1が入力されていない等も該当しますので、電話帳のファイル内容を確認してください。メモリ番号数と登録名称数の差分が未登録件数と表示されます。
- 操作⑦の特番が解らない場合は管理者にお問い合わせください。なお、特番を入力しないで次の操作に進むこともできます。

電話帳データをパソコンで作成する

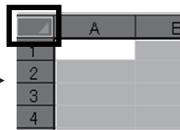
電話帳データをパソコンで作成することができますので、登録操作と管理が楽になります。

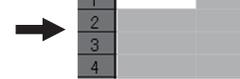
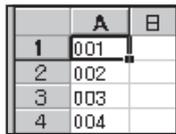
- ① パソコンを起動させて下記のフォルダを作成する。
・フォルダ名: 「NOxxxx」(xは任意の4桁数字)
- ② Excelを起動する。

- ③ Excelファイルに名前を付ける。
・ファイル名は「TELBOOK」にしてください。
・ファイルの種類は「CSV (カンマ区切り)」を選択してください。
- ④ 操作①で作成したフォルダの下に保存する。

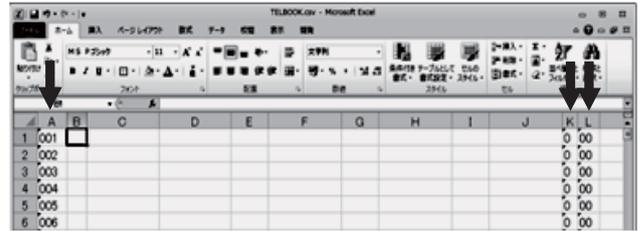
NOxxxx

「TELBOOK」



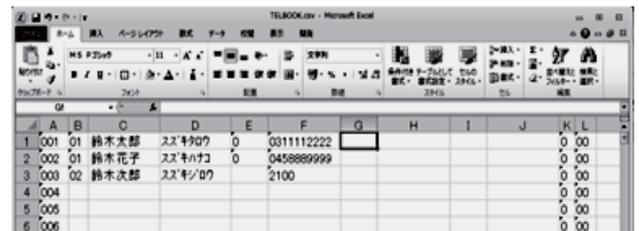
- ⑤ 全てのセルを選択する。 → 
- ⑥ "セルの書式設定"をクリックする。
- ⑦ "セルの書式設定" から「表示形式」タブを開き、「分類」で「文字列」を選択する。
- ⑧ A列に「001」～「500」までの番号を入力する。
(登録は最大500件です)
・Excelの行番号とメモリ番号を合わせてください。 → 

- ⑨ K列に「0」、L列に「00」を、それぞれ500番目まで入力する。



これで電話帳のフォーマットが完成です。

- ⑩ 電話帳のデータを入力する。
・下記の入力項目の内容を入れてください。



■操作⑩の入力項目

Excel列	項目	入力内容	未入力時
A	メモリ番号	001～500 (3桁)	必須(登録なし)
B	グループ	01～20 (2桁)	01 (グループ01)
C	名前	全角最大10文字	必須(登録なし)
D	読み仮名	半角最大10文字	電話番号1を代入
E	電話番号1の特番	半角数字5桁	-
F	電話番号1	半角数字32桁	必須(登録なし)
G	電話番号2の特番	半角数字5桁	-
H	電話番号2	半角数字32桁	-
I	電話番号3の特番	半角数字5桁	-
J	電話番号3	半角数字32桁	-
K	着信ランプ色	0～8	0 (指定なし)
L	着信音色	00,15～26	00 (指定なし)

K (着信ランプ色)

番号	内容
0	指定なし
1	赤色
2	緑色
3	青色
4	黄色
5	水色
6	紫色
7	白色
8	連続点灯

L (着信音色)

番号	内容
00	指定なし
15	トーン01
16	トーン02
17	トーン03
18	トーン04
19	トーン05
20	トーン06
21	トーン07
22	トーン08
23	トーン09
24	トーン10
25	トーン11
26	トーン12

- ⑪ 入力が終わったらファイルを上書き保存し、④のフォルダをSDカードにコピーする。
- ⑫ SDカードのデータを本電話機に読み込む。(P.64)
- ⑬ SDカードを抜き取る。

NOTE

1. 電話機で表示できない文字が入力された場合は、スペースになります。
2. 最大入力文字数を越えたものは消去されます。
3. 名前/読み仮名に「 ” ’ 」 は使用することができません。
4. K (着信ランプ色) の8は、1～7までの色が順次点灯します。

電話帳データの取り扱い(つづき)

電話帳データをパソコンで編集する

*画面は一例です。お使いのExcelのバージョンやパソコンの設定により、異なる表示となります。

- ① Excelを起動する。



・カーソルを左上に置いてください。



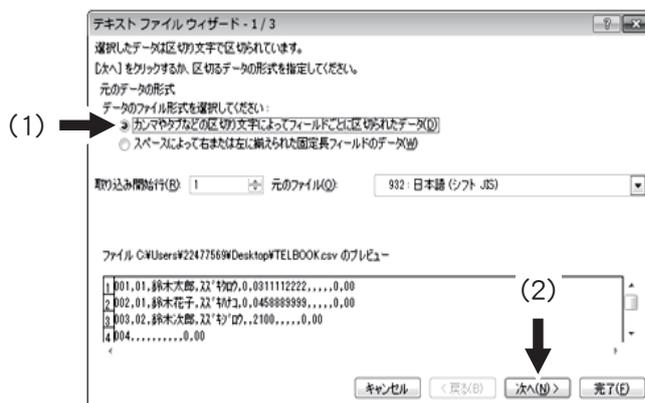
- ② データを取り込む。

・[データ]メニューから[外部データの取り込み]内の[テキストファイル]をクリックする。

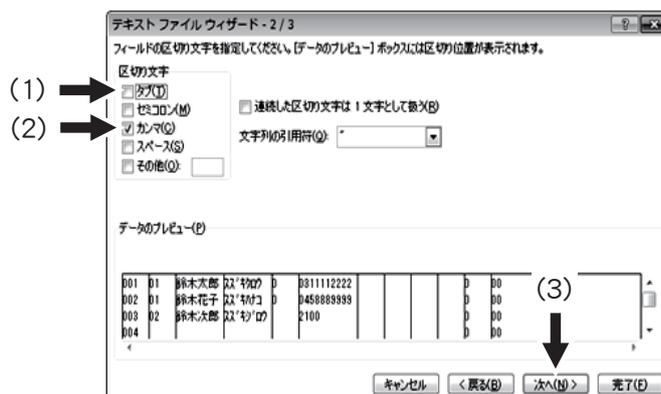


・テキストファイルのインポート画面が表示されるので、取り込むファイルを選択して[インポート]をクリックする。

- ③ "テキスト ファイル ウィザード" 画面で "元のデータの形式" の「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」にチェックして、[次へ]をクリックする。



- ④ 次の画面で"区切り文字"中の「タブ」のチェックを外し、「カンマ」にチェックして、[次へ]をクリックする。

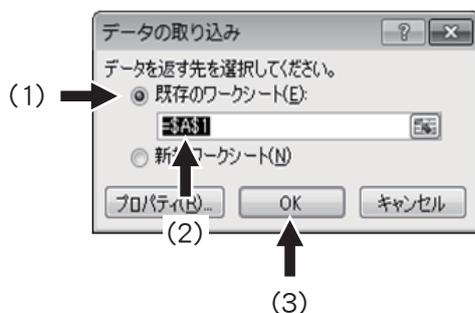


⑤ 次の画面で、"データのプレビュー" で各列を選択状態にして、"列のデータ形式"の「文字列」をチェックして、[完了] をクリックする。



⑥ "データのインポート" 画面で、「既存のワークシート」がチェックされていて、「=\$A\$1」と入力されていることを確認する。次に [OK] をクリックする。

[Excel2010の場合]



[Excel2013の場合]

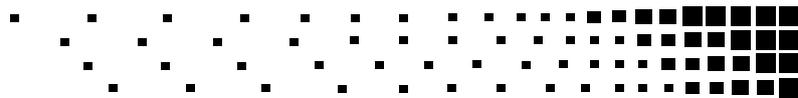


⑦ 電話帳のデータが表示されるので、編集する。



- ⑧ 編集が終わったら名前を付けて保存する。
- "ファイルの種類" は「CSV (カンマ区切り)」を選択する。
 - "ファイル名" は、既に存在している「TEL BOOK」を選択する。
 - [保存] をクリックする。
 - "上書き確認" の画面で、[はい] をクリックする。
 - "ファイル形式確認" の画面で、[はい] をクリックする。

MEMO



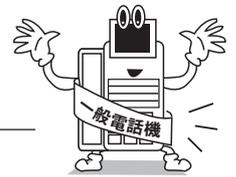
第6章

各種登録

本章は、各種の登録についての説明です。

- 本章の内容の操作は、全てハンドセットを置いたままで操作します。
- 本章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったときは、第9章付録の「こんなメッセージが出たら」(P.112)をご覧ください。

各種登録



各電話機から下記の項目について、登録や確認をすることができます。

登録項目について

項 目	内 容
1 個人短縮ダイヤルの登録 ※ (P.73)	各内線が使用できる個人可変短縮ダイヤルの登録です。
2 個人短縮ダイヤルの編集 ※ (P.74)	登録した個人短縮ダイヤルの編集です。
3 グループ短縮ダイヤルの登録 ※ (P.75)	グループ内の内線が使用できるグループ可変短縮ダイヤルの登録です。
4 システム短縮ダイヤルの確認 (P.77)	全内線が使用できるシステム短縮ダイヤルの内容確認です。
5 支店番号システム短縮ダイヤル(店番短縮ダイヤル)の確認 (P.77)	短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤルの発信をする機能を設定している場合の内容確認です。
6 オートダイヤルボタンの登録 ※ (P.78)	外線や内線の相手番号をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
7 外線ワンタッチボタンの登録 ※ (P.78)	短縮番号の内容をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
8 内線ワンタッチボタンの登録 ※ (P.78)	内線への発信や着信の代理応答をワンタッチで行えるボタンの登録です。
9 自己保留ボタンの登録 ※ (P.78)	通話保留時にその電話機からしか戻れないようにするボタンの登録です。
10 転送完了ボタンの登録 ※ (P.78)	通話中の相手を他の内線に転送する際にハンドセットを戻す代わりに使用するボタンの登録です。
11 DISC(disconnect)ボタンの登録 ※ (P.78)	ダイヤルを間違ったときや通話を止めてダイヤルし直す時に使用できるボタンの登録です。
12 キャンセルボタンの登録 ※ (P.78)	通話中の相手を他の内線に転送する際に転送をやめて待たせている相手に戻るときに使用できるボタンの登録です。
13 セーブダイヤルボタンの登録 ※ (P.78)	最後に発信した番号を記憶し再び発信できるボタンの登録です。
14 メッセージウェイトボタンの登録 ※ (P.78)	相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示)ときのセットに使用できるボタンの登録です。
15 他グループピックアップボタンの登録 ※ (P.78)	他のグループへの着信を代理応答できるボタンの登録です。
16 登録ボタン内容の確認 ※ (P.78)	登録してあるボタン内容の確認です。
17 内線着信表示ボタンの登録(交換機がMX900IPの場合) ※ (P.78)	登録内線への着信を表示するボタンの登録です。
18 内線名称の登録 ※ (P.81)	各内線の内線名称の登録です。
19 Myナンバー登録・席移動 (P.82)	① Myナンバー登録: Myナンバー(各自の内線番号)を電話機に登録します。 ② 席移動開始: Myナンバーを登録した電話機を移動先に接続した後に席移動を行います。 ③ Myナンバー表示: 電話機に登録したMyナンバーの確認です。 ④ グループデータコピー: 席移動先のグループデータをコピーします。

※登録したデータは、定時ダンプによって交換機に記憶されます。

操作画面について

上記の項目を操作するときは、次の操作で登録モード画面を開いてから操作します。

【待機画面】

① 内線番号 3000 待機画面で
05月16日(月) 15:00 決定を押す。
着信音量 ■■■□□□

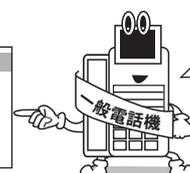
③ 1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2 「4 電話機設定2」を選択→
5 ロック 決定を押す。
6 アラーム

【トップメニュー】

② 1 電話帳
2 履歴
3 電話機設定 1
4 電話機設定 2
5 ロック
6 アラーム

登録モード
④ 1 短縮ダイヤル
2 内線名称
3 内線名称
4 Myナンバー

本画面を表示させてから P.73~82の操作になります。



個人短縮ダイヤルを登録する

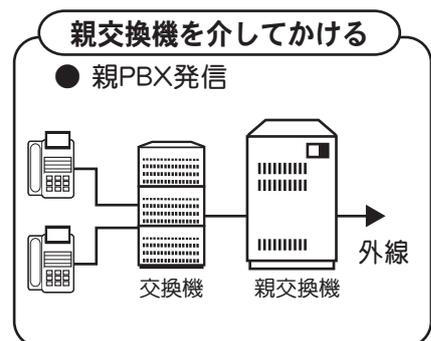
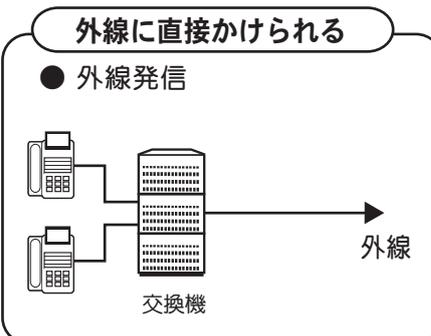
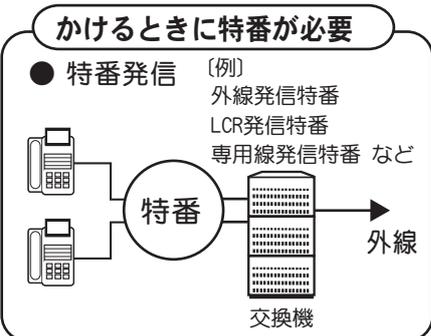
短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"、そして、グループ内の内線で共通に使用できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

短縮番号について

システム短縮/可変短縮ダイヤル(P.15)を参照して、短縮番号がどのように設定されているか、販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

ご使用のシステムが、下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。



- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | Myナンバー |

登録モード(P.72)から

「1 短縮ダイヤル」を選択→
決定を押す。

- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |

「1 短縮ボタン発信」を
選択→ 決定を押す。

- ③
- | |
|-------|
| 短縮番号？ |
| 80■ |
- 短縮番号を入力→
決定を押す。
- ④
- | |
|-------------------|
| 個人可変短縮
短縮番号未登録 |
| : 80 |
- 決定を押す。
- ⑤
- | |
|------|
| 1 登録 |
| 2 編集 |
| 3 消去 |
- 「1 登録」を選択→
決定を押す。
- ⑥
- | |
|----------|
| 発信種別？ |
| 1 特番発信 |
| 2 外線発信 |
| 3 親PBX発信 |
| 4 PB送信用 |
- いずれか選択→
決定を押す。
- (例)「1 特番発信」を選択
- ⑦
- | |
|--------------|
| 相手番号？ |
| 00312345678■ |
- 相手番号を入力→
決定を押す。
- (例) 発信特番 0
相手番号 0312345678
- ・ポーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑧
- | |
|-------------------|
| 個人可変短縮
短縮番号未登録 |
| : 80 |
| 特番発信 |
| 00312345678 |
- 内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 決定を押す。 → 操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→ 決定を押す。 → 操作②に戻るので を押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ を押す。 → を押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を
表示させて修正する。

各種登録 (つづき)

個人短縮ダイヤルを編集する

①

1	短縮ダイヤル
2	ボタン
3	内線名称
4	Myナンバー

登録モード(P.72)から
「1 短縮ダイヤル」を選択→**決定**を押す。

②

1	短縮ボタン発信
2	特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→**決定**を押す。

③

短縮番号？
80■

短縮番号を入力→**決定**を押す。

④

個人可変短縮
短縮番号：80
特番発信
00312345678

決定を押す。

⑤

1	登録
2	編集
3	消去

「2 編集」を選択→**決定**を押す。

⑥

個人可変短縮
短縮番号：80
1 特番発信
2 00312345678

「1 特番発信」を選択→**決定**を押す。

・相手番号を編集するときは、電話番号を選択して**決定**を押して操作⑨に進む。

⑦

発信種別？
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出

目的の種別を選択→**決定**を押す。
(例) 「2 外線発信」

⑧

個人可変短縮
短縮番号：80
1 特番発信
2 00312345678

「2 00312345678」を選択→**決定**を押す。

⑨

相手番号？
00312345678
0311223344■

相手番号を修正→**決定**を押す。
(例) 0311223344

・ポーズを入力する場合は  を押してください。表示は「P」になります。

 「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には発信特番を指定しないでください。

⑩

個人可変短縮
短縮番号：80
外線発信
0311223344

内容を確認する。

内容OKで続けて登録なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで登録終了なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので  を押す。待受画面に戻ります。

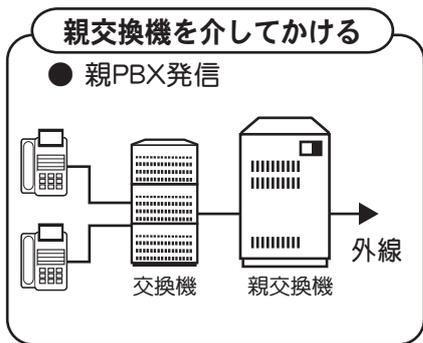
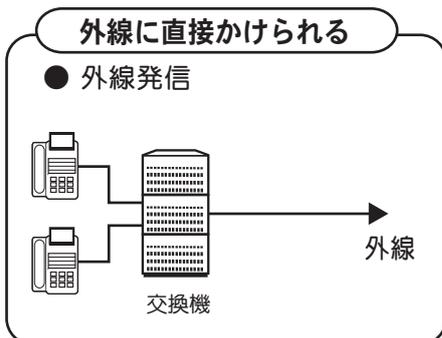
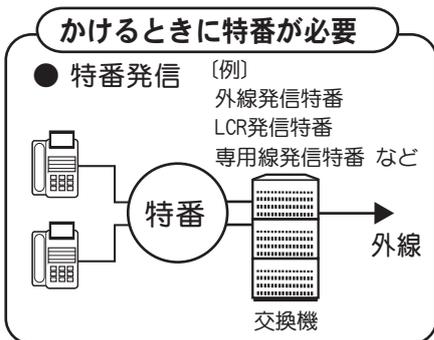
内容修正なら→  を押す。→  を押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

グループ短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"、そして、グループ内の内線で共通に使用できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

発信種別を確認してください

ご使用のシステムが、下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。



操作する電話機について

電話機によってグループ短縮ダイヤルの登録・編集ができるものと、できないものがあります。販売店に確認してください。

短縮番号について

システム短縮/可変短縮ダイヤル(P.15)を参照して、短縮番号がどのように設定されているか、販売店に確認してください。

- ③ 短縮番号 ? 短縮番号を入力→
00■ 決定を押す。
- ④ グループ可変短縮短縮番号 : 00 決定を押す。
- ⑤ 1 登録
2 編集
3 消去 「1 登録」を選択→
決定を押す。
- ⑥ 発信種別 ? いずれか選択→
決定を押す。
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送信用
(例) 「1 特番発信」を選択
- ⑦ 相手番号 ? 相手番号を入力→
決定を押す。
00312345678 ■
(例) 発信特番 0
相手番号 0312345678
・ポーズを入力する場合は ▢ を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑧ グループ可変短縮短縮番号 : 00 内容を確認する。
00312345678

- ① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.72)から

「1 短縮ダイヤル」を選択→決定を押す。

- ② 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→決定を押す。

内容OKで
続けて登録なら→決定を押す。→操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→決定を押す。→操作②に戻るので→終了
待受画面に戻ります。

内容修正なら→戻る
代理応答を押す。→戻る
代理応答を押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を
表示させて修正する。

各種登録(つづき)

グループ短縮ダイヤルを編集する

- ①
- | |
|----------|
| 1 短縮ダイヤル |
| 2 ボタン名称 |
| 3 内線名称 |
| 4 Myナンバー |
- 登録モード(P.72)から**
「1 短縮ダイヤル」を選択→**決定**を押す。
- ②
- | |
|-----------|
| 1 短縮ボタン発信 |
| 2 特番発信 |
- 「1 短縮ボタン発信」を選択→**決定**を押す。
- ③
- | |
|-------|
| 短縮番号？ |
| 00■ |
- 短縮番号を入力→**決定**を押す。
- ④
- | |
|-------------|
| グループ可変短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 特番発信 |
| 00312345678 |
- 決定**を押す。
- ⑤
- | |
|------|
| 1 登録 |
| 2 編集 |
| 3 消去 |
- 「2 編集」を選択→**決定**を押す。
- ⑥
- | |
|---------------|
| グループ可変短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 1 特番発信 |
| 2 00312345678 |
- 「1 特番発信」を選択→**決定**を押す。
- ・相手番号を編集するときは電話番号を選択して**決定**を押して操作⑨に進む。
- ⑦
- | |
|----------|
| 発信種別？ |
| 特番発信 |
| 1 特番発信 |
| 2 外線発信 |
| 3 親PBX発信 |
| 4 PB送信用 |
- 目的の種別を選択→**決定**を押す。
(例) 「2 外線発信」
- ⑧
- | |
|---------------|
| グループ可変短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 1 特番発信 |
| 2 00312345678 |
- 「2 00312345678」を選択→**決定**を押す。
- ⑨
- | |
|-------------|
| 相手番号？ |
| 00312345678 |
| 0311223344■ |
- 相手番号を修正→**決定**を押す。
(例) 0311223344
- ・ポーズを入力する場合は  を押してください。表示は「P」になります。
-  「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には発信特番を指定しないでください。
- ⑩
- | |
|------------|
| グループ可変短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 外線発信 |
| 0311223344 |
- 内容を確認する。
- 内容OKで続けて編集なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので続けて編集する。
- 内容OKで編集終了なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので  を押す。待受画面に戻ります。
- 内容修正なら→  代理応答 を押す。→  代理応答 を押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

システム短縮ダイヤルを確認する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | Myナンバー |
- 登録モード(P.72)から
「1 短縮ダイヤル」を
選択→決定を押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「1 短縮ボタン発信」を
選択→決定を押す。
- ③
- | |
|-------|
| 短縮番号？ |
| 00■ |
- 短縮番号を入力→
決定を押す。
- ④
- | |
|-------------|
| システム短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 特番発信 |
| 00312345678 |
| 田中 |
| けん |
- 内容を確認する。

続けて確認なら→戻る
代理応答を押す。→操作③に戻るので続けて確認する。

確認終了なら→終了
◇を押す。→待受画面に変わります。

支店番号システム短縮ダイヤルを確認する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | Myナンバー |
- 登録モード(P.72)から
「1 短縮ダイヤル」を
選択→決定を押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「2 特番発信」を選択→
決定を押す。
- ③
- | |
|----------|
| 特番＋短縮番号？ |
| 7123456■ |
- 短縮発信特番＋支店番号
を入力→決定を押す。
(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④
- | |
|---------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード：7123456 |
| 00311223344 |
- 内容を確認する。

続けて確認なら→戻る
代理応答を押す。→操作③に戻るので続けて確認する。

確認終了なら→終了
◇を押す。→待受画面に変わります。

各種登録(つづき)

機能ボタンを登録する

電話機またはHI-48DSSF装置のフリーファンクションボタンに、下記の機能ボタンを登録することができます。

- オートダイヤル ● 外線ワンタッチ ● 内線ワンタッチ ● 自己保留 ● 転送完了 ● DISC
- キャンセル ● セーブダイヤル ● メッセージウェイト ● 他グループピックアップ ● 内線着信表示

①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称
4 Myナンバー

登録モード(P.72)から
「2 ボタン」を選択→
決定を押す。

②

登録/消去するボタンを押して下さい

③ 電話機またはDSS装置の空いているフリーファンクションボタンを押す。
(例) ボタン1



④

ボタン番号 : 01
未登録

決定を押す。
ここでボタンの登録内容が確認できます。

⑤

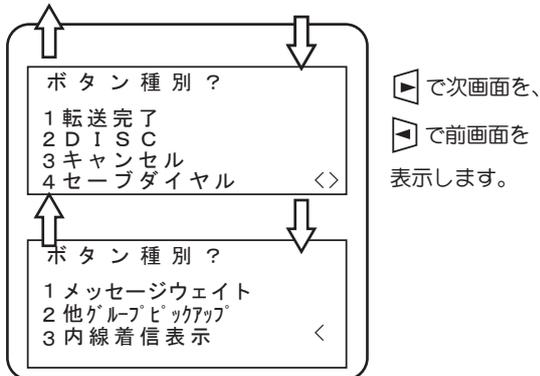
1 登録/編集
2 消去

「1 登録/編集」を選択→
決定を押す。

⑥

ボタン種別?
1 オートダイヤル
2 外線ワンタッチ
3 内線ワンタッチ
4 自己保留 >

目的のボタン名を選択→
決定を押す。



- 目的のボタンを選択した後の表示内容はP.79を参照してください。

オートダイヤル

外線ワンタッチ

内線ワンタッチ

自己保留

転送完了

DISC

キャンセル

セーブダイヤル

メッセージウェイト

他グループピックアップ

内線着信表示 ※

※ 交換機がMX900IPの場合だけです。

NOTE

その他の機能ボタンについて
上記の機能ボタン以外にも種類があります(P.80)が、これらについては販売店が設定します。各電話機からは確認だけできます。

オートダイヤル

- ① 相手番号？
123456 ■
- 相手番号を入力→
決定を押す。
(例) 123456

• ボーズを入力する場合は  を押してください。
表示は「P」になります。

 相手番号が外線発信等の場合は、
特番を含めて登録してください。

- ② ボタン番号：01
オートダイヤル
123456
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

• 入力し直すときは  を押す。

外線ワンタッチ

- ① 短縮番号？
*01 ■
- 短縮番号を入力→
決定を押す。
(例) *01

- ② ボタン番号：01
外線ワンタッチ
*01
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

• 入力し直すときは  を押す。

内線ワンタッチ

- ① 内線番号？
2001 ■
- 内線番号を入力→
決定を押す。
(例) 2001

- ② ボタン番号：01
内線ワンタッチ
2001
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

• 入力し直すときは  を押す。

自己保留

- ① ボタン番号：01
自己保留
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

転送完了

- ① ボタン番号：01
転送完了
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

DISC

- ① ボタン番号：01
DISC
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

キャンセル

- ① ボタン番号：01
キャンセル
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

セーブダイヤル

- ① ボタン番号：01
セーブダイヤル
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

メッセージウェイト

- ① ボタン番号：01
メッセージウェイト
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

他グループピックアップ

- ① グループ番号？
20 ■
- グループ番号を入力→
決定を押す。
(例) 20

- ② ボタン番号：01
他グループピックアップ
グループ番号：20
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

• 入力し直すときは  を押す。

内線着信表示

※ 交換機がMX900IPの場合だけです。

- ① 内線番号？
2001 ■
- 内線番号を入力→
決定を押す。
(例) 2001

- ② ボタン番号：01
内線番号表示
2001
- 決定を押すとボタンが
登録されて、P.78の操
作②に戻ります。

各種登録(つづき)

販売店の設定による登録機能ボタン一覧

販売店によって設定されている機能ボタンの内容は下記のように表示されます(これは一例です)。

ボタン番号 : 01 ストレートライン 収容位置 : 01200	ボタン番号 : 01 バーチャル発信	ボタン番号 : 01 バーチャル着信	ボタン番号 : 01 他テナントバーチャル テナント番号 : 012
ボタン番号 : 01 共通保留番号 : 010	ボタン番号 : 01 仮想局線番号 : 20000 仮想番号 : 01	ボタン番号 : 01 仮想内線番号 : 54321 仮想番号 : 01	ボタン番号 : 01 出退/用務 付加情報 : 01
ボタン番号 : 01 マイク	ボタン番号 : 01 ルート話中 ルート番号 : 002	ボタン番号 : 01 PB送出 123456789#	ボタン番号 : 01 出退表示 種別 : 1 内線/コード : 2222
ボタン番号 : 01 社員BOX (暗証なし) BOX番号 : 2000	ボタン番号 : 01 社員BOX (暗証あり) BOX番号 : 2000	ボタン番号 : 01 着信拒否	ボタン番号 : 01 メッセージウェイトング
ボタン番号 : 01 モードテナント番号 : 001	ボタン番号 : 01 番号変換 番号 : 000	ボタン番号 : 01 番号変換 モード1 番号 : 000	ボタン番号 : 01 テナント 番号 : 000
ボタン番号 : 01 VIP呼出	ボタン番号 : 01 オートリトライ	ボタン番号 : 01 モニタ割込	ボタン番号 : 01 モード切替 番号 : 01
ボタン番号 : 01 受話器外し表示	ボタン番号 : 01 ハウラー送出	ボタン番号 : 01 ダイヤルモード切替 モード1 番号 : 01	ボタン番号 : 01 ダイヤルモード切替 モード1 番号 : 000
ボタン番号 : 01 呼出停止内線表示	ボタン番号 : 01 モニタリングコール 呼出停止内線表示	ボタン番号 : 01 プリセット	ボタン番号 : 01 録音
ボタン番号 : 01 コメント	ボタン番号 : 01 終了	ボタン番号 : 01 取消	ボタン番号 : 01 ポーズ
ボタン番号 : 01 メッセージ転送	ボタン番号 : 01 出退表示登録 種別 : 1	ボタン番号 : 01 指令グループ番号 : 01	ボタン番号 : 01 被指令者 内線番号 : 2000

内線名称を登録する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | Myナンバー |
- 登録モード(P.72)から**
「3 内線名称」を選択→
決定を押す。

- ②
- | |
|-------------|
| 内線名称
未登録 |
|-------------|
- 決定を押す。

・内線名称が登録されている場合は、その旨が表示されます。

- ③
- | |
|-----------|
| 1 登録 / 編集 |
| 2 消去 |
- 「1 登録/編集」を選択→
決定を押す。

- ④
- | |
|-------|
| 内線名称？ |
| 鈴木 ■ |
| 漢全 |
- 名称を入力→
決定を押す。

- ⑤
- | |
|------------|
| 内線名称
鈴木 |
|------------|

・内線名称が登録されます。

内容OKなら → 決定を押す。 → 操作①に戻るので ^{終了} 決定を押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら → ^{戻る} 代理応答を押す。 → ^{戻る} 代理応答を押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

各種登録(つづき)

マイ My ナンバーを登録する

席移動の際、現在お使いの電話機と内線番号を移動先でそのまま使うことができます。更に移動先で使用しているグループボタン配置、ボタン着信音、コールピックアップグループの機能を電話機にコピーすることができます。

 My ナンバーの登録は、下記の1、2、3の順（移動前と移動後）に行います。

1 My ナンバーを登録する【移動前に登録します】

移動のために、自分の内線番号を登録します。

- ①
- | |
|-----------|
| 1 短縮ダイヤル |
| 2 ボタン |
| 3 内線名称 |
| 4 My ナンバー |
- 登録モード(P.72)から**
「4 My ナンバー」を選択→
決定を押す。
- ②
- | |
|--------------|
| 1 My ナンバー登録 |
| 2 席移動開始 |
| 3 My ナンバー表示 |
| 4 グループデータコピー |
- 「1 My ナンバー登録」を選択→
決定を押す。

③ My ナンバー登録中
お待ちください

↓

My ナンバー登録 しました

登録完了後→
決定を押す。

・画面は操作①に戻ります。を押すと待機画面になります。

2 席移動を開始する【1項の、「My ナンバーを登録する」操作をし、電話機を移動した後に行います】

移動先で、自分の内線番号を登録します。

- ①
- | |
|-----------|
| 1 短縮ダイヤル |
| 2 ボタン |
| 3 内線名称 |
| 4 My ナンバー |
- 登録モード(P.72)から**
「4 My ナンバー」を選択→
決定を押す。
- ②
- | |
|--------------|
| 1 My ナンバー登録 |
| 2 席移動開始 |
| 3 My ナンバー表示 |
| 4 グループデータコピー |
- 「2 席移動開始」を選択→
決定を押す。

③ My ナンバー取得中
お待ちください

↓

内線番号	3000
05月16日(月)	13:22
着信音量	■■■■□□

登録が完了すると自分の
内線番号が表示されます。

3 グループデータをコピーする【2項の、「席移動を開始する」操作をした後に行います】

移動先グループで使用されている、電話機のグループボタン配置、ボタン着信音、コールピックアップグループが登録されます。

- ①
- | |
|-----------|
| 1 短縮ダイヤル |
| 2 ボタン |
| 3 内線名称 |
| 4 My ナンバー |
- 登録モード(P.72)から**
「4 My ナンバー」を選択→
決定を押す。
- ②
- | |
|--------------|
| 1 My ナンバー登録 |
| 2 席移動開始 |
| 3 My ナンバー表示 |
| 4 グループデータコピー |
- 「4 グループデータコピー」を選択→
決定を押す。

④ 1 グループデータコピー
2 キャンセル

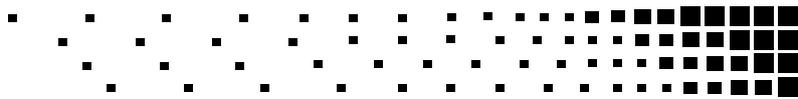
「1 グループデータコピー」を選択→
決定を押す。

↓

内線番号	3000
05月16日(月)	13:22
着信音量	■■■■□□

・登録後は、元のデータに戻せません。

- ③ 内線番号？
4110 ■
- 内線番号を入力→
決定を押す。



第7章

特定電話機 からの登録

本章は、特定電話機からの登録操作についての説明です。

- 本章の内容の操作は、全てハンドセットを置いたままで操作します。
- 本章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったときは、第9章付録の「こんなメッセージが出たら」(P.112)をご覧ください。

特定電話機からの登録



特定電話機から、通常の電話機能以外に下記の項目について登録することができます。

登録項目について

- 登録するためのモードは、登録モードから入るものと、特定モードにしてから入る2通りがあります。
- 特定電話機としての設定は販売店が行います。特定電話機を確認するとともに、設定台数をお確かめください。

	項目	モード	内容
1	システム短縮ダイヤルの登録 (P.85)	登録モード	全内線が共通で使用できるシステム短縮ダイヤルの登録です。
2	支店番号システム短縮ダイヤルの登録 (P.87)		短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤル発信できる機能を設定している場合の登録です。
3	日付設定 (P.88)	特定モード	画面に表示されるカレンダーの年、月、日、曜日の設定です。
4	時刻設定 (P.88)		画面に表示される時刻の設定です。
5	内線名称登録 (P.89)		内線発信時、発信側の内線番号に替わって名称で表示するための登録です。
6	席の入替登録 (P.89)		複数内線の席の入れ替えの登録です。
7	発信停止の登録、解除、確認 (P.90)		内線の発信停止登録、解除、確認です。
8	折返発信番号設定 <MX-01/MX900IPの場合> (P.91)		折返発信番号の設定です。
9	折返発信番号確認 <MX-01/MX900IPの場合> (P.91)		現在登録されている折返発信番号の確認です。

※ 登録したデータは、定時ダンプによって交換機に記憶されます。

操作画面について

上記の項目を操作するときは、次の操作で特定モード画面を開いてから操作します。

【待機画面】

①

内線番号	3000
05月16日(月)	13:22
着信音量	■■■■□□

待機画面で「決定」を押す。

【トップメニュー】

②

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	アラーム
6	アラーム

③

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	アラーム
6	アラーム

「4 電話機設定2」を選択→「決定」を押す。

登録モード

④

1	短縮ダイヤル
2	ボタンの
3	内線名称
4	Myナンバー



本画面を表示させてからP.85～87の操作になります。

・登録モードから特定モードに遷移するには「#」ボタンを長押しして下さい。

特定モード

⑤

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席入替登録解除
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

交換機がMX-01/MX900IPの場合は「決定」を押す。



本画面を表示させてからP.88～90の操作になります。

特定モード

⑥

1	折返発信番号設定
2	折返発信番号表示

交換機がMX-01/MX900IPの場合はこの表示になります。



本画面を表示させてからP.91の操作になります。

システム短縮ダイヤルを登録する

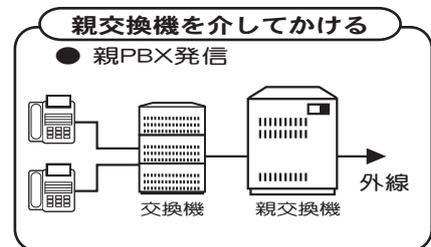
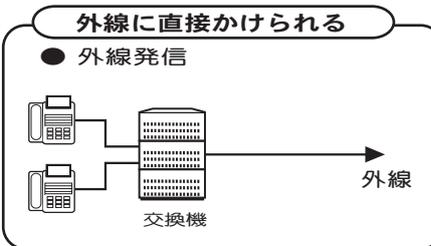
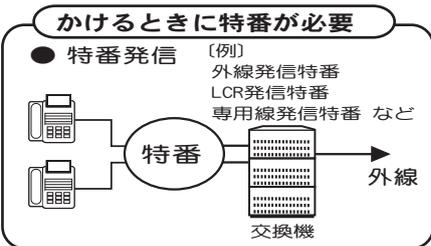
短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"、そして、グループ内の内線で共通に使用できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

短縮番号について

システム短縮/可変短縮ダイヤル(P.15)を参照して、短縮番号がどのように設定されているか、販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

ご使用のシステムが、下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。



- ① 1 短縮ダイヤル
- 2 ボタン
- 3 内線名称
- 4 Myナンバー

登録モード(P.84)から

「1 短縮ダイヤル」を選択→ **決定** を押す。

- ② 1 短縮ボタン発信
- 2 特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→ **決定** を押す。

※「2 特番発信」については、「支店番号システム短縮ダイヤルを登録する」(P. 87)を参照してください。

- ③ 短縮番号 ?

短縮番号を入力→ **決定** を押す。

- ④ システム短縮
短縮番号 : 00

決定 を押す。

- ⑤ 1 登録
- 2 編集
- 3 消去

「1 登録」を選択→ **決定** を押す。

- ⑥ 発信種別 ?
- 1 特番発信
- 2 外線発信
- 3 親PBX発信
- 4 PB送出用

いずれか選択→

決定 を押す。

(例)「1 特番発信」を選択

- ⑦ 相手番号 ?

00312345678 ■

相手番号を入力→

決定 を押す。

(例) 発信特番 0

相手番号 0312345678

・ポーズを入力する場合は **決定** を押してください。
表示は「P」になります。

- ⑧ 名称 ?
- 日立 ■

名称を入力→

決定 を押す。

文字入力(P. 102)

漢全

※⑥で、「1 特番発信」の設定時のみ名称登録画面が表示され、登録できます。

- ⑨ 読み仮名 ?

ヒタチ ■
か半

読み仮名を入力→

決定 を押す。

- ⑩ システム短縮
短縮番号 : 00
特番発信
00312345678
日立
ヒタチ

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ **決定** を押す。

→ 操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→ **決定** を押す。

→ 操作②に戻るので **終了** を押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ **戻る** (代理応答) を押す。

→ **戻る** (代理応答) を押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

特定電話機からの登録(つづき)

システム短縮ダイヤルを編集する

①

1	短縮ダイヤル
2	ボタン名称
3	内線名称
4	Myナンバー

登録モード(P.84)から
「1 短縮ダイヤル」を選択→**決定**を押す。

②

1	短縮ボタン発信
2	特番発信

「1 短縮ボタン発信」を選択→**決定**を押す。

③

短縮番号？
00■

短縮番号を入力→**決定**を押す。

④

システム短縮
短縮番号：00
特番発信
00312345678
田中
㊦

決定を押す。

⑤

1	登録
2	編集
3	消去

「2 編集」を選択→**決定**を押す。

⑥

システム短縮
短縮番号：00
1 特番発信
2 00312345678
3 田中
4 ㊦

編集項目を選択→**決定**を押す。
(例) 「1 特番発信」

⑦

発信種別？
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送信用

目的の種別を選択→**決定**を押す。
(例) 「2 外線発信」

⑧

システム短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 00312345678
3 田中
4 ㊦

「2 00312345678」を選択→**決定**を押す。

⑨

相手番号？
00312345678
00311223344■

相手番号を修正→**決定**を押す。
(例) 0311223344

・ポーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。

「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には発信特番を指定しないでください。

⑩

システム短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 00311223344
3 田中
4 ㊦

「3 田中」を選択→**決定**を押す。

⑪

名称？
田中
日立■
漢全

名称を修正→**決定**を押す。
(例) 日立
 文字入力 (P. 102)

※⑦で、「1 特番発信」の設定時のみ名称登録画面が表示され、登録できます。

⑫

システム短縮
短縮番号：00
1 外線発信
2 00311223344
3 日立
4 ㊦

「4 ㊦」を選択→**決定**を押す。

⑬

読み仮名？
㊦
㊦■
㊦半

読み仮名を修正→**決定**を押す。

⑭

システム短縮
短縮番号：00
外線発信
00311223344
日立
㊦

内容を確認する。

内容OKで続けて編集なら→**決定**を押す。➡操作②に戻るので続けて編集する。

内容OKで編集終了なら→**決定**を押す。➡操作②に戻るので を押す。待受画面に戻ります。

内容修正なら→ を押す。➡ を押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

支店番号システム短縮ダイヤルを登録する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | Myナンバー |
- 登録モード(P.84)から
「1 短縮ダイヤル」を選択→**決定**を押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「2 特番発信」を選択→**決定**を押す。
- ③
- | |
|-------------|
| 特番 + 短縮番号 ? |
| 7123456 ■ |
- 短縮発信特番 + 支店番号を入力→**決定**を押す。
(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 未登録 |
- 決定**を押す。

- ⑤
- | | |
|---|----|
| 1 | 登録 |
| 2 | 編集 |
| 3 | 消去 |
- 「1 登録」を選択→**決定**を押す。
- ⑥
- | |
|---------------|
| 相手番号 ? |
| 00312345678 ■ |
- 相手番号を入力→**決定**を押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0312345678
・ポーズを入力する場合は **⏏** を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑦
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 00312345678 |
- 内容を確認する。
- 内容OKで
続けて登録なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので続けて登録する。
- 内容OKで
登録終了なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので **終了** を押す。
待受画面に戻ります。
- 内容修正なら→ **戻る** / **代理応答** を押す。→ **戻る** / **代理応答** を押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

支店番号システム短縮ダイヤルを編集する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | Myナンバー |
- 登録モード(P.84)から
「1 短縮ダイヤル」を選択→**決定**を押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「2 特番発信」を選択→**決定**を押す。
- ③
- | |
|-------------|
| 特番 + 短縮番号 ? |
| 7123456 ■ |
- 短縮発信特番 + 支店番号を入力→**決定**を押す。
(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 00312345678 |
- 決定**を押す。
- ⑤
- | | |
|---|----|
| 1 | 登録 |
| 2 | 編集 |
| 3 | 消去 |
- 「2 編集」を選択→**決定**を押す。

- ⑥
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 1 00312345678 |
- 「1 00312345678」を選択→**決定**を押す。
- ⑦
- | |
|---------------|
| 相手番号 ? |
| 00312345678 |
| 00311223344 ■ |
- 相手番号を修正→**決定**を押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0311223344
・ポーズを入力する場合は **⏏** を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑧
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 00311223344 |
- 内容を確認する。
- 内容OKで
続けて編集なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので続けて編集する。
- 内容OKで
編集終了なら→**決定**を押す。→操作②に戻るので **終了** を押す。
待受画面に戻ります。
- 内容修正なら→ **戻る** / **代理応答** を押す。→ **戻る** / **代理応答** を押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

特定電話機からの登録(つづき)

日付を設定する

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替停止登録解除
5	発信停止表示
6	発信停止表示

特定モード(P. 84)から
「1 日付」を選択→
決定を押す。

②

年月日曜	1112037		
曜日入力	1112037		
1:日	2:月	3:火	4:水
5:木	6:金	7:土	

現在設定されている日付が表示されます。
設定エリアに日付を入力する。

確認エリア：設定されている日付です。
設定エリア：日付を設定するエリアです。

・確認エリアと設定エリアは同日付を表示します。

③

年月日曜	1112037		
曜日入力	1112037		
1:日	2:月	3:火	4:水
5:木	6:金	7:土	

▶を押してカーソルを変更箇所へ移動する。

④

年月日曜	1112037		
曜日入力	■		
1:日	2:月	3:火	4:水
5:木	6:金	7:土	

クリア(不在)を7回押して消す。

・クリア(不在)を押すと1桁消えます。
・クリア(不在)を長押し(3秒以上)で全桁消えます。

⑤

年月日曜	1112037		
曜日入力	1202165		
1:日	2:月	3:火	4:水
5:木	6:金	7:土	

日付を入力→
決定を押す。

(例) 2012年2月16日(木曜日)
年 月 日 曜
(2桁) (2桁) (2桁) (1桁)
12 02 16 5

⑥

年月日曜	1202165
------	---------

決定を押す。

⑦

12年02月16日木曜

・終了(◇)を押すと待機状態に戻ります。

時刻を設定する

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替停止登録解除
5	発信停止表示
6	発信停止表示

特定モード(P. 84)から
「2 時刻」を選択→
決定を押す。

②

時分	1325
時分	1325

現在設定されている時刻が表示されますので、
設定エリアに時刻を入力する。

確認エリア：設定されている時刻です。
設定エリア：時刻を設定するエリアです。

・確認エリアと設定エリアは同時刻を表示します。

③

時分	1325
時分	1325

▶を押してカーソルを変更箇所へ移動する。

④

時分	1325
時分	1■

クリア(不在)を3回押して消す。

・クリア(不在)を押すと1桁消えます。
・クリア(不在)を長押し(3秒以上)で全桁消えます。

⑤

時分	1325
時分	1455

時刻を入力→
決定を押す。

(例) 14時55分
時 分
(2桁) (2桁)
14 55

⑥

時分	1455
----	------

決定を押す。

⑦

14時55分

・終了(◇)を押すと待機状態に戻ります。

内線名称を登録する

発信者側の内線番号表示の代わりに、相手の名称を表示することができます。

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席入替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モード(P.84)から
「3内線名称」を選択→
決定を押す。

②

内線番号？
2000■

内線番号を入力→
決定を押す。

③

内線番号：2000

決定を押す。

④

1	登録/編集
2	消去

「1登録/編集」を選択→
決定を押す。

⑤

内線名称？
鈴木■

漢全

名称を入力→
決定を押す。

⑥

内線番号：2000
鈴木

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→決定を押す。→操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→決定を押す。→操作②に戻るので→終了を押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→戻るを押す。→戻るを押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

席の入替を登録する

席替え先に移動しても、今まで使っていた内線番号を使うことができます。

(例) A、B、Cさんを下記のように席替えする。

座席1	Aさん(内線：2001)	座席1	Cさん(内線：2003)
座席2	Bさん(内線：2002)	座席2	Aさん(内線：2001)
座席3	Cさん(内線：2003)	座席3	Bさん(内線：2002)

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席入替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モード(P.84)から
「4席入替」を選択→
決定を押す。

②

暗証番号？
■

暗証番号を入力→
決定を押す。

・暗証番号が無い場合は決定を押してください。

③

入替開始内線番号？
2001■

「2001」を入力→
決定を押す。

④

入替内線：2001
移動先内線？
2002■

「2002」を入力→
決定を押す。

⑤

入替内線：2002
移動先内線？
2003■

「2003」を入力→
決定を押す。

⑥

入替内線：2003
移動先内線？
2001■

決定を押す。

⑦

席替確認
1実行
2キャンセル

「1実行」を選択→
決定を押す。

⑧

席替完了

終了を押す。
待受画面に変わります。

特定電話機からの登録(つづき)

発信停止を登録する

内線電話機からの発信を停止することができます。

- ①
- | | |
|---|----------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | 席替 |
| 5 | 発信停止登録解除 |
| 6 | 発信停止表示 |
- 特定モード(P.84)から**
「5 発信停止登録解除」を選択→ **決定**を押す。

- ②
- | |
|--------|
| 内線番号 ? |
| 2000■ |
- 内線番号を入力→ **決定**を押す。
(例) 2000

- ③
- | |
|-------------|
| 発信停止 : 2000 |
| 内線登録 |
- 決定**を押す。

- ④
- | |
|------|
| 1 登録 |
| 2 解除 |
- 「1 登録」を選択→ **決定**を押す。

- ⑤
- | |
|-------------|
| 発信停止 : 2000 |
| 内線登録 |
- 内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ **決定**を押す。 → 操作②に戻るので続けて登録する。

内容OKで
登録終了なら→ **決定**を押す。 → 操作②に戻るので **終了**を押す。
待受画面に戻ります。

発信停止を解除する

内線電話機からの発信停止を解除することができます。

- ①
- | | |
|---|----------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | 席替 |
| 5 | 発信停止登録解除 |
| 6 | 発信停止表示 |
- 特定モード(P.84)から**
「5 発信停止登録解除」を選択→ **決定**を押す。

- ②
- | |
|--------|
| 内線番号 ? |
| 2000■ |
- 内線番号を入力→ **決定**を押す。
(例) 2000

- ③
- | |
|-------------|
| 発信停止 : 2000 |
| 内線登録 |
- 決定**を押す。

- ④
- | |
|------|
| 1 登録 |
| 2 解除 |
- 「2 解除」を選択→ **決定**を押す。

- ⑤
- | |
|-------------|
| 発信停止 : 2000 |
| 内線解除 |
- 内容を確認する。

内容修正なら→ **戻る**を押す。 → **戻る**を押す毎に1画面ずつさかのぼります。目的の画面を表示させて修正する。

発信停止の登録内線を確認する

発信停止を登録している内線を確認することができます。

- ①
- | | |
|---|----------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 内線名称 |
| 4 | 席替 |
| 5 | 発信停止登録解除 |
| 6 | 発信停止表示 |
- 特定モード(P.84)から**
「6 発信停止表示」を選択→ **決定**を押す。

- ②
- | |
|--------------------------|
| 発信停止表示 |
| 2000 2001 2002 |
| 2003 2004 2005 |
| 2006 2007 2008 |
| 2009 2010 2011 |
| 2012 |
- (これは表示例です)
・登録がある場合はこのような表示になります。
・登録がない場合は操作③の表示になります。

- ③
- | |
|--------|
| 発信停止表示 |
| 表示終了 |
- 終了**を押す。

折返発信番号を設定する

折返し発信番号を設定することができます。

- ①

1 折返発信番号設定 2 折返発信番号表示	特定モード(P.84)から 「1 折返発信番号設定」 を選択→ 決定 を押す。
--------------------------	---
- ②

折返発信番号？ 0312345678	折返番号を入力→ 決定 を押す。 (例) 0312345678
-----------------------	--
- ③

折返発信番号 0312345678 未登録	内容を確認→ 決定 を押す。
-----------------------------	--------------------------
- ④

1 登録 2 編集 3 消去	「1 登録」を選択→ 決定 を押す。
----------------------	------------------------------
- ⑤

課金対象内線？ 200	課金対象の内線番号 を入力→ 決定 を押す。 (例) 200
----------------	---
- ⑥

折返発信番号 0311223344 課金対象内線 200	内容を確認→ 決定 を押す。
---------------------------------------	--------------------------

・折返し発信番号設定画面になります。

折返発信番号を確認する

現在設定されている折返し発信番号を確認することができます。

- ①

1 折返発信番号設定 2 折返発信番号表示	特定モード(P.84)から 「2 折返発信番号表示」 を選択→ 決定 を押す。
--------------------------	---
- ②

折返発信番号表示	決定 を押す。
0312345678	200
0311223344	201
0398765432	202
0311111111	203
0322222222	204
- ③

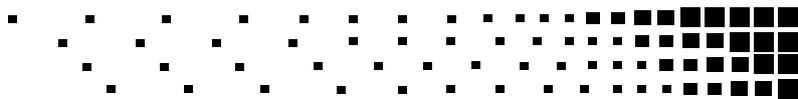
折返発信番号表示	決定 を押す。
0333333333	205
0344444444	206
0355555555	207
0366666666	208
0377777777	209

・次の内容が表示されます
- ④

折返発信番号 表示終了	終了 ◇ を押す。
----------------	---------------------

・折返し発信番号表示画面になります。

MEMO



第8章

その他の電話機

本章は、ハンズフリー付電話機、停電直通用電話機の独自機能についての説明です。

ハンズフリー付電話機

下記の電話機は、ハンドセットを置いたまま、マイクを使って通話することができます。

HI-24F-TELFHF「」、HI-24F-TELWHFA、HI-「J」F-TELPF「」、HI-24F-TELPF「」



マイクボタン(1個)

マイクをON/OFF
するボタンです。

マイク

- マイクボタンは取付時に販売店が設定(1個)しますので、販売店にボタンの位置をお確かめください。
- マイクボタンにマイクシール(添付品)を貼ってご使用ください。
- ハンズフリーで通話する場合は、あらかじめマイクボタンをONにしておいてください。

- マイクとの距離は1m以内でお話してください。

外線にかける

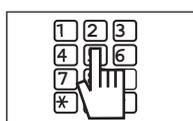
外線発信



1. オンフックボタンを
押す。



2. 外線ボタンを
押す。



3. 相手番号を押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1.の前、または後に[マイク]ボタンを押してONにしてください。

外線からの電話を受ける

外線応答



着信音が鳴る。



1. オンフックボタンを
押す。



2. 速い赤点滅している
外線ボタンを押す。



3. 通話する。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1.の前、または後に[マイク]ボタンを押してONにしてください。

内線にかける

内線発信



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手内線番号を押す。

● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後に[マイク]ボタンを押してONにしてください。

内線からの電話を受ける

内線応答



- 着信があるとすぐに冒頭音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
 2. 通話する。

● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後に[マイク]ボタンを押してONにしてください。

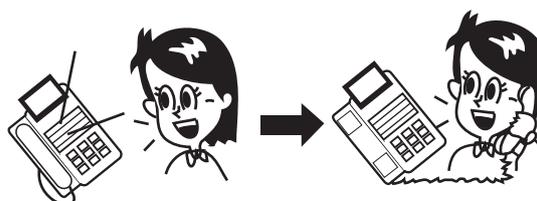
NOTE

相手にこちらの声を聞かせたくない場合



1. マイクボタンを押す。
マイクランプが消えます。
2. 相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。
3. 再度マイクボタンを押すと元の状態に戻ります。

ハンズフリー通話から ハンドセットでの通話にする場合



1. ハンズフリー通話中にハンドセットを上げる。
2. ハンズフリー通話に戻す場合はオンフックボタンを押してからハンドセットを戻す。

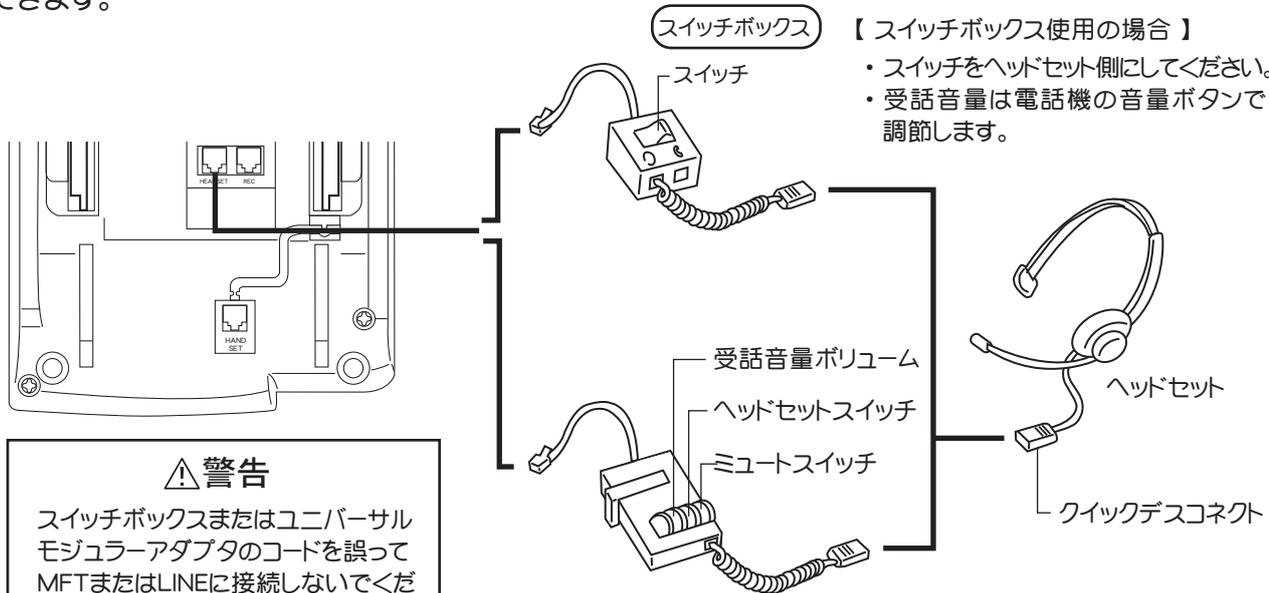
ハンズフリー通話中のご注意

- HI-24F-TELFHFJでは通話は交互に行ってください。双方が同時に通話したり、相手の話しが終わらないうちに話かけると、声がとぎれる場合があります。
- HI-24F-TELWHFAでは同時通話可能です。(ダブルトーク対応)
- マイクとの距離は1m以内でお話してください。
- ハウリングが発生する場合は、ハンドセットを使って通話してください。
- 周囲の雑音が大い等、うまく通話できない場合は、ハンズフリー設定をすると状況を緩和させることができます。なお、設定しても必ずしも満足できる状況にならない場合があります。(設定方法は、工事保守マニュアルを参照してください)

ヘッドセットで通話する

ヘッドセット通話

HI-24F-TELHFJ/ HI-24F-TELWHFAは、ハンドセットの代わりにヘッドセットを使って通話することができます。



【スイッチボックス使用の場合】

- スイッチをヘッドセット側にしてください。
- 受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

⚠ 警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。

ユニバーサルモジュラーアダプタ

【ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合】

- 受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

電話をかける



1. スイッチボックスのスイッチまたはユニバーサルモジュラーアダプタのヘッドセットスイッチを入れる。



2. 相手番号を押す。



3. 通話する。



4. 通話が終わったらスイッチボックスのスイッチまたはユニバーサルモジュラーアダプタのヘッドセットスイッチを切る。

電話を受ける

■ 外線からの電話に応答する



着信音が鳴る。



1. スイッチボックスのスイッチまたはユニバーサルモジュラーアダプタのヘッドセットスイッチを入れる。



2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。



3. 通話する。

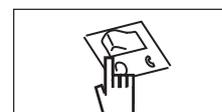


4. 通話が終わったらスイッチボックスのスイッチまたはユニバーサルモジュラーアダプタのヘッドセットスイッチを切る。

■ 内線からの電話に応答する



着信音が鳴る。



1. スイッチボックスのスイッチまたはユニバーサルモジュラーアダプタのヘッドセットスイッチを入れる。



2. 通話する。

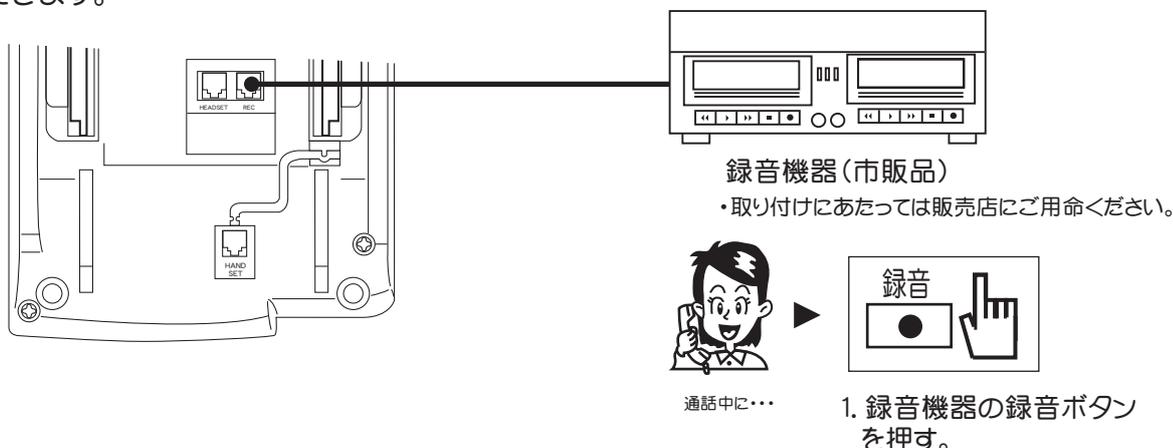


3. 通話が終わったらスイッチボックスのスイッチまたはユニバーサルモジュラーアダプタのヘッドセットスイッチを切る。

通話を録音する

通話録音

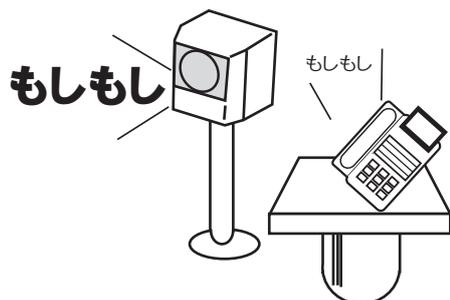
HI-24F-TELHF「J」/HI-24F-TELWHFAは、市販の録音機器を接続して通話を録音することができます。



スピーカ付アンプを使う

スピーカ付アンプ

HI-24F-TELHF「J」/HI-24F-TELWHFAは、スピーカ付アンプを接続することができます。これで電話機のスピーカモニタを大きくして聞くことができます。



- スピーカ付アンプの取り付けは販売店が行います。
- 音量は電話機の[音量]ボタンで調節できます。
- 音色は電話機そのものの音種です。

ダブルトークハンズフリー通話中のご注意

- エコー除去の自動学習機能が動作します。ただしエコーが大きい環境では、エコーの除去に多少時間がかかる場合や、エコーの除去で音声 unnatural になることがまれにありますので、狭い空間で音量を大きくして使用することはお勧めしません。
- 室内騒音は約60~65dB程度の静かなところ(少ない方がより良い)での使用を推奨します。室内騒音の除去機能が動作しますが、大きな音や突発的に発生する騒音は除去できません。
- 回線雑音は約-65dB(0dB = 1mW)以下程度の少ない回線(少ない方がより良い)での使用を推奨します。
- ハンズフリー動作時、本体スピーカー音量は小さくなります。
- 机から伝わってくる振動、受話音量、音の反射が多い場所などによって、うまく通話できない場合もあるため使用環境には注意してください。
- 本体マイクの有効範囲は約1m以内(推奨:50cm以内)です。1m以上離れた場所の音も音量が大きい場合は拾います。
- 近くでハンズフリー同士の通話を行わないでください。(ハウリングが発生します。)
- マイクの指向性は全方位でほぼ同等ですが、背面側からだと相手に聞こえる音量がやや小さくなります。また、全方位の音を拾いますので、オフィス等の通話と関係のない人がいる場所で使用すると、意図しない音を送話することになりますので、使用場所には注意してください。
(電話機の半径1m以上離れて発生する音でも、音量が大きいとマイクで音を拾います。)
- ハンズフリー通話時にハンズフリー側の電話機のスピーカー音量を大きくすると、通話相手側にエコー除去できなかった音声の冒頭分が異音となって聞こえる場合がありますので、ハンズフリー電話機のスピーカーボリュームは可能な限り初期値(ボリュームメモリ3)でご使用することをお勧めします。
- 通話相手がIP電話機やPHS、アナログ局線で接続された電話機の場合、回線や符号化による遅延により、上記の異音が通話相手に遅れて到達するため、通話相手側が通話に違和感を感じる場合がありますので、ハンズフリー電話機のスピーカーボリュームは可能な限り初期値(ボリュームメモリ3)でご使用することをお勧めします。

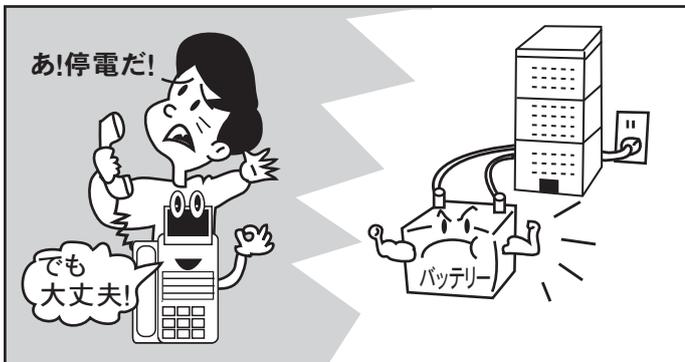
停電直通用電話機

【本電話機は"アナログ回線用"です】

停電になると交換機に取り付けられている停電用バッテリーからの給電に切り替わります。

その後

- バッテリーの補償時間が過ぎると、電話機と交換機は自動的に自局の加入者回線(アナログ回線)と直結になり、外線への発信と着信ができるようになります。
- なお、あらかじめ交換機と電話機を自動的に自局の加入者回線(アナログ回線)と直結にする工事が必要です。つながらない場合は、販売店にお問い合わせください。



■ バッテリー補償時間

接続されている交換機の仕様により異なります。



本電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。

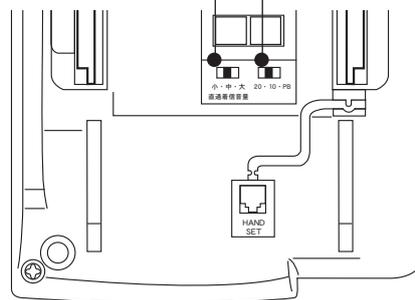
バッテリーからの給電停止後

- 機能するのは[ダイヤル]ボタンだけです。
- 着信音量調節は裏面の着信音量切替スイッチを切り替えてください。
- 裏面の回線種別切替スイッチは販売店が設定していますので、設定を変えないでください。電話が使用できなくなります。



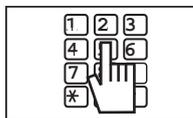
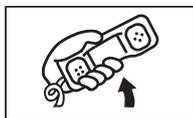
停電直通用電話機である旨のシールが貼ってあります。

着信音量切替スイッチ 回線種別切替スイッチ



外線にかける

外線発信



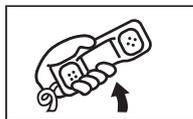
1. ハンドセットを上げる。
2. 相手番号を押す。

外線からの電話を受ける

外線応答



着信音が鳴る。



1. ハンドセットを上げる。

INS ネット64 停電直通用電話機

【本電話機は"ISDN回線用"です】

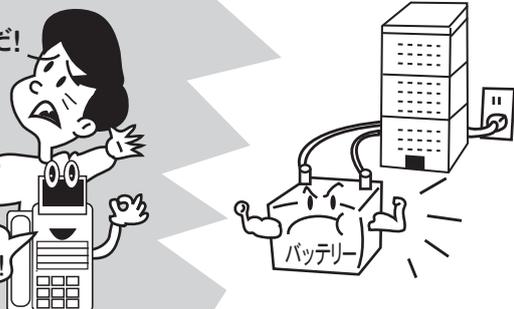
停電になると交換機に取り付けられている停電用バッテリーからの給電に切り替わります。

その後

- バッテリーの補償時間が過ぎると、電話機と交換機は自動的に自局の加入者回線 (ISDN:INSネット64回線) と直結になり、外線への発信と着信ができるようになります。
- なお、あらかじめ交換機と電話機を自動的に自局の加入者回線 (ISDN:INSネット64回線) と直結にする工事が必要です。つながらない場合は、販売店にお問い合わせください。

あ!停電だ!

でも大丈夫!



■ バッテリー補償時間

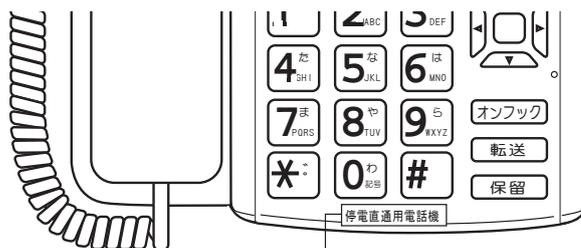
接続されている交換機の仕様により異なります。



本電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。

バッテリーからの給電停止後

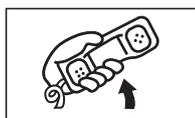
- 機能するのは[ダイヤル]ボタンだけです。



停電直通用電話機である旨のシールが貼ってあります。

外線にかける

外線発信



1. ハンドセットを上げる。



2. 相手番号を押す。

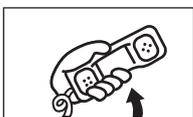
- 相手番号をダイヤル中、約4秒の間があくと、ダイヤルが終了したと見なし、その時点で発信されます。ダイヤル操作は間をあげないで行ってください。
- ダイヤルを間違えた場合は、約4秒以内にハンドセットを戻し、ダイヤルをし直してください。
- ダイヤルが終了してから最低4秒間は無音です。その後呼び出し音が聞こえます。
- 通話中に停電が復旧した時点で通話は切れますが、異常ではありません。

外線からの電話を受ける

外線応答



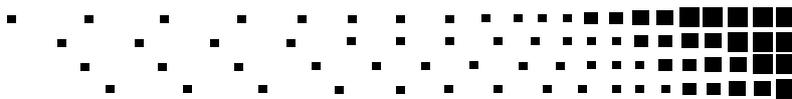
着信音が鳴る。



1. ハンドセットを上げる。

- 着信音量は固定です。調節はできません。
- 通話中に停電が復旧した時点で通話は切れますが、異常ではありません。

MEMO



第9章

付録

本章は、参照内容や電話機の仕様などについての説明です。

文字入力

各ボタンの文字割り当て(P.103)をご覧ください。

漢字／ひらがな

入力モードを「漢全」にする。 **漢全**

① 名前？
■
漢全

└─ 入力モード

② ひた **ち** "読み"を入力する。
(例) ひたち
漢全

- ・入力した読みを"ひらがな"で確定するときは **決定** を押す。
- ・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** でカーソルを移動させてから入力する。
- ・入力した読みを漢字変換するときは **▲/▼** で候補を表示させる。

③ ひたち 候補を選択して→
1 日立
2 常陸
3 ヒタチ
4 ひたち **決定** を押す。
(例) 「1 日立」

④ 名前？
日立 ■
漢全

・操作②③を繰り返して文字を入力する。

濁点、半濁点の入力

(例) が

- か** ① カーソルを合わせる。
- ゚** ② **✳** を押して濁点、半濁点を付ける。
- が** ③ これで、「が」になりました。

・カタカナ半角の場合は濁点、半濁点も半角1文字が使われますので、通常どおりの入力になります。

スペース入力

スペースは半角だけです。全角はありません。

- か → ■ ① 「か」と入力してカーソルを右に移す。
- か → □ → ■ ② 再度カーソルを右に移す。
- か □ ■ ③ これで、半角スペースができました。
- └─ 半角スペース

直接入力文字

入力モードを「漢全」以外にする。

か全 **英全** **数全** **か半** **英半** **数半**

① 名前？ 任意の文字を入力する。
■
か全

② 名前？
ヒタチ A B C 1 2 **3**
数半

・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** でカーソルを移動させてから入力する。

文字削除

■ 1文字削除

① 名前？ 削除する文字にカーソル
日立太 **郎** A B C 1 2 3 を合わせ→
漢全 **クリア**
不在 を押す。



名前？
日立 **困** A B C 1 2 3
漢全

・1文字削除されて文字間がつまります。

■ 全削除

① 名前？ **クリア**
日立太 **郎** A B C 1 2 3 **不在** を
漢全 長押し(3秒以上)する。



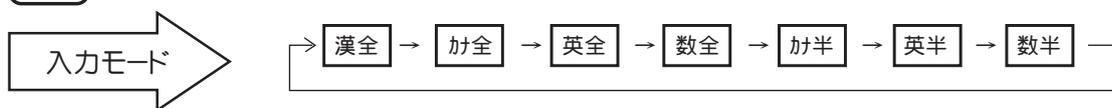
名前？
■
漢全

・全文字削除されます。

各ボタンの文字割り当て

入力文字は、各ボタンに割り付けられています。

文字
再ダイヤル を押すと次の順に入力モードが換わります。



始めに入力モードを選択して、次に下表にしたがって各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力してください。

文字種	漢全 (漢字全角)	加全 (加加全角)	英全 (英字全角)	数全 (数字全角)	加半 (加加半角)	英半 (英字半角)	数半 (数字半角)
ボタン	漢 あ	ア	A	1	ア1	AB	12
1あ	→ あいうえお	→ アイウエオ	—	1	→ アイウエオ	—	1
2か ABC	→ かきくけこ	→ カキクケコ	→ ABC	2	→ カキクケコ	→ ABC	2
3さ DEF	→ さしすせそ	→ サシスセソ	→ DEF	3	→ サシスセソ	→ DEF	3
4た GHI	→ たちつと	→ タチツテト	→ GHI	4	→ タチツテト	→ GHI	4
5な JKL	→ なにぬねの	→ ナニヌネノ	→ JKL	5	→ ナニヌネノ	→ JKL	5
6は MNO	→ はひふへほ	→ ハヒフヘホ	→ MNO	6	→ ハヒフヘホ	→ MNO	6
7ま PQRS	→ まみむめも	→ マミムメモ	→ PQRS	7	→ マミムメモ	→ PQRS	7
8や TUV	→ やゆよ	→ ヤユヨ	→ TUV	8	→ ヤユヨ	→ TUV	8
9ら WXYZ	→ らりるれろ	→ ラリルレロ	→ WXYZ	9	→ ラリルレロ	→ WXYZ	9
0わ 記号	→ わをんー、。・	→ ワヲンー、。・	→ , . - < > /	0	→ ワヲンー、。・	→ , . - < > /	0
* [☆]	—	—	—	*	→ **	—	*
#	—	—	—	#	—	—	#

小文字を表示させるには

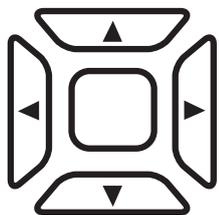
全角で文字種を表示させて、小文字のある文字種(下記)になったときに ^{大文字/小文字}短縮 を押す。

【小文字の文字種】

あいうえお	つ	やゆよ	わ	abc	def	ghi	jkl	mno	pqrs	tuv	wxyz
アイウエ	ッ	ヤユ	ワ								

十字ボタンの機能

十字ボタンの機能は、下記のとおりです。



電話機の状態	ボタン機能
待機状態と通話中	  電話帳検索 発信履歴
発信履歴／着信履歴 を利用中	  発信履歴／着信履歴を切り替える
メニュー画面表示中	  メニュー選択   前候補表示 次候補表示
文字入力中	  カーソル左移動 カーソル右移動
漢字変換時	  末尾候補 先頭候補
待機状態／着信中	  着信音量 (▼:大き< / ▲:小さ<)
スピーカモニタ中	  スピーカ音量 (▼:大き< / ▲:小さ<)
相手と通話中	  受話音量 (▼:大き< / ▲:小さ<)

機能メニューの表示

機能メニュー一覧(P.106)の内容を画面に表示させる操作概要です。

第1項目(トップメニュー)から順にその下の階層の項目(第2→第3・・・)を選択します。
 選択していくにつれて階層が深くなっていきます。



●各画面では▲で上段、▼で下段の項目にカーソルが移動します。

【待機画面】

①

100	15:00
04月27日(水)	
着信音量	■■■■□□□

決定を押す。

②

パスワード?

電話機がロックされると本画面になります。
 (電話機ロックP. 55)
 パスワードを入力→
 決定を押す。

第1項目 【トップメニュー画面】

③

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

項目を選択→
 決定を押す。
 (例)「1 電話帳」

第2項目

④

1	検索
2	登録
3	グループ
4	電話帳読み出し
5	電話帳書き出し

項目を選択→
 決定を押す。
 (例)「1 検索」

第3項目

⑤

1	名前検索
2	メモ番号検索
3	グループ番号検索
4	電話一仮名検索
5	読み仮名検索

項目を選択→
 決定を押す。
 (例)「1 名前検索」

第4項目

⑥

名前?
■
漢全

⑦

名前?
日立
漢全

名前を入力→
 決定を押す。
 文字入力(P. 102)

第5項目

⑧

1	日立太郎
2	日立花子
3	日立次郎

項目を選択→
 決定を押す。
 (例)「1 日立太郎」

← (1 / 1) →

第6項目

⑨

001
日立太郎
ヒタチタロウ
1 00312345678
2 003112233445566778
3 00398765432

決定を押す。

第7項目

⑩

1	発信番号選択
2	変更
3	消去
4	全消去
5	グループ消去

項目を選択→
 決定を押す。
 (例)「1 発信番号選択」

第8項目

⑪

1	00312345678
2	003112233445566778
3	00398765432

決定または
 オンフックを押す。

・ダイヤルが送出されます。

機能メニュー一覽

トップメニュー	ネクストメニュー				
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	
1 電話帳	1 検索 <P.39>	1 名前検索	[名前入力]	[電話帳選択]	
		2 メモリ番号検索	[メモリ番号入力]		
		3 グループ検索	[グループ選択]		
		4 電話番号検索	[電話番号入力]		
		5 読み仮名検索	[読み仮名入力]		
	2 登録 <P.37>	1 名前(必須)	[名前入力]		
		2 読み仮名	[読み仮名入力]		
		3 電話番号1の特番	[特番入力]		
		4 電話番号1(必須)	[電話番号入力]		
		5 確認/登録	[電話帳表示]	[登録選択]	
		1 電話番号2/3へ	1 グループ登録へ		
			2 電話番号2の特番	[特番入力]	
			3 電話番号2	[電話番号入力]	
			4 電話番号3の特番	[特番入力]	
			5 電話番号3	[電話番号入力]	
		2 グループ番号	2 グループ番号	[グループ選択]	
			3 着信音色	[着信音選択]	
			4 着信ランプ色	[ランプ色選択]	
			5 確認/登録	[電話帳表示]	[登録選択]
	3 グループ <P.47>		[グループ選択]	1 名称変更	[名称入力]
			2 着信音色	[着信音選択]	
			3 着信ランプ色	[ランプ色選択]	
	4 電話帳読み込み	1 短縮ダイヤル <P.46>	[グループ選択]	[短縮ダイヤル入力]	
		2 SDカード <P.64>	[任意No.入力]	[読込選択]	
3 携帯電話の電話帳 <P.66>		[任意No.入力]	[特番入力]		
5 電話帳書き出し	1 SDカード <P.62>	[任意No.入力]	[書出選択]		
2 履歴	1 発信履歴 <P.42>	[発信履歴選択]	1 発信		
			2 電話帳登録	⇒登録へ	
			3 1件消去	[消去選択]	
			4 全消去	[消去選択]	
	2 着信履歴 <P.42>	[着信履歴選択]	1 発信		
			2 電話帳登録	⇒登録へ	
			3 1件消去	[消去選択]	
			4 全消去	[消去選択]	

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[電話詳細表示]	1 発信番号選択	1 (電話番号1)		<ul style="list-style-type: none"> ●ハンドセットを上げるか、オンフック押下で発信 [電話帳選択]:カーソルの電話帳の電話番号1に発信。 [電話帳詳細表示]:電話番号1に発信。 ●通話の転送 [電話帳選択]/[電話帳詳細表示]/第8項目の電話番号の選択中に[転送]を押す。 ●電話帳検索の起動 待機状態/通話中に  で起動。
		2 (電話番号2)		
		3 (電話番号3)		
	2 変更	⇒登録へ		
	3 消去	[消去選択]		
	4 全消去	[消去選択]		
5 グループ消去	[消去選択]			
				全角10文字、半角20文字まで入力可能。
				半角カナ/英数字で10文字まで入力可能。
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能。(必須入力)
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能。
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能。
				着信音優先順位①
				推奨:全角9文字、半角18文字まで。(xx:01~20)
			グループxx	着信音優先順位②
			指定なし	
			指定なし	
[詳細情報表示]	[登録選択]			
[読込選択]				
				●ハンドセットを上げるか、オンフック押下で発信 [発信履歴選択]/[着信履歴選択]:表示中の電話番号に発信。
				●通話の転送 [発信履歴選択]/[着信履歴選択]で履歴表示中に[転送]を押す。 待機状態/通話中に  で発信履歴が起動。
				●着信履歴の起動 発信履歴表示中に   で着信履歴が起動。

機能メニュー 一覧 (つづき)

トップメニュー	ネクストメニュー				
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	
3 電話機設定1	1 サウンド設定	1 着信音設定 <P.48>	1 着信種別毎音色	[着信種別選択]	
			2 ボタン着信毎音色	[フリーファンクションボタン押下]	
		2 音量設定 <P.50>	1 着信音量初期値	[レベル選択]	
			2 通話音量初期値	[レベル選択]	
			3 スピーカ音量初期値	[レベル選択]	
			4 最小着信音	1 最小 2 消音	
		3 ボタンタッチ音 <P.49>	1 無し 2 有り		
		4 レベル設定 <P.54>	1 送話レベル	[レベル選択]	
			2 側音	[レベル選択]	
			3 フロアレベル抑圧	1 無効 2 有効	
	2 LCD設定	1 コントラスト <P.50>	[レベル選択]		
		2 バックライト明度 <P.51>	1 標準 2 省電力		
		3 バックライト点灯時間 <P.51>	1 1分 2 3分 3 10分 4 消灯なし		
		4 バックライト着信時有無 <P.51>	1 点灯 2 消灯		
		5 バックライト操作時有無 <P.51>	1 点灯 2 消灯		
	3 履歴保存条件	1 発信履歴 <P.43>	1 外線発信履歴	[保存選択]	
			2 専用線発信履歴	[保存選択]	
			3 内線発信履歴	[保存選択]	
		2 着信履歴 <P.43>	1 着信通話履歴	[保存選択]	
			2 不在着信履歴	[保存選択]	
	4 拡張機能	1 ヘッドセット付加 <P.53>	1 無し 2 有り		
		2 省電力モード設定 <P.52>	1 無効 2 有効		
		3 省電力移行時間 <P.52>	1 1分 2 3分 3 10分 4 30分		
		4 パスワード登録 <P.55>	[現パスワード入力]	[新パスワード入力]	
		5 SDカード <P.62~66>	1 読み込み	1 電話帳	
				2 電話機設定	
			2 書き出し	1 電話帳	
2 電話機設定					
6 初期化 <P.53>	[初期化選択]				
			3 全バックアップ		

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[着信音選択]	[登録内容表示]		本体制御	着信音優先順位③
[着信音選択]	[登録内容表示]		本体制御	着信音優先順位④
			3段目 (6段階)	停電等の給電停止状態からの復帰時の音量を設定します。
			1段目 (4段階)	
			3段目 (6段階)	
			最小	着信音を消すことができるようにします。
			有り	ボタン操作時の音の有無を切り替えます。
			3段目 (3段階)	3段階。設定時は管理者にお問い合わせください。
			6段目 (10段階)	10段階。設定時は管理者にお問い合わせください。
			無効	設定時は管理者にお問い合わせください。
			10段目 (20段階)	20段階。ディスプレイのコントラストを調節できます。
			省電力	バックライト点灯時の明度を切り替えます。
			1分	電話機を操作しないで、設定時間が経過するとバックライトを消灯させることができます。(この設定の有無によらず、電話機を操作しないで約10秒経過するとバックライトが暗くなります)
			点灯	着信時にディスプレイのバックライトを点灯させるかどうかを設定します。
			点灯	電話機のボタンを操作しているときに、ディスプレイのバックライトを点灯させるかどうかを設定します。
			保存する	発信履歴に外線発信を保存するかどうかを切り替えます。
			保存する	発信履歴に専用線発信を保存するかどうかを切り替えます。
			保存する	発信履歴に内線発信を保存するかどうかを切り替えます。
			保存する	着信履歴に着信後に通話した相手を保存するかどうかを切り替えます。
			保存する	着信履歴に着信に回答できなかった相手を保存するかどうかを切り替えます。
			無し	設定時は管理者にお問い合わせください。
			無効	
			30分	電話機を操作しないで設定時間が経過するとバックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
[新パスワード入力]			0000	4~8桁。
[任意No.入力]	[読込選択]			注、「HI-24F-TELWHFF」では、5 SDカードの項目は表示されません。
[任意No.入力]	[読込選択]			
[任意No.入力]	[読込選択]			
[任意No.入力]	[書出選択]			
				電話機の設定が初期化されます。

機能メニュー 一覧 (つづき)

トップメニュー	ネクストメニュー					
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	第6項目	
4 電話機設定2	1 短縮ダイヤル 〈P.73~77〉	1 短縮ボタン発信 2 特番発信	[短縮ダイヤル入力] [特番+短縮番号入力]	[登録内容表示]	1 登録	
					2 編集	
					3 消去	
	2 ボタン 〈P.78~80〉	[フリーファンクションボタン押下]	登録内容表示	登録内容表示	1登録/編集	1 オートダイヤル
						2 外線ワンタッチ
						3 内線ワンタッチ
						4 自己保留
						1 転送完了
						2 DISC
						3 キャンセル
						4 セーブダイヤル
						1 メッセージウェイト
2 他グループピックアップ						
3 内線名称 〈P.81〉	登録内容表示	1 登録/編集 2 消去	[名前入力]	1 キャンセル 2 消去	登録内容表示	
4 Myナンバー 〈P.82〉	1 Myナンバー登録 2 席移動開始 3 Myナンバー表示 4 グループデータコピー		[内線番号入力]	1 グループデータコピー 2 キャンセル		
5 ロック 〈P.55〉	1 解除する 2 ロックする					
6 アラーム 〈P.56〉	[アラーム選択]	1 時刻指定	1 日時指定 2 曜日指定	[アラーム時間入力] [アラーム時間入力]		
		2 警報メッセージ	[メッセージ入力]			
		3 警報色	[警報色選択]			
		4 解除				
		5 登録				

こんなメッセージが出たら

第5章と第6章の内容を操作しているときに、操作内容に間違いがあると表示器に下記のようなメッセージが表示されます。その意味は次のとおりです。

メッセージ	意味
短縮番号が違います。	短縮番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、短縮番号を修正してください。
特番+短縮番号が違います。	特番または短縮番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、特番または短縮番号を修正してください。
この電話機からは登録消去はできません。	お使いの電話機からは、登録内容表示はできますが、登録(変更)消去はできません。
相手番号が違います。	相手番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、相手番号を修正してください。
内線番号が違います。	内線番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、内線番号を修正してください。
グループ番号が違います。	グループ番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、グループ番号を修正してください。
既に他のボタンに設定されています。	登録しようとした機能が他のボタンに設定されているか、登録(変更)できない機能ボタンに変更されています。
オプション機能が登録されていません。	オプション機能が登録されていません。Myナンバーメニューには席替えソフトオプションが必要です。
席移動中です。Myナンバー登録できません。	席移動中の回線では、Myナンバー登録はできません。
Myナンバー登録に失敗しました。	多機能電話機へのMyナンバー登録(書込み)に失敗しました。始めからもう一度、操作してください。
Myナンバーが登録されていません。	多機能電話機にMyナンバーが登録されていません。元の自席に電話機を持って行ってMyナンバー登録後、始めからもう一度、操作してください。
Myナンバー取得に失敗しました。	多機能電話機からのMyナンバー取得に失敗しました。始めからもう一度、操作してください。
年月日曜が違います。	年月日曜が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、年月日曜を修正してください。
時分が違います。	時分が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、時分を修正してください。
暗証番号が違います。	暗証番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、暗証番号を修正してください。
読み仮名を入力した場合は、名称入力が必要です。	短縮ダイヤルの名称が設定されていません。名称を設定してください。
選択された機能は、この盤面に登録できません。	選択された機能ボタンはDSSには登録できません。
他の端末より、席入替中の為、暫くお待ちの上、再度席入替操作を行ってください。	他の端末で席入替中です。暫く待って、始めからもう一度操作してください。

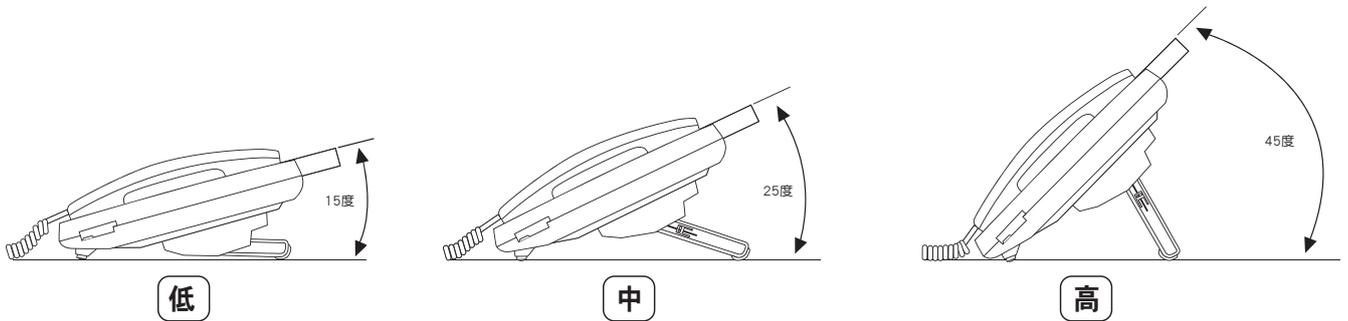
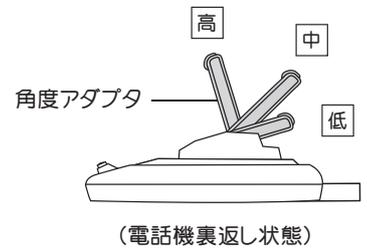
故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず下記の内容を確認してください。それでも直らない場合は販売店にお問い合わせください。

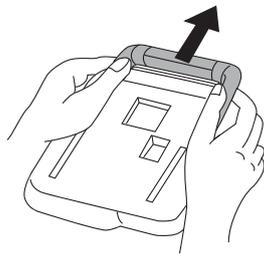
現象	原因	対処
電話機が起動しない。	電話機または交換機にケーブルが接続されていない。または接続先が違う。	正しくケーブルを接続してください。 交換機側に関しては販売店にご依頼ください。
	交換機にデータが登録されていない。	販売店にご依頼ください。
	電話機のマルチ接続設定と接続ケーブルがあていない。	販売店にご依頼ください。
トーンが聴こえない。	コールコードが正しく接続されていない。	電話機側、ハンドセット側のコールコード接続を確認してください。
通話が無音。	コールコードが正しく接続されていない。	電話機側、ハンドセット側のコールコード接続を確認してください。
	IP回線を利用している。	ネットワークの状況により、通話開始までに時間がかかることがあります。トラヒック量などの回線状況を確認してください。
	通話相手が送話をミュートしている。	相手方にミュートを解除してもらってください。
通話が途切れる。	コールコードが正しく接続されていない。	電話機側、ハンドセット側のコールコード接続を確認してください。
	IP回線を利用している。	ネットワークの状況により、通話の途切れ、エコーが発生する場合があります。トラヒック量などの回線状況を確認してください。
	通話相手が無線端末を利用している。	通話相手の電波状況により、通話の途切れ、エコーが発生する場合があります。
フリーファンクションボタンのランプが点灯・点滅しない。	省電力モードを「有効」に設定している。	省電力設定を「無効」に設定してください。 (P.52)
着信音が鳴らない。	最小着信音を「消音」に設定している。	最小着信音を「最小」に設定してください。 (P.49)
	着信音を「消音」に設定している。(交換機の設定)	販売店に設定変更をご依頼ください。
ボタン操作音が鳴らない。	ボタンタッチ音を「無し」に設定している。	ボタンタッチ音を「有り」に設定してください。 (P.49)
SDカードが利用できない。	SDHCカードを利用している。	SDHC規格のSDカードには対応していません。
	SDカードがフォーマットされていない。	パソコンなどでフォーマットを実施してください。
	接続する交換機により、SDカード機能の動作に制限があります。	お客様の環境では利用できません。SDカード機能に対応した交換機が必要です。

電話機の角度を変える

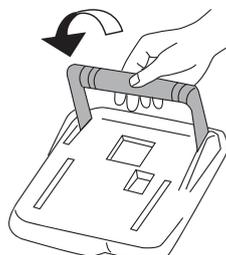
電話機裏面の角度アダプタの位置を変えることで、電話機の高さは下図のようになります。



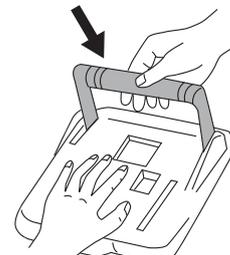
低 → 中 または 高 にする



① 角度アダプタを押し出す。

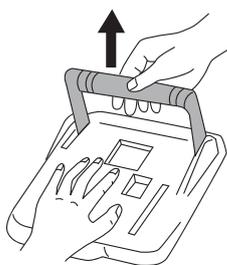


② 1段目(中)、または2段目(高)のストッパーまで起こす。

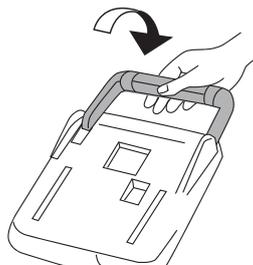


③ 設定する角度で押し込む。

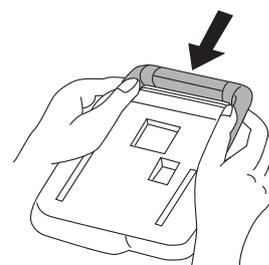
中 または 高 → 低 にする



① 角度アダプタを引き出す。



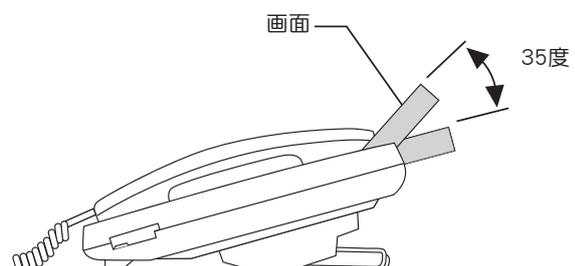
② 角度アダプタを奥に倒す。



③ 角度アダプタを最後まで押し込む。

画面の角度を変える

画面は図の角度内で、任意の角度に調節して使用できます。



タイムメッセージ

交換機に搭載されているバッテリーや、交換機の耐用年数がせまっている旨が電話機に表示されます。タイムメッセージが表示される電話機は、あらかじめ登録されています。

表 示	意 味
バッテリーの交換時期になりました。	交換機に搭載されているバッテリーの交換時期です。
電話設備の交換時期が近づいて来ました。	交換機の点検時期です。

【表示の解除】

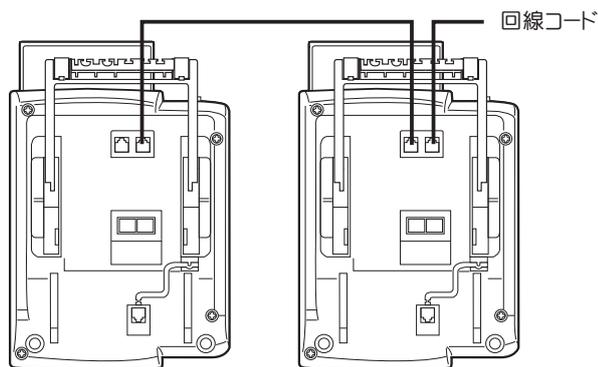
表示期間内の場合	【◇】→【不在】を押す。
表示期間を越えた場合	電話機のボタン操作、またはハンドセットを上げる。

※ タイムメッセージを表示する電話機が複数台ある場合は、ある1台が表示解除すると、他の電話機の表示も解除されます。

※ 交換機がMX900IPの場合のみ、表示期間内の表示解除が可能です。

電話機のマルチ接続

本電話機はマルチ接続(1回線に電話機を2台接続)でご利用になれます。(取付けは販売店設定) 交換機の仕様や設定によっては本機能をご利用いただけません。



警告

接続コードの差替えは絶対にしないでください。誤ってカールコードをMFTまたはLINEに接続すると回線の電圧が受信器に加わり火災・感電・故障の原因となります。

主な仕様

環 境 条 件	HI-「」 F-TELSD/HF/WHF/PF 温度:0~40℃ 湿度 15~85%(結露なきこと) HI- 24 F-TELPFI 温度:0~40℃ 湿度 25~85%(結露なきこと) HI- 24 F-TELHC 温度:0~40℃ 湿度 30~80%(結露なきこと)
表 示 器	文字列:6行 1行当たりの文字数:半角で20 / 全角で10 文字フォント:JIS第1水準、第2水準、JIS非漢字 6888字
外 形 寸 法	約180(幅)×266(奥行)×101(高さ)mm (※ HI-24F-TELHCの親機と子機の組合せにおいて、アンテナと突起部は含みません)
質 量	HI-「」 F-TELSD 約0.9kg HI-「」 F-TELHF/WHF/PF/PFI/HC 約1.0kg (※ HI-24F-TELHCは、親機と子機の合計です)

 株式会社 日立情報通信エンジニアリング

HI-F-TEL 詳細 取扱説明書
MB00134-13